

佛國森林法全

自初篇
至六篇



6555

司考
刑考
課

自初篇至
第六篇

佛國森林瀟

乾

鶴田乙丑

司考

佛國森林法卷之一

米人ウヘルヘツキ氏讀授

河内信朝

筆記

光增重健

第一篇 森林ノ事

第一條 左ニ記スル處ノモノハ森林法ヲ以テ之レヲ管理スヘシ

第一 官有ノ森林

第二 國王所有ノ森林

第三 官ヨリ王族及ヒ貴人ニ與ヘタル所ノ

森林

若シ系統絶ユル片ノ再ヒ官ニ返ル者ナリ

第四 村邑及ヒ其部分ニ属スル森林

第五 公ノ建造物ニ属スル森林

第六 官及ヒ國王并ニ村邑及ヒ公ノ建造物等ト人民トノ間ニ共有スル所ノ森林

第二條 人民ハ森林法ニ記載ニタルノ外各自ノ森林ニ付テハ其所有ノ權ヲ行フヘシ

第二篇 森林上等官吏 森林保護官、同監察官、同

番長ヲ總稱ニテ云ノ事

第三條 滿二十五歳以下ノ者ハ森林上等官吏ト為ルヲ得スト雖モ森林学校ヨリ出タル

諸生ハ別段ノ免許ヲ受クルヲ得ヘシ

第四條 森林上等官吏ハ他ノ施政官或ハ裁判官ヲ兼勤スルヲ得ス

第五條 森林上等官吏ハ其住所ノ下等初裁判

所ニ於テ盟ヲ為シ且ツ其委任状及ヒ盟ヲ為シタルノ證書ヲ裁判所登記局ノ簿冊ニ登記セシ後ニ非レハ其務ヲ行フヲ得ス

上等官吏其官ヲ以テ他へ轉移スル片ハ別ニ盟ヲ為スニ及ハス

第六條 森林番人ハ其持場ノ中ニ於テ犯罪及

七 損害將夕要変ノ生シタルニ付テハ乃チ其責ニ任スヘシ且ツ直ニ其訴ヲ為サルモハ其罰金償金ヲ罪人ニ代テ出サシムヘシ

第七條 制禁ヲ犯シテ伐タル樹木又ハ倒レ木或ハ官有森林ノ部分ヲ競賣セシ中ニ於テ猶官用ニ保有ニ置クヘキ等ノ木ニ押スヘキ森林上等官吏及ヒ番人ノ其鎚印ノ文字ノ寫シテ其地ノ下等初裁判所書記局ヘ納ムヘキ左ノ如シ

第一 各上等官吏ハ自己ノ鎚印ノ文字ノ寫

シテ其地ノ下等初裁判所ノ書記局ヘ納ムヘシ

第二 官ノ鎚印ノ其文字ノ寫シテ下等初及

ヒ中等控裁判所ノ書記局ヘ納ムヘシ

第三篇 官有森林ノ事

第一章 森林境界ノ事

第八條 官有森林ト其近隣ノ森林トノ境墾不分明ナルニ付テ之レヲ定ルヘハ森林上等官吏又ハ其隣森ノ所有主タリ其事ヲ願フノ權

アリ

第九條 森林ノ境界ヲ定ルニ付テハ 訴訟ハ
或ハ官ヨリ或ハ隣森ノ所有主ヨリ通常ノ任
方ヲ以テ之レヲ為スヘシ然レモ森林上等官吏
其訴ノアリシ後六ヶ月間ニ其境界ヲ確定ス
ルノ申述スルニ於テハ其訴訟ヲ延スルヲ
得ヘシ

第十條 官有ノ森林ニ付テ境界ヲ定メ或ハ其
繞圍ヲ設ル片ハ州長ノ布令各ヲ以テ一ヶ月
以前ニ布告スヘシ此布告ハ近傍ノ村邑ニ於
テ掲示ヲ為シ又其隣森ノ所有主或ハ其地面

ノ借主將々其所有主置ク所ノ森林番人又ハ
其所有主ノ森ノ世話人ノ住所ニ送達スヘシ
右ニケ月ノ期限ヲ過キシ後森林上等官吏ハ
隣森所有主ノ其現地ニ來リ在ルト否トニ関
係ナク其境界ヲ定メスヘシ

第十一條 境界ノ定書ハ直ニ州長ノ登記局ニ
納メ其副本ハ該州ノ各郡長ノ登記局ニ納ム
ヘシ又州長ハ命令書ヲ以テ然 定メタル分
界ノ様子ヲ其近傍ノ各村邑ニ布告スヘシ而
テ之レニ關係アル者ハ其布告ノ日ヨリ一年

内ニ故障ノ申述スルヲ得ヘシ而テ一年内ニ
政府ハ其境界定昏ノ全分又ハ其一部分ヲ承
了セルト否トヲ布告スヘシ
其定界承了ノ布告ハ乃チ境界定昏ヲ布告ス
ルト同一ノ場所於テ之レヲ為スヘシ

第十二条 一年ノ時間ニ境界定昏ニ付テ隣森
ノ所有主又ハ政府ニ於テ故障ノアラサル時
ハ其定界ノ事ハ確定セシモノトス

森林上等官吏ハ一年ノ時間ノ終リニ其翌月
ヨリ繞圍ノ業ニ取掛リ而テ第十条ニ記シタル

如ク州長ノ命令書ヲ以テ各関係アル者ニ報
告ヲ為スヘシ

第十三条 繞圍ヲ設ル際ニ於テ生シタル争論
或ハ第十一条ノ場合ニ依テ隣森所有主ノ故
障アルキハ其地ノ裁判所ニ訴ヘ出テ繞圍
ノ業ハ其裁判決定ニ至ル迄之レヲ停止スヘ
シ

又森林上等官吏ノ第十二条ニ記シタル場合
ニ於テ其繞圍ヲ造ルトテ拒ムキハ隣森ノ所
有主ヨリ其地ノ裁判所ニ訴フルノ権アリ

第十四条 境界ヲ定メ或ハ繞圍ヲ設ルニ通常ノ物ヲ以テ之レヲ為スルハ双方ヨリ其費ヲ辨スヘシ或ハ溝渠ヲ以テ之レヲ為スルハ其企望人ヨリ其費ヲ辨シ且ツ自己ノ地面ヲ以テ之レヲ為スヘシ

第二章 森林ヲ管理スルノ事

第十五条 總テ官有ニ森林ヲ管理スルハ国王ノ命令昏ヲ以テ定メタル規則ニ從テ之レヲ為スヘシ

第十六条 国王特別ノ命令書アルニ非レハ官

有ノ森林ニ於テ臨時ハ其樹木ヲ採用シ或ハ残シ置タル大木ヲ伐ルヘカラス若シ之レヲ犯シテ賣却スル氏其効ナシトス而テ其買主ハ其事ヲ許シタル森林ノ官吏ヲ相手ニ許訟ヲ為スノ權アリ

王ノ特別ナル命令昏ハ法律或ハ日誌ニ記載シテ公布ヲ為スヘシ

第三章 伐ルヘキ樹木ヲ競賣スル事

第十七条 官有ノ森林ニ付テ通常又臨時ノ賣却ハ公然ノ競賣ヲ以テ之レヲ為スヘシ而テ

遅ク氏十五日以前ニ其州ノ治下及ヒ其竟
賣ノ場所又森林所在ノ村邑及ヒ其近傍ノ
各村邑ニ於テ揭示ヲ為スヘシ

第十八条 公然ナル竟賣ニ非スレテ為シタル
賣却ハ其効ナシトス且ツ其官吏ハ各三千「フ
ランク」以上六千「フランク」以下ノ罰金ヲ出シ
及ヒ其買主ニハ買求タル樹木ノ價ニ同キ罰
金ヲ出サシムベシ

第十九条 第十七条ニ記シタル布告及ヒ揭示
ヲ為サル樹木ハ假令公然ナル竟賣ヲ以テ為
シタリト雖氏其効ナシトス又揭示ヲ為スト
雖氏然レ氏竟賣ノ場所及ヒ其時日ノ異
リタル片ハ又其効ナカルヘシ若シ官吏ノ之レニ
違背スル「フ」各一千「フ」以上三千「フ」
ランク以下ノ罰金ヲ出サシムヘシ又買主若
シ其官吏ノ党類ナル片ハ亦同様ノ罰金ヲ
出サシムヘシ

第二十条 竟賣ノ恊ニ於テ其仕方ノ宜ヲ得サ
ル歟又ハ買主及ヒ其保承人ノ身代不堅固ナ
ル「フ」ニ付テ起ル所ノ爭論ハ竟賣上席ノ官吏

直ニ之レヲ裁判スヘシ

第二十一条 本人名代人及ヒ其社中又保承人ト為リテ斃賣ニ関係スヘカラサル者左ノ如

シ

其一 森林官吏及ヒ其番人又海軍省ニ於テ森林ノ賣ヲ管スル官吏又其所轄セル森林ノ斃賣ニ付テ上席ヲ為スヘキ官吏且其佐官及ヒ斃賣ニ付テ金貨ノ請取ヲ為スヘキ官吏

若シ此禁ニ違フ片ハ斃賣ノ總金高ノ四

分ノ一ニ越ヘス十二分ノ一ヨリ少カラサル罰金ノ言渡ヲ受ケ且ツ入牢及ヒ刑法ノ第七十五条ニ記載ニタル禁ヲ当ルヲアルヘシ

其二 森林官吏及ヒ其番人又海軍省ニ於テ森林ノ事ヲ管スル官吏ノ宗系ノ親族兄弟及ヒ自己ノ姉妹ノ夫及叔父且甥其官吏ノ所轄内ニ於テ此禁ヲ犯ス片ハ第一項ニ記シタル所ノ對ヲ以テ之レヲ処スヘシ

其三 州ノ議員及ヒ下等初裁判所ノ官吏

且ツ檢事及昏記官若シ此禁ニ違フテ他

人ニ損害アル片ハ其價ヲ為サシムヘシ

右ニ違背シテ為シタル競賣ノ決定ハ其効ナ

シトス

第二十二條 競賣ヲ妨ル為メ或ハ樹木ヲ低價

ニ求シ為メニ買主ノ恠ニ秘密ノ社ヲ設ケ或ハ

計策アル片ハ償金ノ有無ニ關セス刑法第四

百十二條ニ記スル所ノ罰ヲ命スヘシ而テ其

競賣ノ決定ハ其効ナキ者トス

第二十三條 名代人ハ競賣ヲ為スノ恠又ハ競賣

セシ後即特ニ非レハ買主タル其本人ヲ申

出ルコトヲ得ス

第二十四條 競賣ヲ為スニ付テ其定書ニ記載

シタル如ク買主タル者若シ定リシ時間ニ保

承人ヲ立テザル時ハ該州長ノ命令昏ヲ以テ

競賣ノ決定ハ取消サレ而テ再度其競賣ノ為

スコトハ前第十七條以下ノ方法ニ依ルヘシ而テ

其決定ノコトヲ取消サレタル人ハ再度ノ競賣

ヨリ生シタル金數ノ其初度ノ時ヨリ過越ス

ルアル氏其過越スル餘分ヲ求メ取ルヲ得
スレテ若シ不足ヲ生スルコトアレハ必ス其不足
ヲ償フヘシ若シ之レヲ償ハサル片ハ入牢ノ
刑ニ處セラルヘシ

第二十五条 競賣ノ決定ハ其決定ヲ許シタル
片ヨリ確定スル者故ニ其後其價ヲ高クスル
コトヲ得ス

第二十六条 競賣各様ノ仕方ハ国王ノ命令
ヲ以テ定ムヘシ而テ總テ競賣ハ之レヲ公ニ
且ツ自由ノ競ヒヲ以テ之レヲ為スヘシ

第二十七条 競賣ニテ物ヲ買フ人ハ其決定ノ
許ヲ得シ片ニ其競賣ノ土地ニ於テ其住居ヲ
撰定スヘシ若シ其賣ヲ怠ル片ハ爾後森林
官署ヨリ出ス所ノ昏付類ハ該郡長ノ昏記局
ヘ届置クハ事足レル者トス

第二十八条 競賣ニ付テノ手續昏ハ其買主ノ
仲拘及ヒ其保承人ニ對シテハ裁判所ノ裁
判ヲ待タスニテ直ニ之レヲ処置シ及ヒ入牢
セシムルノ權アルモノナリ且ツ其代價及ヒ
競賣ノ諸雜費ヲ拂ハサル片ニ於テモ亦同ニ又

保承人其買主ノ出ス一キ餘分金及ヒ償金罰
金ノ事ニ付テハ皆本人同様ノ処置ヲ受ク一
シ

第四章 買取タル森林ノ捌方ノ事

第二十九条 斃賣決定ノ後其伐採ルヘキ場所
ヲ他ノ場所ト交換スルヲ得ス又定リシ場所
外ノ樹木ヲ加ヘ採ルヘカラス若シ之レニ違
背スルキハ其伐採リシ樹木ヲ返シ又ハ其樹
木ノ償ヲ為スノ外其價ノ三倍ノ罰金ヲ拂フ
シ

若シ其伐採リタル樹木果シテ上品ノ者ナル
カ或ハ其買フタル者ヨリモ年経シモノナル
ニ於テハ其人ハ他ノ法ヲ犯シテ伐採リシト
同一ノ罰金及ヒ其倍数ノ償金ヲ出スヘシ而
テ場所ノ交換及ヒ場所外ノ樹木ヲ伐採ル
ヲ許シタル森林官吏ハ亦同一ノ罰金ノ言渡
ヲ受クヘシ又其事情ニ依テハ此法ノ第二百
七条ヲ適用スヘシ

第三十条 買主ハ其森林ヲ管轄スル官吏ノ許
ヲ得ズシテ其樹木ヲ伐ルヲ得ス若シ之レ

ニ違フ片ハ法ヲ犯シテ伐採リシ者ト同一ノ
訴訟ヲ為スルヲ得ヘシ

第三十一条 買主ハ其森林官吏ト商議シテ其
名代人或ハ其番人ヲ設ケ置クヘシ而テ其者
ハ附近ノ最下等^評裁判所ニ於テ其誓ヲ為ス
ヘシ且ツ其番人ハ其買主ノ買取リタル場所
ノ内又ハ斧響ノ内ニ於テ生シタル事
件ニ付テハ其調書ヲ作ルノ權アルヘシ而テ
其調書ハ一般ノ森林番人ノ作ルヘキ者ト同
様ニシテ而テ其反對ノ証拠ノ生スル迄ノ間

ハ真正ノ証拠トナルヘシ所謂斧響ノ内ニ於
テハ其買取リシ森林ノ境界ヨリ二百五十
メートル<sup>凡我百三
十間弱</sup>ト定ルモノナリ

第三十二条 買主ハ其森林官吏及ヒ其郡ノ下
等^初裁判所ノ登記局、其買フタル所ノ樹木
ヲ証スル為メニ用ヒタル錘印ノ其文字ノ寫
シヲ納ムヘシ若シ之レヲ納メサル片ハ百^ラフ
ラシク^レノ罰金ヲ出サシムヘシ
買主及ヒ其社ノ者ハ其買フタル樹木ノ一様
ノ錘印ヲ用ユヘシ又一度買フタル樹木ト再

ニ買フタル樹木トニ同シ鋸印ヲ用ユヘカラ
ス若シ之レヲ犯ス片ハ五百フランクノ罰金
ヲ出サシムヘシ

第三十三條 買主ノ森林中植ヘ置クヘキ鋸印
ノアル樹木、觸ル、ヘカラス又其樹木ノ品
質ノ如何ナルニ論ナク又植ヘ置クヘキ樹木
ノ帳簿ニ記載セル数ノ多寡ニ依ラス此條規
ニ違背シテ其樹木ヲ伐採ル片ハ其償トシテ
其買フタル樹木ヲ以テ之レニ伐ユルヲ得ス
第三十四條 前條ニ記シタル樹木ヲ伐採リ或

ハ其樹木ノ不足スルニ付テ買主ニ出サシム
ヘキ罰金ノ数ハ其不足セル樹木ノ品質及ヒ
其大サノ推知セラル、片ハ第百九十二條ニ
於テ定メタル罰金ノ三分ノ其一倍タルヘシ
若シ其伐採リタル樹木ノ伐リ株及ヒ大サノ
推知ニ難キ片ハ五十「フランク」以上二百「フ
ラ」以下ノ罰金ヲ出サシムヘシ
何レノ場合ニ於テモ其樹木ハ必ス返戻スヘ
シ若シ之レヲ返シ得サル片ハ其償ヲ返納シ
且ツ其價ト同シキ罰金ヲ出シ又損害アル片

ハ其償ヲ為サシムヘシ

第三十五条 買主ハ日出前又日没後ハ伐木及
ヒ運送ヲ為スヘカラス若シ之レニ違フキハ
百フランクノ罰金ヲ出サシムヘシ

第三十六条 斃賣ノ定旨ニ別段ノ許シ無キキ
ハ其樹皮ヲ剥取ルヲ得ス若シ之レニ背ク
キハ五十フランク以上五百フランク以下ノ
罰金ヲ出サシメ且ツ償金ノ保承トシテ其樹
木及ヒ樹皮ヲ其處ニ留メ置クヘシ而テ其償
金ノ數ハ其樹木ノ價ヨリ少カルヘカラス

第三十七条 伐木ノ仕方及ヒ其土地ノ掃除ニ
付キ斃賣ノ定書ニ違背スルアレハ償金ノ有
無ニ関セス五十フランク以上五百フランク
以下ノ罰金ヲ出サシムヘシ

第三十八条 買主木炭ヲ作ル為メニ溝穴竈及
ヒ小屋細工場ホヲ建設スルキハ森林上等官
吏ヨリ唇面ニ認メテ其場所ヲ指示スヘシ猥
ニ之レヲ建設スヘカラス若シ之レニ背クキ
ハ每各物五十フランクノ罰金ヲ出サシムヘシ

第三十九条 樹木運送ノ路ハ斃賣ノ定書ニ記

シタル如クニ之レヲ為スヘシ若シ之レニ違
フテ別路ヲ拘クキハ償金ノ有無ニ関セス五
十フランク以上二百フランク以下ノ罰金ヲ
出サシムヘシ

第四十条 買主ハ森林官署ヨリ時間ヲ延引ス
ヘキノ報告アラサルキハ其樹木ヲ伐リ及ヒ
之レヲ搬運スルヘハ競賣ノ定昏ニ記シタル
時間ニ於テ必ス之レヲ為スヘシ若シ之レニ
違フキハ五十フランク以上百フランク以下
ノ罰金ヲ出サシメ且ツ損害アレハ其償ヲ為

サシムヘシ而テ其償ハ其定期ノ終リニ到リ
未タ伐ラサル樹木ノ其價ト已ニ伐リタル其
樹木ノ價トヲ合算シタル金數ヨリ少カルヘ
カラス

又其償金ヲ出ス迄ハ保承ノ為メニ其樹木
ヲ該地ニ留メ置クヘシ

第四十一条 鳩雛ヲ拾ヒ養フヘシ付又ハ荆棘
覆盆子其他妨害ト為ル草卉ヲ採取ルヘシ付
或ハ樹木ノ運送シタル其道路ノ修復及ヒ木
炭ノ溝坑ヲ平坦ニスルヘシ未ノ仕事ヲ競賣

ノ定書ニ記シタル定期内ニ為ガル片ハ森林上
等官吏ヨリ州長ノ許可ヲ得テ其事ヲ為シ然
後州長ハ其費用ノ唇付ヲ検査シテ之レヲ其
買主へ出サシムヘシ

第四十二条 買主又名代人及ヒ其他ノ者其小
屋及ヒ細工場ノ外ニ於テ猥ニ火ヲ焚クヘカ
ラス若シ之レヲ犯ス片ハ償金ノ有無ニ関セ
ス十_トフランク以上百_トフランク以下ノ罰金
ヲ出サシムヘシ

第四十三条 樹木ヲ伐採ル人ハ其樹木ヲ他所ニ
テ買得シ樹木ト同シ所ニ留メ置クヘカラ
ス若シ之レヲ犯ス片ハ百_トフランク以上千_ト
ラレク以下ノ罰金ヲ出サシムヘシ

第四十四条 樹木ヲ伐採リ及ヒ之レヲ搬運ス
ルノ際ニ罪科ヲ犯ス者アリテ其調唇ヲ得ル
片ハ實地測量検査ノ^{オ五章ノ}下ニ注スノ時ヲ待タス直
ニ其罪科ヲ処分スル_トヲ得ヘシ

然レ氏其調書不十分ニシテ處分ヲ為シ難キ
片ハ實地測量検査ノ時ニ至テ復タ其調唇
ヲ作而テ之レヲ処分スル_トヲ得ヘシ

第四十五条

買主其解任ノ

其買取ニ森林ノ仕
事ヲ全ク為ニ終ニ

ヲ日ニ至ル迄ノ間ニ其森林中或ハ斧嚮ノ
切ユル内ニ於テ犯罪者アリ而テ其名代人或
ハ私ニ置ク所ノ番人五日内ニ其事ヲ其被管
ノ上等官吏へ報告セサルハ買主必ス其責
ニ任スヘシ

第四十六条

名代人且ツ私設ノ番人職人樵者

牛叟馬夫及ヒ其他ノ雇人共本人ノ買取リニ森
林内或ハ斧嚮ノ切ユル内ニ於テ罪科ヲ犯シ
タルニ依テ拂フヘキ罰金及ヒ返償スヘキ者

ニ付テハ買主及ヒ其保承人其責ニ任スヘシ

若シ其罰金及ヒ返償スヘキ者ヲ納メサルハ

ハ禁錮ノ刑ニ処スヘシ

民法オニ千五
十九条見合

第五章 測量及ヒ検査ノ事

買主樹木ヲ
伐採リタル

後被管ノ森林官署ヨリ其実地
ヲ測量及ヒ検査スルヲ云フ

第四十七条

森林上等官吏ハ各其所轄内ニ於

テ斃賣ミタル森林実地ノ測量及ヒ検査ノ樹
木運送ノ為メニ許シタル定期ノ終リニ日ヨ
リ三ヶ月内ニ為スヘシ若シ否ハ買主ハ其被
管ノ官署へ唇面ヲ以テ逼促スルヲ得ヘシ

而テ其唇面ヲ出ニタル日ヨリ一月内ニ猶之
レヲ為サルキハ買主ハ解任ニタルノ權アリ
トス

第四十八條 買主又名代人ハ測量檢査ノ節
実地ニ於テ立合ヲ為スベキガ故ニ上等官吏
ハ十日前ニ書面ヲ以テ其期日ヲ報知スヘシ
而テ其本日ニ至リ本人又名代人ノ假令ヒ未
ラスト虫氏測量及ヒ檢査ヲ為シタル其調
唇ハ本人現在シテ作りタルノ効アリトス

第四十九條 買主ハ測量ノ助ヲ為スカ為メニ
自己ニ測量者ヲ其地ニ携フルノ權アリトス
假令ヒ否ルキト虫モ測量セシ其調唇其測
量者ノ現在シテ定メタルノ効アリトス

第五十條 森林上等官吏及ヒ買主ハ調唇ノ違
式或ハ其謬誤ニ付キ取消ヲ願フヘキトアラ
ハ其測量及ヒ調査ノ終リニ日ヨリ一月内ニ
之レヲ為スヘシ

其取消ノ願ハ州ノ参事院へ出スヘシ
若シ其取消ノ許可ヲ得ルキハ森林上等官吏
ハ其日ヨリ一月内ニ別ニ新ニ調書ヲ作ルヘ

シ

第五十一条 第五十条ノ定期間ニ森林上等官

吏其調任ニ付別ニ故障ノアラサルニ於テハ

州長ハ買主ニ解任ノ言渡ヲ為スヘシ

第五十二条 測量者ハ其測量ニ付テ土地或ハ

樹木ノ二十分ノ一ヲ違アレハ其ノ為メニ生

シタル各種ノ損害ヲ償フヘキヲ言渡サル

ヘシ

其他過誤アレハ才三百七条ノ定規ヲ用ユヘ

シ

第六章 櫟実ヲ拾取ルル豚ヲ森林ヘ入

テ櫟実ヲ食シムルル又獸類ヲ森林ニ

牧養スルルニ付テノ斃賣

第五十三条 此篇第三章ニ定メタル伐ルヘキ

樹木ノ斃賣ニ付テノ定規ハ亦此章ニ適用ス

ヘシ

然レ氏才十八条才十九条ノ場合ニ於テノ官

吏ノ罰金ハ百「フランク」以上一千「フランク」以

下タルヘシ而テ買主ニハ其樹木ノ價ニ同キ

罰金ヲ出サシムヘシ

第五十四条 買主ハ競賣ノ定昏ニ許シタルヨ
リ多数ノ豚ヲ森林ヘ入ル、ヘカラス若シ之
レヲ犯スルハ第百九十九条ニ記シタル罰金
ヲ倍数ヲ出サシムヘシ

第五十五条 買主ハ其豚ニ必ス焼印ヲ為スヘ
シ若シ否ハ每一頭三フランクノ罰金ヲ出サ
シムヘシ而テ焼印ノ寫シハ之レヲ下等裁判
所ノ昏記局ヘ預ケ其本印ハ被管ノ森林官
署ヘ納ムヘシ若シ之レニ違フハ五十フラン
クノ罰金ヲ出サシムヘシ

第五十六条 競賣ノ定昏ニ許シタル地ヨリ他
ハ豚ノ出テタル地或ハ往來ノ通路ヨリ外
出タル地ハ買主ハ才百九十九条ニ記スル所
ノ罰ヲ受クヘシ若シ再度之レヲ犯スルハ買
主ヨリ罰金ヲ出スノ外其牧豎ハ五日以上十
五日以下禁錮ノ言渡ヲ受クヘシ

第五十七条 買主ハ樵実山毛榉及ヒ森ノ葉実
其他ノ諸物ヲ打落シ或ハ拾取り又之レヲ運
送スルヲ禁ス若シ之レヲ犯スルハ第百四
十四条ニ記スル罰金ノ倍数ヲ出サシメ且ツ

少ク氏三日以上禁錮ノ言渡ヲ受クヘシ

第七章 官有ノ森林ニ於テ格別ナル名

義ヲ以テ與ヘタル准許

第五十八條

凡我三尺三寸三厘三毛立方
メー一トスルヲ以テ測リ或ハ

定リタル樹木ノ数ヲ以テ村邑或ハ製造所ニ與
ヘ又ハ人民ニ自取リテ其樹木ヲ採用セシメ或
ハ官ヨリ伐採リテ之レヲ渡ス一ノ免許ハ當
時ノ法律及ヒ布告ニ於テ假令ヒ之レヲ禁シ
タル者ト雖氏千八百三十七年九月一日以後
ニ至ラザル分ハ其免狀ニ定リタル期限迄引

續キ為一ヲ得ヘシ

其當時ノ禁止ニ違ヒテ為ニタル免許ノ權ノ
或ハ永久ニ或ハ時間ノ記載ナシニ或ハ千八
百三十七年九月一日ニ過越スヘキ時間ニ定
メタル者アレハ則該九月一日ニ至テ其權ハ
消失スヘシ

永久ノ免許又ハ時間ノ記載ナク或ハ該九月
一日ヨリ過越スヘキ免許ノ權ヲ有スル者其
免許狀ハ右ニ記スル所ノ禁ニ拘ラス又ハ其
權ハ決シテ中止スヘカラサル時權ナリト云

フニ於テハ其人ハ此法ノ布告ノ日ヨリ一年
内ニ下等裁判所ヘ其事ヲ乞願スヘシ
若シ其乞願ヲ裁判所ニテ採用セザルハ則チ
千八百三十七年九月一日以後ハ其權ヲ行フ
コトヲ得ス

若シ其人有スル所ノ權ヲ裁判所ニ於テ正実
ナリト定メタルキハ其權ノ種類及ヒ時間ノ
如何ナル論ナク政府ハ本入トノ約束ヲ以テ
該權ノ代リニ森林ノ幾部分ノ地ヲ割典シ
而テ政府ハ該森林ヲ自由ニ為スノ權アリトス

然レ氏若シ故障アル片ハ裁判所ニ於テ之レ
ヲ取捌クヘシ又其割典セシ土地ヲ有スルノ
權ハ是迄所有セシ森林使用ノ權ノ其年時
ニ準スヘシ而テ其使用ノ權ヲ土地ニ代ルコトノ
求メハ政府ヨリ為スヘクシテ之レヲ其本人
ヨリ求ムヘカラス
森林法ヲ現行スルニ付テノ
布告昏ノオ百九条オ百十條
オ百十一
條見合

第五十九条 製造所ノ為メニ許シタル權ハ若
シ其製造所二年間統テ休業ヲ為ス片ハ其權
ハ全ク消失スヘシ然レ氏止ムヲ得サル事故

アリテ休業セシキハ此規ヲ用ユヘカラス
第六十条 以後官有ノ森林ニ於テハ第五十八
条第五十九条ニ記シタル權ノ免許ハ決シ
テ他ノ與フヘカラス

第八章 官有ノ森林ヲ使用スル權ノ事

第六十一条 官有ノ森林ヲ使用スル權ヲ行フ
ヘキ者ハ此法ノ布告以前ニ政府ノ認許ヲ或
ハ確定ノ裁判言渡ヲ以テ其權ヲ有セシ人ニ
限ルヘシ又或ハ其權ヲ用ユヘキ者此法ノ布
告日ヨリ以後二年間ニ裁判所ヘ其事ヲ任

セテ而テ裁判所ニ於テ正實ノ權ナリト定
メタル人ノミニ限ルヘシ

第六十二条 以後官有ノ森林ヲ使用スヘキ其
權ノ如何ナル種類或ハ如何ナル申述トニ
論ナク必ス許與スヘカラス

第六十三条 政府ハ本人トノ契約ヲ以テ森林
ヲ使用スヘキ權ノ其代リニ土地ヲ與ヘ而テ
其森林ヲ自由ニスルノ權アリ而テ若シ故
障アルキハ其地ノ裁判所ヘ訴フヘシ
然レ氏土地ヲ與ヘテ森林ヲ使用スヘキ權ヲ

取返ス一ニ付テノ訴訟ハ其權ヲ有スル人ヨ
リ為スヲ得スニテ只政府ノ之レヲ為スヲ得
ヘシ森林法中百十二條中百十三條
中百十四條中百十五條見合

第六十四條 官有ノ森林ニ於テ樵采ヲ拾取ス
ル一畧ヲ入ル、一牧畜ヲ為ス一ホノ各種ノ
森林使用ノ權ハ土地ヲ以テ之レヲ代ル一ヲ
得ス然レ氏亦政府ハ其本人ト約定ニ其償
金ヲ與一テ之レヲ買戻ス一ヲ得ヘシ若シ償
金ノ負數ニ付テ雙方同意セサル片ハ裁判所
ニ於テ其審判ヲ為スヘシ而テ該邑ノ人民ニ於テ

ハ牧畜ヲ為スヲ全ク必用トシタル其場所ハ
政府ヨリ其權ヲ買フ一ヲ強ユヘカラス
若シ森林官吏牧畜ヲ必用ト為ス一ニ付テ故
障ヲ述ル片ハ双方ヨリ州ノ參事院ヘ其取制
ヲ願フヘシ而テ州ノ議員ハ商議ノ後其事ヲ
定ムヘシ而テ双方ノ者ハ復々國議院ヘ訴
フル一ヲ得ヘシ

第六十五條 第六十三條第六十四條ニ從テ土
地又ハ償金ヲ以テ自由ニ為サル所ノ官有ノ
森林ヲ使用スルノ權ハ森林上等官吏之レヲ

減殺スル一ヲ得ヘシ而テ其之レヲ減殺スル
一ハ其森林ノ景況或ハ其生スル所ノ物産ノ
量ニ依テ之レヲ定ムヘシ而テ總テ其使用ノ
權ヲ取行フ事ハ第六十六條以下ノ定規ニ從
フヘシ
森林ノ景況或ハ森林ヨリ生スル物産ノ分
量ノ一ニ付テ故障アル片ハ州ノ參事院へ訴
ル一ヲ得ヘシ

第六十六條 櫟實ヲ拾取スル一及ヒ豚ヲ入ル
、ノ時間ハ三ヶ月ヲ越ユヘカラス而テ其時
月ハ森林上等官吏毎年之レヲ定ムヘシ

第六十七條 森林ノ歷年又其樹木ノ種類及ヒ
其使用ノ權ヲ有スル者ノ所持セル證昏ノ
意義ホノ如何ナルニ論ナク森林官署ヨリ光堅
ナル樹木ニテ豚害ニ抗スルニ足ルヘキ森林ト
定メサル所ノ森林ニ於テ牧畜ヲ爲シ或ハ
豚ヲ入ル、ヘカラス
若シ其事ニ付テ論議アル片ハ州ノ參事院
へ訴フルヲ得ヘシ

第六十八條 森林上等官吏ハ森林使用ノ權ヲ

有スル其各人ニ割合テ牧養ス一キ獸類ノ數
ヲ定クヘシ森林法ヲ現行スルニ付テノ布告
百十八條百十九條見合
第六十九條 森林上等官吏ハ森林ヲ使用スル
ノ權ヲ有スル各邑及ヒ人民ハ其豚害ニ抗ス
ルニ足ル一キ森林ト定メタル場所及ヒ牧養
ス一キ獸類ノ數ヲ毎年三月一日以前ニ報告
スヘシ又豚ヲ森林ハ入ル、一ニ付テハ第六
十六條ニ記シタル時間ノ一月以前ニ報告ス
ヘシ

自初篇至
第六篇

佛國森林法

乾

邑ニ於テ其布告ヲ為スヘシ

第七十条 森林ヲ使用スルノ權ヲ有スル者ハ
只自用ノミニ牧畜シ又ハ豚ニ櫟實ヲ食シム
ルヲ得テ決シテ賣用ノ為メニ之レヲ為スヘ
カラス

若シ之レヲ犯ス者ハ第一百九十九条ニ定リタ
ル罰金ノ倍数ヲ出サシムヘシ

第七十一条 牧畜又ハ櫟實ヲ食シムル為メニ
動物ノ往來スヘキ路ハ森林官署ヨリ之レ
ヲ指示スヘシ

若シ其往来ノ傍ニ新林アリテ動物出路ノ
怖レアルキハ森林使用ノ權アル者森林官署
ト割合ノ費用ヲ以テ森林上等官吏ノ差廻ニ
從ヒ其防ニ十分ナル溝渠又ハ銃圍ヲ作ス
ヲ得ヘシ

第七十二条 該邑或ハ其部分ニ屬スル所ノ群
獸ハ其邑吏ノ撰ニニテ相共ニ傭フタル者一
人或ハ其数人ノ牧豎之レヲ連帶スヘシ故ニ
森林ヲ使用スルノ權ヲ有スル該邑ノ人民ハ
各自ニ其獸類ヲ連帶シ又ハ各傭ノ牧豎ヲシ

テ之レヲ連帶セシムヘカラス若シ之レヲ犯
ス片ハ每一頭ニワラシクノ罰金ヲ出サシ
ムヘシ

森林ヲ使用スルノ權ヲ有スル各邑及ヒ
其部分ニ屬スル所ノ豚或ハ肉用獸ハ各邑
各々ニ區別シテ必ス之レヲ混同スヘカラス若
シ之レヲ犯ス片ハ其牧豎ハ五フランク以上十フ
ランク以下ノ罰金ヲ出サシメ再犯ノ者ハ五
日以上十日以下禁錮ノ罰ヲ言渡スヘシ
各邑及ヒ其部分ハ此条ノ違背或ハ他森林

法ヲ犯シタル罪ニ依リ牧豎ハ對シテ言渡
ス所ノ罰金ヲ引受クヘシ

第七十三条 豚及ヒ肉用獸ハ必ス燒印ヲ以
テ之レヲ証スヘシ

其証印ハ森林ヲ使用スルノ權アル各邑ト
其部分トハ一樣ノ物ヲ用ユヘカラス

若シ其証印ナキモノハ每一頭三フランクレノ
罰金ヲ出サシムヘシ

第七十四条 其燒印ノ寫ヲ下等裁判所ノ昏記
局ハ納メ而テ其本印ハ被管ノ森林官署ハ納
ムヘシ若シ否ハ五十フランクレノ罰金ヲ出サ
シムヘシ

第七十五条 森林ヲ使用スルノ權アル者ハ其
牧畜ノ首ニ小鈴ヲ懸クヘシ若シ鈴ナキ者ヲ
見出ス片ハ每一頭ニフランクレノ罰金ヲ出サ
シムヘシ

第七十六条 豚及ヒ肉用獸ノ其害ニ抗スルニ足
ルヘキ森林ト定メサル所ノ地ハ出テ或ハ櫟
實ヲ食シムル為ニ指示シタル場所及ヒ定リ
シ通路ノ外ハ出ル片ハ其牧豎ニハ三フラン

ク以上三十フランク以下ノ罰金ヲ出サシメ
再犯ノ者ハ罰金ノ外五日以上十五日以下
禁錮ノ言渡ヲ受クヘシ

第七十七条 森林ヲ使用スルノ權アル者ハ第
六十八條ニ從テ森林官吏ノ定メタルヨリヲ
數ノ肉用獸ヲ牧養シ或ハ豚ニ糠實ヲ食シ
ムル片ハ第百九十九條ニ定リタル罰ヲ適用
スヘシ

第七十八條 森林ヲ使用スルノ權アル者ハ其
權ノ如何ナルニ論ナク森林或ハ森林ノ屬地

ニ於テ山羊^{ヤギ}及ヒ羊ヲ入ル、ベカラス若シ之レ
ヲ犯ス片ハ第百九十九條ニ定リタル罰金ノ
倍數且ツ牧豎ニハ十五フランクノ罰金ヲ出
サシムヘシ而テ再犯ノ者ハ罰金ノ外五日以
上十五日以下禁錮ノ言渡ヲ受クヘシ

正確ノ證書アリテ從來牧養ヲ為スノ權ヲ有
セリト云フ者アリ而テ其事理明白ナルニ於
テハ其者ニ森林官吏ヨリ其權ニ代ルヘキ償
金ヲ要ムルヲ得ヘシ
而テ羊ノ牧養ハ特令ニ依リ或ハ場所ニ於テ

免許セラル、トアルヘシ

第七十九条 樹木ノ種類ノ如何ナルヲ論セス
政府ヨリ從來其森林ヲ使用スヘキノ權ヲ受
ケタル者森林上等官吏ヨリ渡サレ以前自
己ニ之レヲ伐採ルヘカラス若シ之レニ違フ片
ハ第十二章ニ定マル所ノ罰ヲ受クヘシ

第八十条 枯木及ヒ倒木ヲ取ルトノ權アル者
長柄鎌或ハ錢棒類ヲ以テ之レヲ折取ルヘカ
ラス若シ之レニ違フ片ハ三フランクノ罰金
ヲ出サシムヘシ

第八十一条 森林ヲ使用スルノ權アル者ノ其
伐採ルヘキ薪木ハ其者ノ撰挙シテ森林上
等官吏ノ許ヲ得タル請負人ヲシテ之レヲ伐
採ラシメ而テ其費ハ本人ヨリ之レヲ出スヘシ
其薪木ハ植木ニテ分配ヲ為スヘカラス且ツ
使用ノ權アル人各自ニ其木ヲ伐ルトヲ得ス
又其伐採ル仕事ノ未タ終ラサル前ニ其割前
ヲ定ムヘカラス若シ之レニ違フ片ハ其者ノ
分ト取ルヘキ部分ノ樹木ヲ取上ルヘシ
若シ右ノ禁ヲ犯シタル官吏ハ五十フランク

ノ罰金ヲ命セラルヘシ又伐採ル仕事ノ惡シ
キト其他ノ罪ニ於テ官吏亦其責ニ任スヘシ
第八十二条 森林使用ノ權ヲ有スル者ニ渡ス
ヘキ樹木ヲ伐採ル為メニ雇レタル請負人
ノ其樹木ヲ伐リ及ヒ運出スルトニ付テハ少
三篇第三章ヨリ第六章ニ至ル迄ノ各規ニ從
フヘシ若シ犯罪或ハ違規アル片ハ其請負人
ハ買主ト同シキ罰ヲ受ケ及ヒ同シキ責ヲ任
スヘシ

使用ノ權ヲ有スル各邑及ヒ各民ハ其請負人

ニ言渡サレタル罰金ノ其保承人ト为ルヘシ
第八十三条 森林使用ノ權ヲ有スル者ノ其受
取リタル樹木ヲ買却スルト他ト交換スルト
及ヒ其使用ノ定リタル權ヲ變シテ他ニ之レ
ヲ用ユル等ハ皆之レヲ禁止ス

若シ之レニ違フ片ハ薪木ニ付テハ十フテレ
ク以上百フテレ以下ノ罰金ヲ命シ他建造
ニ關スル樹木ニ付テハ其價ノ倍数ノ罰金ヲ
命シ且五十フテレ以下タルヘカラス

第八十四条 建造用ノ樹木ハ必スニケ年内ニ

之レヲ使用スヘシ而テ森林官署ハ其期ヲ延
ス一ヲ得ヘシ若シ此延期ヲ過ル片ハ其未タ
用ヒサル材木ヲ取上ル一ヲ得ヘシ

第八十五条 第五十七条ニ記載シタル制禁及
ヒ其罰ハ總テノ使用ノ權ヲ有スル者ニ適
用スヘシ

第四篇 國王所有ノ森林

第八十六条 國王所有ノ森林ハ千八百十四年
十一月八日ノ定法ニ從ヒ專ラ宮内卿ノ管
理ニ屬スヘシ

第八十七条 此森林ノ官吏及ヒ番人ノ其職務
ノ執行ヒニ付キ又犯罪及ヒ違規ニ係リタル
訴訟ニ付テハ一般ノ森林官吏及ヒ番人ト全
ク同様ナルモノナリ

第八十八条 第八十六条ヲ除クノ外官有ノ森
林ニ用ユヘキ一般ノ定規ハ國王所有ノ森
林ニモ亦之レヲ適用スヘシ

第五篇 官ヨリ王族及ヒ貴人ニ與ヘタ
ル所ノ森林

第八十九条 王族及ヒ貴人ニ與ヘタル所ノ森

林ハ其土地ヲ管理スル一又其樹木ヲ伐ル一
及ヒ培植スル一ニ付テハ森林法ノ管理ニ属
スヘシ故ニ定界ノ一ヲ繞圍ヲ為ス一樹木ヲ培
植スル一又伐ル一ノ仕事ハ第三篇ノ第一章
第二章ノ条規ニ從テ森林上等官吏ニ任ス一
ニ
第六十条及ヒ第六十二条ノ定規ハ亦此森林
ニ適用スヘシ

此森林ノ取扱方ノ果シテ法ニ適セル歟又此
篇ノ定規ノ行レアル歟ヲ調査スル為メニ森

林上等官吏ハ要用ト思量スル処ノ検査且
ツ其處置ヲ為サシムヘシ

第六篇 村邑及ヒ公ノ建造物ニ属スル森
林

第九十条 村邑及ヒ公ノ建造物ニ属スル森林
ハ其廣狹ヲ論ヤス第一条ニ記スル森林法ノ
管理ニ属スヘシ然レ氏森林ト看做シテ適當
ナル一否ノ見定メハ該邑ノ議會或公ノ建
造物ノ管理者ノ高議ニ依リ森林官署ノ
申述ヲ以テ政府ヨリ之レヲ定ムヘシ

森林ノ樹木ヲ伐リ及ヒ培植スルノ等ニ付テ
ノ變更ノ事ハ亦同様ノ手續ヲ以テ之レヲ
定ムヘシ

故ニ此篇ニ記シタル所ノ變則ヲ除クノ外ハ
第三篇ノ第一章ヨリ第六章ニ至ル迄ノ定
規ヲ適用スヘシ

若シ牧野ヲ森林ニ變更スルノ企アル片ハ
森林上等官吏ヨリ其申述昏ヲ邑長或ハ建造
物ノ管理者ヘ送達スヘシ

該邑ノ議會又該建造物ノ管理者ハ其高議ヲ
為スヘシ而テ若シ故障ノ生スルアレハ州ノ
議會ニテ其裁判ヲ為シ猶服セサル片ハ國議
院ニ於テ決定ノ審判ヲ為スヘシ

第九十一条 村邑及ヒ建造物ハ政府ヨリ格別
ノ明許ヲ得ルニ非レハ必ス其森林ヲ開墾ス
ヘカラス若シ否シテ之レヲ為サシメ或ハ之
レヲ為シタル者ハ同種ノ罪ニ付テ人民ヘ言
渡スヘキ罰ノ第十五篇ニ記シタルモノヲ適
用スヘシ

第九十二条 村邑ノ其森林ヲ所有スルノ權ハ決

シテ各民ニ分有ラ為ス^一ヲ得スト^二虽氏二邑
以上ニテ一ノ森林ヲ共有スル^三氏ハ各邑ハ其
森林ヲ分有セ^レト^一ヲ強ユルノ權アルヘシ

第九十三條 村邑及ヒ建造物ハ他ト分有セル

ト否トニ^一衡セス少ク^二氏十ヘク^三タール^四ル^五ル^六ハ

^七元我九反二百六^八以上ノ森林ヲ所有スルニ^九於テ

ハ其四分一ノ樹木ハ常ニ植置クヘシ

此條規ハ粘膠質ノ樹木アル

カラス

第九十四條 村邑及ヒ建造物ハ其森林ヲ保守

スル為メニ私ノ番人ヲ設ケ置クト^一虽氏其員

ハ邑長及ヒ建造物ノ管理者之レヲ定ムヘシ

若シ其負ノ過不足アル^一中ハ森林官署ノ高

議ノ上州長ヨリ之レヲ定ムヘシ

第九十五條 其番人ノ撰挙ハ村邑所属ノ森林

ニ付テハ邑長之レヲ為シ若シ故障ノ生スル

中ハ邑ノ議會ノ決ヲ取ルヘシ又建造物ノ所

属ニ付テハ其管理者其撰挙ヲ為スヘシ

其撰挙森林上等官吏之レヲ許諾シ且^一委

任状ヲ渡スヘシ若シ之レヲ許諾セサル^一中ハ

司法省

州長之レヲ決定スヘシ

第九十六条 村邑及ヒ建造物ハ其番人ノ或ハ
欠負アル片ハ三十日内ニ其代人ヲ撰ムヘシ
若シ否片ハ森林上等官吏ノ願ヲ以テ州長
ヨリ之レヲ補フヘシ

第九十七条 森林官署及ヒ村邑且ツ建造物ハ
其附属ノ森林ト官有ノ森林トヲ一人ノ番人
ニ兼任セシメテ適當ナリト思量スル片ハ其番
人ヲ命スルノ權ハ必ス森林上等官吏ニ限ル
ヘシ

其番人ノ給料ハ双方ノ割合ヲ以テ之レヲ
與フヘシ

第九十八条 森林上等官吏ハ村邑及ヒ建造物
ノ其番人ノ職務ヲ停止セシムルヲ得ヘシ
若シ免職セシムヘキ場合ニ於テハ邑ノ議會
或ハ建造物ノ管理者森林官吏ト商議ノ上
州長之レヲ言渡スヘシ
此等ノ番人ノ給料ハ邑ノ議會或ハ建造物
ヨリノ申述ニ依リ州長之レヲ定ムヘシ

第九十九条 村邑及ヒ建造物ノ其森林番人ノ

一ハ官有ノ森林番人ト全ク同一ニシテ即チ
森林上等官吏ノ管理ヲ受クヘシ又盟ヲ為ス
一ヲモ同式ニシテ且ツ其所轄ノ森林ト否ト
ニ関セス犯罪及ヒ違規ノ者アル片其番人ノ
作リタル調書ハ裁判ノ事ニ於テ直ニ正ナル
證據トナルヘシ

第百条 伐ル可キ樹木ノ賣捌方ハ常例又ハ
臨時共ニ官有森林ノ定規ニ依リ森林上等官
吏ノ指令ヲ以テ之ヲ為ス可シ而テ村邑ニ屬セ
ル森林ハ邑長或ハ副邑長ノ面前ニ於テ

建造物ニ附屬セル森林ハ其管理者ノ面前ニ
於テ之ヲ為ス可シ然レ氏其呼出シタル邑長
又ハ管理者ノ出席ヤサルトヲ其賣拂ヲ為ス
一ヲ取消ス可カラス

此条ニ違フテ邑長及ヒ建造物ノ管理者其
指令ヲ以テ賣却ヲ為シタルニ於テハ此兩官吏
ハ三百フラニク以上六千フラニク以下ノ罰
金ヲ出ス可シ其他村邑或ハ建造物ハ損害ス
ル時ハ亦之ヲ償フ可シ而テ其賣却セシ麦ハ
全ク其効ナシトス

第百一条 第二十一条ニ記シタル制禁ハ該村
邑ノ森林ニ關係スル邑長郡長及ヒ村邑ノ諸
金銀ヲ取扱フ人且ツ建造物ノ管理者及ヒ其
金銀ヲ取扱フ官吏ニモ亦適用ス可シ
若シ此ニ背ク時ハ其官吏ハ償金ノ有無ニ関
セズ第二十一条ノ第一項ニ記セル罰金ノ言
渡ヲ受ク可シ而テ其賣買ハ其効ナシトス
第百二条 建造物ハ附屬セル森林ノ樹木ヲ常
例及ヒ臨時ニ競賣ヲ為ス時ニ薪木或ハ樹木
ノ其建造物ノ公用ニ供ス可キ程ヲ州廳ヨリ

定ムル所ノ其定規ニ從テ之ヲ残シ置ク可シ
其薪木及ヒ樹木ハ其建造物ノ公用ニ供ス可
キノ其目的ニ違ヒテ之ヲ用フハカラス又州
長ノ許可ヲ得スニテ之ヲ賣リ或ハ交換ヲ為
スヲ得ス此規ニ背キタル管理者ハ其薪木
及ヒ樹木ノ價ニ同キ罰金ヲ出シ而テ其薪木
及ヒ樹木或ハ其價ヲ建造物ハ返却ス可シ且
其賣却交換等ノ事ハ其効無キモノトス
第百三条 邑民ノ其薪木用ユ可キ為メニ分
配ス可キ樹木ヲ伐採リ及ヒ之ヲ分配スルヲ

ハ森林官吏ヨリ其立木ヲ渡サ、ル前ニ恣ニ
之ヲ伐採ル可カラス而テ此事ハ官有ノ森林
ヨリ村邑ハ渡ス可キ樹木ノ取扱ノ度ニ付テ
第八十一条ニ記スル所ノ定規ニ從フ可シ若
シ之ヲ背ク時ハ亦該条ニ記スル所ノ罰ヲ
受ク可シ

第百四条 第百二条第百三条ニ從テ人民ハ渡
ス可キ薪木及ヒ樹木ヲ渡ス、ノ諸書付ハ
印紙ヲ貼付ス可キ様ニ認メテ先ツ假リ官
ノ簿冊ニ登記シ置ク可シ而テ其事ニ付テ訴

訟ノ有ラサル時ハ後其印税ヲ納ムルニ及ハ
ス

第百五条 該森林ニ付テ其人特殊ノ權又ハ特
別ニ其樹木ヲ使用スルノ權有ラサルニ於テ
ハ薪木ノ分配ハ其竈ニ就テ之レヲ為ス可シ
而テ該村邑ニ真ニ居住ヲ定メタル者ハ分配
ス可キ者ナリ家屋ヲ建築シ及ヒ修覆スル為
ニ渡ス可キ樹木ノ價ハ評價人ノ言ニ依テ之ヲ
定メ而其村邑ニ渡ス可シ

第百六条 村邑及ヒ建造物ハ屬スル森林ヲ管

理スル其費用ヲ償フ為ニ森林ノ地稅ニ費用
高ノ金數ヲ加テ之ヲ納ム可シ而テ其金高ノ
毎年租稅ヲ課賦スルノ規則ニ從テ之ヲ定メ
且其金負ハ各民出ス所ノ其地稅ノ割合ニ從
テ地稅同様ノ法方ヲ以テ之ヲ納ム可シ

第百七條 第百六條ニ記スル事ノ故ヲ以テ村
邑及ニ建造物一屬スル森林ヲ保護及ニ管理
スル等ノ支ニ付テ森林官署且ツ其官吏ニ於
テ再ニ村邑ニ其雜費ヲ出サシムルヲ得ス
村邑又建造物ニ屬スル森林ニ於テノ犯罪

及ニ違規ノ一ニ付テ村邑及ニ建造物ノ利
益トナル可キ為ニ為ス所ノ訴訟又ハ村邑及
ニ建造物ノ為ニ裁判所ニ於テ定メタル償金
及ニ返却物ヲ取立ル事ニ付テハ官吏其費
用ヲ收メスシテ之ヲ為シ且ツ官ニ收納ス可
キ罰金ヲ取立ルノ仕事ト同時ニ之レヲ為ス
可シ

故ニ以後村邑及ニ建造物ヨリ森林官吏ノ其
費用ヲ取ル可カラサル一ハ官吏ノ該支件ヲ
務メシ時向ノ日給測量ヲ為ス一ニ付テノ

費用最終實地ノ測量及ヒ検査ノ事ニ付テ
ノ費用森林ノ増税村邑ニ屬セル森林ノ
事ヲ辨理セシ其諸費ヲ其村邑へ渡ス可キ
金ヨリ前引スル支森林官署ノ負ケタル中ノ
訴訟費及ヒ森林官署ノ勝訴訟ノ時其負ケ
タル者ノ金カ無キ時ノ其訴訟費

第百八条 村邑及ヒ建造物ヨリ置ク所ノ其森
林番人ノ給料ハ村邑及ヒ建造物ノ入費タル
可シ

第百九条 常例或ハ臨時ニ樹木ヲ伐採スルハ

ハ重モニ森林ヲ保護スル事ノ為メ雜費及ヒ
森林ノ地租及ヒ第百六条ニ從テ大藏省へ納
ム可キ金ノ為ト為ス可キ者トス

若シ其伐採シタル樹木ハ從來其樹木ノ俦ニ
テ村邑ノ者へ渡ス可キ者ニシテ而テ其村邑
別ニ調金ノ手段無キ時ニ於テハ其樹木ヨリ
右三件ノ金負ニ直ル丈ノ樹木ヲ引残シテ之
レヲ競賣シ而テ其價金ハ該三件ノ為ニシ
之レヲ用ユ可シ

第百十条 村邑ノ住民及ヒ建造物ノ諸官吏ハ

其附属ノ森林ニ於テ野牛、羊或ハ子羊ヲ入シ
或ハ入レシムルヲ得ス若シ之ニ背ク片ハ其
入レタル人或ハ入レシメタル人ハ各第百九
十九条ニ記シタル所ノ罰ヲ命シ牧豎及
シ其番人ハ各第七十八条ニ記シタル所ノ罰
ヲ命ス可シ

千六百六十九年ノ命令書ノ取極メニ關係ナ
ク羊ノ牧畜ハ当今マテ許サレタル森林ニ於
テハ此ノ法布告ノ日ヨリ二年間ハ本条ノ制
禁ヲ免許ス可シ

然レモ羊或ハ子羊ヲ牧畜スルハ国王特
別ノ命ヲ以テ或ル場所ニ於テ許スヲ得可シ
第百十一条 官有ノ森林ニ於テ使用ノ權アル
者ヲ處置スル事ニ付テ第六十三条ニ記シタ
ル政府所有ノ權ハ村邑或ハ建造物ニ於テ亦
之レヲ適用ス可シ

第百十二条 官有ノ森林ニ於テ使用ノ權ヲ行
フニ付キ第三篇第八章ノ各条ハ村邑及ヒ
建造物ノ附属セル森林ニ於テ產物ヲ採取ス
ル事及ヒ其森林ニ關シタル各般使用ノ權ニ付

テモ亦之ヲ適用ス可シ然レ氏此篇ヨリ生ス
ル所ノ變化及ビ第六十一条第七十三条第七
十四条第八十三条第八十四条ヲ除ク可シ

佛國森林法卷一畢

自第七篇至
第十五篇

佛國森林法

坤

司
法
部

百
一
十
七

佛國森林法卷之二

米人ウヘルベツキ氏讀授

河内信朝

光增重健 筆記

第七篇

森林法ヲ以テ管理スル彼此共有

森林

第一条ノ第
六項見合

第百十三條

官有ノ森林ヲ保護及ヒ管理シ且

ツ該森林ニ於テノ犯罪及ヒ違規ノ訴訟ホニ

付テノ事ハ亦此ノ共有ノ森林ニ適用ス可シ

然レ氏村邑及ヒ公ノ建造物へ属セル森林ニ

付テ第六篇ニ記シタル變化ハ之ヲ除ク可シ

第百十四條 通常或ハ臨時ニ樹木ヲ伐採スル
一之ヲ使用スル一之ヲ賣却スル一ハ共有者
之ヲ為ス一ヲ得ス若シ之ニ背ク片ハ伐倒シ
タル樹木又ハ賣却シタル樹木ノ其價ニ均シ
キ罰金ヲ命シ而テ賣却ノ契約ハ其効ナシト
ス

第百十五條 境界ヲ定ムル一測量スル一及ヒ
番人ヲ置ク一ニ付テノ費用ハ共有者各々ノ
權ニ隨ヒ其割合ヲ以テ之ヲ辨ス可シ
其番人ヲ命シ給金ヲ定メ及ヒ番人ヲ退職

セシムルノ權ハ森林官署ニノミ之アリトス

第百十六條 樹木ノ賣却ヨリ生シタル價金ハ
共有者其各々ノ權ニ隨ヒテ其割前ヲ受ク可
シ返却物及ヒ償金等ニ於テモ亦同シ

第八篇 人民私有ノ森林

第百十七條 人民其私有ノ森林ノ保護ヤシカ
為メ其番人ヲ置ント欲スル片ハ郡長ヨリ其人
物ノ免許ヲ得可シ郡長若シ許諾セサル片ハ
之ヲ州長ニ請求ス可シ

假令其免許ヲ得ルト虽モ其番人ハ下等裁

判所ニ於テ盟ヲ為シタル後ニ非レハ其勤務ヲ
行フヲ得ス

第百十八條 官有ノ森林ニ於テ為ス所ト同一
ノ方法ヲ以テ第六十三條ニ記スル所ノ定規
ニ從ヒ私有ノ森林ヲ使用スルノ權アル者ヲ
處置スルヲ得可シ

第百十九條 私有ノ森林ニ收畜ヲ為シ及ヒ豚
ヲ入レ櫛突ヲ拾取スルハ可成丈森林官署
ヨリ右林ト定タル場所ニノミ之ヲ為ス可シ
獸類ノ通行ス可キ路ハ其所有主ヨリ之ヲ指

示ス可シ

第百二十條 第六十四條才六十六條ノ第一項
第七十二條第七十三條第七十五條第七十六
條第七十八條ノ第一項第二項第七十九條才
八十三條第八十九條ノ諸定規ハ人民私有ノ
森林ニ於テ使用ノ權ヲ行フニ付テノ事ニ適
用ス可シ故ニ其所有主ノ權ハ森林上等官吏
且森林監察官吏ノ有スル所ノ權ト同一ナリ
ト又

第百二十一條 森林所有主ト使用ノ權アル者

トハ間ニ起リタル争論ハ一般ノ裁判所ニ許
ヘ出ツ可シ

第九篇 森林ヲ公用ニスル事

第一章 海軍ノ使用ニ供ス可キ森林

第百二十二条 森林法ヲ以テ管理スル諸森
林ノ樹木ヲ伐ル可キ時ニ於テ海軍省ハ其官
吏ヲ以テ造船ニ適用スル樹木ヲ撰ミテ其印
ヲ為ス可シ然レ氏森林官吏ノ兼テ保存ニ置
ク可キ為ニ印ヲ為シタル者ヲ除ク可シ

第百二十三条 前条ニ所謂造船用ノ為ニ印ヲ
為シタル樹木ハ下ノ各条ニ記スル所ノ定規
ニ從テ斃賣ヲ以テ他ニ賣ル可キ樹木中ニ抱
括シ後其買主ヨリ之ヲ海軍省ニ渡ス可シ

第百二十四条 此ノ森林法布告ノ日ヨリ十年
間海軍省ハ人民私有ノ森林ニ於テ其大木又其
兼テ保存ニ置ク所ノ木或ハ路傍ノ並木由
畑ノ端ニ在ル木散植セル木ヨリ撰シテ其印
ヲ為スノ權アル可シ

其權ハ櫟木又伐採ル可キニ定リタル木又地
ヲ抜ク一ノメートルトル
凡我曲尺一ノ所ノ大サ十
尺三寸強

五^ノテシメ^ルト^ル 凡我曲尺五尺ニテ一^テシメ^ルハ我三寸三分弱

以上ノ樹木ノミニ用ユ可シ

人家繞田内ノ樹木及ヒ他日伐採ス可キ為ニ栽培セシ者ニ非サル樹木ハ其印ヲ為ス可キ類ニ屬セサルナリ

第百二十五条 前条ニ記ヤシ其印ヲ為ス^ルヲ取除ク可キノ樹木ニ非ス又其所有主自家ノ修覆及ヒ新ニ家屋ヲ建造ス可キ為ニ用ユルニ非レハ總テ其所有主ハ六ヶ月以前ニ伐採ス可キ樹木及ヒ其場所ヲ郡長ニ届ク可シ

若シ其届ヲ為サル^ルハ其樹木ノ大サノ周圍ヲ計リ一^トメ^ルト^ル 毎ニ十八^トラ^ンク^レノ罰金ヲ命ス可シ

第百二十六条 郡長ニ届ケタル日ヨリ六ヶ月間ニ海軍省ヨリ其印シテ為サルニ於テハ所有主ハ其樹木ヲ自由ニ伐採ル^ルヲ得可シ官有及ヒ村邑又公ノ建造物其人民所有ノ森林ニ於テ海軍省ヨリ印ヲ為シタル樹木ニ付^テハ海軍官吏其調書ヲ作り八日内ニ邑長ニ調印ヲ為サシメ而テ其寫シハ枚ヲ其森林所

在ノ邑廳へ預ケ置ク可シ若シ此規ニ違フテ
官吏ノ為ニシタルハ其効ナシトス
其調書ヲ邑廳へ預ケタル後ニ其買主及ヒ村
邑或ハ公ノ建造物且ツ各所有主ハ其印シテ
キ樹木ヲ自由ニ用ユルヲ得可シ

第百二十七条 森林法ヲ以テ管理スル所ノ森
林ヲ斃賣スル片ハ其買主又使用ノ權ノ得タ
ル森林ニ付テハ邑長公ノ建造物ニ属スル森
林ニ付テハ其管理者人民所有ノ森林ニ付テ
ハ其主各自ニ海軍省ト高議シテ其樹木ノ償

ヲ定ム可シ

若シ其價ニ付テ和談ノ成ラサル片ハ双方ノ
評價人ヲ以テ之ヲ定ム可シ而テ其評價人ノ
所見一和セサル片ハ下等裁判所ノ長官ハ其
一方ノ者ノ歎願ニ依テ再ヒ双方ノ評價人
ヲ命ヌ可シ
此評價人ニ付テノ費用ハ双方ヨリ之ヲ辨ス
可シ

第百二十八条 森林法ヲ以テ管理スル所ノ森
林ヲ斃賣スル時ハ其買主又使用ノ權ヲ得タ

森林ニ付テハ邑長公ノ建造物ニ屬スル森林
ニ付テハ其管理者人民所有ノ森林ニ付テハ
其主等其樹木ヲ伐リタル事ヲ郡長ハ告知シ
タル日ヨリ三ヶ月間ニ海軍省ヨリ其印シテ
ル樹木ヲ盡ク採取セサル欲或ハ其代價ヲ拂
ハサルニ於テハ其印シタル樹木ヲ自由ニ用
ユルヲ得可シ

第百二十九条 海軍省ハ各森林所有者ノ其樹
木ヲ伐ル迄ノ間ニ其為ニタル印シテ廢スルノ
權アリト雖モ然モ第百二十八条ニ從テ其
伐リタル樹木ヲ尽ク採取シ又ハ其供ニ抛
棄ス可シ

第百三十条 各森林所有者ハ郡長ハ其樹木ヲ
伐ル可キヲ告知シタル日ヨリ一ヶ年間ニ
其樹木ヲ伐ラサルニ於テハ其事ハ消尽ス可シ
而テ爾後復タ其樹木ヲ伐ルヲ欲スル時
ハ再々之ヲ郡長ハ告知ス可シ

第百三十一条 自家ノ修復又ハ新ニ家屋ノ築
造スル莫ノ為ニ郡長ハ告知ス可キ森林ノ樹
木ヲ伐ラント思フ人ハ邑長ヨリ果シテ其事

ノ要用ナルトヲ證セサルハ之ヲ伐ルトヲ得ス

其自用ノ事ノ果シテ要用ナルヲ證セル其調書ニ記スル所ノ目的ニ違ヒテ他事ノ為メニ十分ノ譯ナクシテ其樹木ヲ使用セル所ノ其所有者ハ郡長ハ告知セサル事ニ付テ第百二十五条ニ記スル罰金ハ言渡ヲ受ク可シ

第百三十二条 樹木ヲ伐ル可キトハ告知又前条ニ記スル其自用ニ要用ナルトヲ證スルト又樹木ニ鑿印スルト又樹木ヲ伐採ル等ノ事

ニ付テ其字ル可キ諸般ノ事ハ政府ヨリ定ム可キ者ナリ

其諸般ノ事ニ付テハ手数料ヲ出スニ及ハサルナリ

第百二十三条 森林法ヲ以テ管理スル所ノ森林及ヒ人民所有ノ森林ニ於テ海軍省ヨリ印ヲ為シタル樹木ハ轉シテ他ノ用ニ之ヲ遣フ可カラス此規ニ違フ者ハ其樹木ノ大サ一トノ一トル毎ニ四十五トランクノ罰金ヲ命ス可シ然レモ第百二十六条第百二十八条ニ記スル

場合ニ於テハ此条規ヲ除ク可シ

海軍省ヨリ印シテ為シタル樹木ハ海軍省ハ
渡サ、ル間ハ其伐リ倒シタル俛ニ置テ之
ヲ四角ニ鋸リタル材木ト為ス可カラス又海
軍ノ官吏ハ斧鋸錐及セ其他ノ器具ヲ以テ其
價ヲ減損スル様ノ事ヲ為ス可カラス若シ此
規ニ違フキハ上ニ記スル所ノ罰金ヲ出サシ
ム可シ

第百三十四条 諸森林ニ於テ犯シタル罪科及
ヒ違規ノ海軍用ノ事ニ関シタルモノハ森林

官吏又ハ海軍ノ將官等ヨリ調査ヲ以テ其證
ヲ立ツ可シ故ニ其海軍將官等ノ調書ノ森林
官吏ノ調書ト同シキ書式又ハ其レト同シキ
時恂ニ作りタル者ナルニ於テハ森林官吏ノ
調書ト同様十分ニ裁判ノ證據ト為ルニシ

第百三十五条 此篇ノ各条規ハ海軍省ノ為ニ
実益ト為ル可キ場所ノ森林ニハ適用ス可
シ

政府ハ海軍省ヨリ鈿印ヲ為スニ関係ナキ其
州郡及セ邑名ノ目錄ヲ作りテ之ヲ布告ス可

シ

若シ政府談州郡邑ヲ以テ海軍省ヨリ錘印ヲ
為ス可キ中ニ加ヘルヲ要用ト思量スルニ於
テハ更ニ其州郡邑ノ名ヲ布告ス可シ

第一章「ライン河ノ為ニ道路橋梁等事

ヲ管スル官署へ用ユ可キ森林

第百三十六條 「ライン河ニ付テ其堤塙ヲ築キ
及ヒ其堤塙ヲ堅固ナラシムル為メノ束柴ヲ
作ル為メ樹木又ハ水揚枝ヲ急ニ用ユ可キ時
ニハ州長ヨリ其事ノ要用ナルヲ証スルニ從テ

先ツ官有ノ森林ヨリ其樹木及ヒ水揚枝ヲ
渡ス可キヲ命ス可シ若シ官有ノ森林ニテ
不足アル時ハ村邑及ヒ公ノ建造物ニ附属ス
ル森林及ヒ人民所有ノ森林ハ其物ヲ渡ス可
キ事ヲ命ス可シ而テ此條規ハ其河岸ヨリ五
「キロメートル凡我一ノ距離内ニ在ル森林ノ
ニニ適用ス可シ

第百三十七條 故ニ河洲河岸又五「キロメー
ルノ距離内ニ於テ森林ノ所有セル者ノ其樹
木ノ大小ニ論ナク之ヲ伐採スルヲ企ツル氏

ハ三ヶ月以前ニ郡長ニ報知ス可シ
而テ三ヶ月間ニ其需用無キニ於テハ所有主
ハ其樹木ヲ自由ニ取扱フコトヲ得可シ

第百三十八条 急用ノ場合ニ外森林ノ所有主
前条ニ記スル所ノ報知ヲ為サスニテ其樹木
ヲ伐採スルニ於テハ其伐テタル地面ノ一ツア
トルニ我ニ十毎一ツフランクレノ罰金ノ命ス
可シ

森林所有主ハ其樹木ノ官用アル事ノ報知ヲ
得而テ其命スル所ニ従ハスニテ自由ニ其樹
木ヲ取扱フ時ハ一ツアール毎ニ四ツフランクレノ
罰金ヲ命ス可シ

第百三十九条 森林法ヲ以テ管理スル所ノ森林
ニ於テ道路橋梁等ノ支ヲ管スル官署ヨリ要求ス
ル所ノ樹木ヲ伐採スルコトハ森林官吏ノ指揮
及ヒ監察ヲ以テ該官署ヨリ許ス所ノ請負人
之ヲ為ス可シ
此場合ニ於テ其請負人ハ官有ノ森林ニ於テ
一般ノ買主タル者ノ為ス可キコト及ヒ引受ク
可キコトノ其定規ニ従フ可シ

第百四十条 各民所有ノ森林ニ付テ其主ハ道路
橋梁等ノ事ヲ管スル官署ヨリ求ムル所ノ樹木
ヲ自己ニテ伐ルルヲ好ムト否トヲ該官署ヘ報
告ス可シ若シ之ヲ好マサル時ハ前条ノ定規
ニ從ヒテ其官署ヨリ許ス所ノ請負人ノ伐
採ス可シ又其官署ノ求メ書ニ定メタル時間
ニ其樹木ヲ伐採セサル時ハ州長ノ指令且其
所有主ノ費用ヲ以テ該官署ヨリ之ヲ伐採ス
可シ

第百四十一条 第百三十六条ニ依テ道路橋梁

等ノ事ヲ管スル官署ヨリ求ムル所ノ樹木及ヒ水揚
ノ其代價ハ其伐リ了リシ日ヨリ三ヶ月間ニ海
軍省ヨリ印シテ為シタル樹木ノ事ニ付テ第
百二十七条ニ定リタル價ヲ極ムル下ノ仕方
ニ從テ該官署ノ請負人ヨリ官及ヒ村邑又
公ノ建造物且ツ人民所有ノ其主ヘ拂フ可シ
村邑及ヒ人民ノ所有主ハ其樹木ノ時節ニ違
ヒテ伐リタルニ付テ其損害ヲ受ケタル時ハ
官私双方ノ約束ヲ以テ定ル所或ハ評價人ノ
定ル所ノ其價金ヲ受ク可シ

第百四十一条 此章各条ノ定規ニ依テ其樹木ヲ求ムルノ樹木ヲ伐ルノヲ企ル時ノ報知及ヒ樹木ヲ求ムルノ報知等ニ就テ守ル可キ其方法ハ政府ヨリ之ヲ定ム可シ

第百四十三条 此章ノ各規ニ背キ及ヒ犯罪ノ者アル時ハ森林官吏及ヒ番人道路橋梁等ノ事ヲ管スル官吏ノ視察又誓ヲ為シタル巡查長ノ調書ヲ以テ其証ヲ立ツ可シ

此各官吏ノ其調書ノ事ニ付テハ森林審人ノ調書ノ事ニ付キ第十一篇第一章ノ各規及ヒ其時間ヲ守ル可シ

第十篇 森林ノ取締及ヒ保護ノ事

第一章 諸森林ノ用ユ可キ各規

第百四十四条 石、沙、泥、金屬、ニハツケ糾草土、泥炭「アルイエ「ル灌木ノ名、蒨草、牧草、樹木ノ青葉及ヒ枯葉森林ニ在ル肥料、カシ糠、ツナ山毛榉ノ実其他各種ノ菓及ヒ核子ヲ許可ヲ得スニテ採取及ヒ運輸スル者ノ左ノ罰金ヲ命ヤラル可シ

車ハ其牛馬ノ每一頭拾フヲレク以上三十フヲレク以下駄牛駄馬ハ每一頭五フヲレク以上

上十五「フ」ラシク以下人ハ每一人ニ「フ」ラシク
以上六「フ」ラシク以下加之三日以上入牢ノ罰
ヲ命スル事アル可シ

第百四十五条 道路橋梁等ノ事ヲ管スル官署ハ官
用ノ為ニ樹木及ヒ水場ヲ蓄ヘ置可キ其場所ヲ
指示スルノ權アル可シ然レ氏其樹木ヲ伐ル
ノ請負人ハ官及ヒ村邑又公ノ建造物且ツ
人民ハ對シテ定マレル所ノ償金ヲ辨シ而テ其
事ニ付テ法及ヒ規則ヲ以テ定メタル各般ノ
事ヲ遵守ス可シ

第百四十六条 鎌斧、鋸或ハ其他ノ物ヲ所持セ
ル者森林中往來ス可キ道路ノ外ニ居テ官吏
ニ見顯サレタル時ハ十「フ」ラシクノ罰金ヲ命
シ且ツ其諸器ヲ取上ル可シ

第百四十七条 馬車、牛車、獸畜及ヒ駄馬、駄牛且
ツ乗馬ハ森林往來ノ道路外ニ居テ見顯ハサ
ル、ニ於テハ其主ハ左ノ罰ヲ命セラル可シ
十年以上ノ星霜ヲ歷タル森林ニ於テハ馬車
及ヒ牛馬ノ每一頭十「フ」ラシク十年以下ノ
森林ニ於テハ二十「フ」ラシク車ニ附属マサル獸

畜ハ每一頭牧畜ノ事ニ依テノ犯罪ニ付才百
九十九条ニ定リタル罰金且ツ或ハ償金ヲ命
スルコトアル可シ

第百四十八条 森林中又ハ森林ヨリ二百メー
トルノ距離内ニ於テ火ヲ取扱ヒ及ヒ火ヲ然ス
コトヲ禁ス此ニ背ク者ハ二十コトヲシテ以上
百コトヲシテ以下ノ罰金ヲ命ス可シ若シ或ハ
火災ヲ引起シタル時ハ刑法ニ定マレル所ノ罰
ニ命シ且或ハ各種ノ償金ヲ出サシム可シ

第百四十九条 森林ヲ使用スルノ權アル人火

災ノ時ニ其權ニ關係アル森林ヲ助カ消防ス
ルコトヲ拒ムニ於テハ警視廳一告訴セラレ一
年以上五年以下其使用ノ權ヲ奪ハレ而テ刑
法第四百七十五条ニ定レル罰ヲ受ク可シ

第百五十条 森林ノ境界ニ傍ラタル樹木ノ三
十年以上ヲ歴タル者ナルニ於テハ隣地ノ主
其樹木ノ枝ヲ伐ラシムル為ニ民法ノ第六百
七十二条ヲ用ユルコトヲ得ス

森林所有主ノ許シテ得スニテ誤樹枝ヲ伐ル者
ハ第百九十六条ニ記スル所ノ罰ヲ命ス可シ

第二章 森林法ヲ以テ管理スル所ノ森林
林一用ニ可キ各規

第百五十一条 年時ノ長短ニ論ナク総テ石灰
ヲ燒ク竈及ヒ練化石製造所又瓦ヲ燒ク竈ハ
政府ノ允許ヲ得スレテ森林中又ハ森林ヨリ
一キロメートルノ距離内へ建設ス可カラズ
之ニ背ク者ハ百「フランク」以上五百「フランク」
以下ノ罰金及ヒ其建築物ヲ取崩ス可キノ言
渡シヲ受ク可シ

第百五十二条 何様ノ譯アリトモ政府ノ允
許ス得スレテ假屋及ヒ小屋又假ノ板屋ノ森
林中又森林ヨリ一キロメートルノ距離内へ
建造ス可カラズ之ニ背ク者ハ五十「フランク」
ノ罰金及ヒ其裁判言渡ノ日ヨリ一ヶ月内ニ
其建築物ヲ取崩ス可キノ言渡ヲ受ク可シ

第百五十三条 政府ノ允許ヲ得スレテ森林法
ヲ以テ管理ス可キ諸森林ヨリ五百「メートル」
ノ距離内へ家屋又ハ農舎ヲ建築ス可カラズ
若シ之ニ背ク時ハ其建築物ヲ取崩ス可キノ
言渡ヲ受ク可シ

其允許ヲ請フノ願ハ六ヶ月間ニ之ヲ裁決ス
可シ故ニ其六ヶ月ノ時間ニ経過セシ後ハ其
家屋農舎ヲ建築スルヲ得可シ
從來既ニ建築セシ家屋農舎ハ之ヲ取崩ス
ヲ命スルニ及ハス且ツ其家屋農舎ハ允許ヲ
得スレテ之ヲ修復シ或ハ建替ヘ又造リ廣ム
ルヲ得可シ
村邑ニ附属スル森林ノ二百五十「ヘクタール
以下ノ坪数アル者ニハ此ノ初項ノ定規ヲ除
ク可シ

第百五十四条 前条ニ定クル所ノ距離内ヘ從
來ノ家屋農舎ニ居住シ又前条ニ從テ許可ヲ
受ケタル家屋農舎ニ居住セル人政府ノ允許
ヲ得スレテ其家屋農舎ニ於テ材木ヲ用ユル
事ノ細工場又材木ヲ賣買スル為メ園庭及ヒ
倉庫ヲ建築スルヲ得ス若シ之ニ背ク時ハ
五十「ヲラレクレノ罰金及ヒ其材木ヲ没取スル
罰ノ言渡ヲ受ク可シ
其允許ヲ得タル者ノ一度森林法ニ付テ罪ヲ
犯セシ「アル中ハ政府ハ其允許ヲ廢スルノ

權アル可シ

第百五十五条 政府ノ允許ヲ得スニテ森林ノ
周囲ノ内及ヒ森林ヨリニ一キロメートルトルノ距
離内ニ鋸木所ヲ建設ス可カラス若シ之ニ背
ク片ハ百「フレンク」以上五百「フレンク」以下ノ
罰金及ヒ其裁判言渡ノ日ヨリ一ヶ月間ニ其
舎屋ヲ取崩ス可キノ言渡ヲ受ク可シ

第百五十六条 一群ヲ為シタル市街邑里及ヒ
村落ノ人家及ヒ各製造所ハ前三ヶ条ニ定ム
ル所ノ距離内ト雖モ其定規ヲ除ク可シ

第百五十七条 第百五十一条第百五十二条第百
五十四条第百五十五条ノ定規ニ從テ允許
サレタル製造所及ヒ小屋且ツ其他ノ建築物
ハ森林官吏及ヒ番人其建築物ノ内ヲ視察シ
而テ森林官吏二人或ハ其地ノ證人二人ト同
行スルニ於テハ諸官吏ノ立合ナシト雖モ精
シク其搜索視察ヲ為スノ權アル可シ

第百五十八条 第百五十五条ニ記シタル政府ノ
允許ヲ受ケタル鋸木所ハ森林番人ノ未タ
認知セス及ヒ其錐印ヲ為サ、ル間ニ決シテ

金身ノ樹木及ヒ堅実ナル方ノ半身ノ樹木又
其伐リ残シノ株ヲ受ク可カラス

番人ノ調査及ヒ其印ハ其報知セシ日ヨリ五
日内ニ之ヲ為ス可シ鋸木所ノ持主之ニ皆ク
中ハ五十フラシク以上三百フラシク以下ノ
罰金ヲ命ス可シ若シ再ヒ之ヲ犯ス時ハ其倍
數ノ罰金ヲ出サシメ而テ其鋸木所ヲ廢ス可
キ一ハ裁判所ヨリ之ヲ言渡ス可シ

第十一篇 犯罪及ヒ違規ニ付テノ訴訟

第一章 森林法ヲ以テ管理スル森林ニ於

テノ犯罪及ヒ違規ノ訴訟

第百五十九条 森林官署ハ官有及ヒ其他森林
法ヲ以テ管理ス可キ森林所有主ノ為メニ該
森林ニ於テノ犯罪及ヒ違規ニ付テノ訴訟ノ
事ヲ任ヤラル、ト虫氏然レ氏第八十七条ニ
記スル所ノ一ニハ之ヲ取除ク可シ

森林官署ハ第百三十四条第百四十三条第二
百十九条ニ記シタル犯罪及ヒ違規ニ付テノ
訴訟ノ事ヲ任ヤラル、者ナリ

訴訟ハ森林官署ノ名ヲ以テ該官吏ノ之ヲ為

ス可キモノト虽モ然レ氏之ヲ以テ檢事ノ權
ヲ減殺スル者ニ非ス

森林法ヲ以テ管理ス可キ森林ニ於テ事ノ全
ヲ森林ニ関涉シタル犯罪及ヒ違規ニ付テノ
訴訟ノ終審ノ裁判ニ至ラサル間ニハ森林官
署ハ勸和内済スルヲ得ルノ權アル可シ而テ
終審ノ裁判後ニ至テノ勸和内済ハ罰金且
ツ償金ノ事ノミニ為ス_一ヲ得可シ

第百六十条 森林上等官吏及ヒ測量吏且ツ森
林番人ハ犯罪又違規ノ者アル_一ヲ探索シ而

テ調査ヲ以テ上等官吏及ヒ測量吏ハ其所轄
内ニ於テ番人ハ其誓_一ヲ為シタル裁判所ノア
ル郡中ニ於テ其證ヲ立ルノ權アリ

第百六十一条 森林番人ハ罪ヲ犯シテ見_一顯ハ
サレタル動物又該犯者ノ所持セル器具及ヒ
車且ツ其車ニ附属セル牛馬ヲ押_一預ルノ權
アリ又該犯者ノ持去リシ者ヲ其所ニ逐ヒ至
リテ其品物ヲ押_一預カル事ヲ得可シ

然レ氏森林番人ハ最下等_平和裁判官或ハ其次
官又邑長或ハ副邑長又ハ巡查長ヲ伴ハスシ

テ人家及ヒ建築物且ツ園庭又繞圍中へ入ル
トヲ得ス

第百六十二条 前条ニ記スル所ノ各官吏ハ犯
罪者ヲ搜索スルヲ助ク可キトシ森林番人
ヨリ頼マレタル片ハ直ニ番人ト同行スル
ヲ拒ムヲ得ス

其他各官吏ハ其面前ニ於テ為ス所ノ搜索ノ
事又ハ物ヲ押、預リ置クトニ付テノ其調書
ニ筆押ヲ畫ス可シ若シ之ヲ拒ム片ハ番人ハ
其事由ヲ調昏ニ記載ス可シ

第百六十三条 森林番人ハ現ニ罪ヲ犯スノ際
ニ知レサリシ者ヲ捕縛シテ最下等和裁判所
又ハ邑長ノ所へ送り行クノ権アル可シ

第百六十四条 森林官吏及ヒ其番人ハ森林
法ニ関シタル犯罪及ヒ違規ノ事ヲ押、止メ或
ハ法ニ背ヒテ伐リタル樹木及ヒ法ニ背ヒテ
賣買シタル樹木ヲ探索シ及ヒ押、預ルルノ
為ニ直ニ公ノ威カヲ巡査等呼出スルノ権アル
リ

第百六十五条 森林番人ハ自ラ調昏ヲ認テ而

テ遅ク其書キ了リシ明日ニ其邑ノ最下等
和裁判官或ハ其次官又ハ番人ノ其住所或ハ
其罪ヲ犯セシ場所ノ邑長及ヒ副邑長ノ面前
ニ於テ其華押ヲ画シ而テ誓言ヲ以テ其事ヲ確
保ス可シ若シ否ハ其調卷ハ無用ニ属ス可シ
假令ト如何ナル故障アリト虽モ其調卷ハ番
人自ラ記セシテ只其華押ノミヲ画セシ者十
ル時ハ其調卷ニ付テ其確保ノ誓言ヲ承ル
諸官吏ハ先ツ其調書ヲ讀聞カセ而テ其讀聞
セシトテ調卷ニ記ス可シ若シ否レハ其調卷
ハ無用ニ属ス可シ

第百六十六条 森林上等官吏及ヒ森林番長
又騎馬番人ノ已レ一人或ハ諸番人ト共ニ認ム
ル所ノ調卷ハ其確保ノ誓言ヲ述ルニ及ハス
第百六十七条 番人ノ其取押ヘシ品物ヲ記載
スル調書ハ確保ノ誓言ヲ述レ後二十四
時間ニ其寫シ一枚ヲ最下等^{和平}裁判所ノ書
記局へ納ム可シ而テ卷記官ハ取押ヘラレシ
品物ノ主ハ其報知ヲ為ス可シ

第百六十八条 談犯者ハ品物ヲ取押ヘラレシ

一ニ付テノ其費用ヲ拂ヒ且ツ相當ノ保承人
ヲ立ルニ於テハ最下等裁判官ハ其品物ヲ假
ニ返シ與フルヲ得可シ

若シ其保承人ノ金カノ事ニ付テ故障ノ生ス
ルアレハ最下等裁判官其事ヲ裁判ス可シ
第百六十九条 取押ヘラレシ動物ヲ五日ノ内
ニ乞ヒ求メス或ハ乞ヒ求ルト虽モ保承人ヲ
立サルニ於テハ最下等裁判官ハ近隣ノ市場
ニ於テ賣拂フ可キ事ヲ命ス可シ而シテ其競賣
ハ收税官吏ノ心配ヲ以テ之ヲ為シ而シテ收税官

吏ハ其競賣ス可キヲ二十四時間ニ布告
ス可シ

動物ノ取押ヘ且ツ之ヲ競賣スルニ付テノ雜
費ハ最下等裁判官之ヲ定メ而シテ其競賣
ヨリ生スル所ノ金數ヨリ引キ而シテ其殘金ハ
其終審ノ裁判ニ至ル迄ノ間收税官吏ノ手ニ
預リ置ク可シ

取押ヘラレシ動物ノ賣レシ後ニ其主ノ乞ヒ
求メアリ而シテ其裁判其動物ヲ其主ニ返ス可
キ事ニ決定スル時ハ其主ハ諸雜費ヲ引テ其

残金ノミヲ乞ヒ求ル事ヲ得可シ

第百七十条 各種ノ調厩ハ各官吏ノ面前ニ於テ確保ノ誓言ヲ述ヘシヨリ四日内ニ官ノ簿冊ハ登記ス可シ

確保ノ誓言ヲ述ヘルニ及ハサル調厩ハ其厩キ終リシ日ヨリ四日内ニ亦官ノ簿冊ハ登記ス可シ若シ簿冊ハ登記セサル其調厩ハ無用ニ屬ス可シ

調書ハ記シタル犯罪及ヒ違規ノ事ノ官有又ハ国王ハ所有又村邑及ヒ公ノ建造物ニ屬スル所ノ森林ニ係ルモノハ其裁判ノ終ル迄ノ間ハ官ノ簿冊ハ登記スルニ付テ暫ク其税ヲ出スニ及ハス

第百七十一条 森林法ニ関涉スル犯罪及ヒ違規ノ事ニ付テ森林官署ノ名ヲ以テ該官吏ノ起シタル訴訟ハ刑法裁判所ニ於テ之ヲ裁判ス可シ而テ總テ此等ノ訴訟ヲ受クル事ハ必刑法裁判所ニ限ル可シ

第百七十二条 呼出状ニハ其事ノ調厩及ヒ確保ヲ為シタル其誓言ヲ寫記ス可シ否ハ呼出状

ハ其効ナキ者トス

第百七十三條 森林番人ハ森林官署ノ名ヲ以テ起シタル訴訟ノ事ニ付テ諸ノ呼出ヲ為スルヲ得可シ又裁判所ノ命令昏ヲ其者ハ届ケ達スルヲ得ルト虽氏然レ氏其命令昏ニ記載スルノ現實ノ取行ヒヲ為スルヲ得ス諸ノ呼出状及ヒ裁判所ノ命令昏ノ一ニ付テ森林番人ノ取ル可キ手数料ハ最下等裁判所ノ門吏ノ昏付類ト同様ニ其負數ヲ定ム可シ

第百七十四條 森林官吏ハ其訴訟ノ趣意ヲ裁判官ハ説明スルノ權アリ而テ裁判官ハ必ス其證據ヲ聽聞ス可シ

第百七十五條 森林法ニ関涉スル犯罪及ヒ違規ノ事ハ調昏ヲ以テ其証ヲ立ツ可シ或ハ調昏ナク又調昏ニ其證據ノ十分ナラサルハ乃チ証人ヲ以其証ヲ立ツ可シ

第百七十六條 第百六十五條及ヒ第百七十七條ノ定規ニ依テ認メタル調昏ノ二人ノ森林上ホ官吏或ハ二人ノ番人ニテ之ヲ認メ且ツ華押ヲ画シタル者ナルニ於テハ其記載スル犯罪

及ヒ違規ノ其輕重ニ関セズ別ニ其反對シ
タル證據ノ生スル間ハ必ス其證ト為ル可シ
故ニ調書ニ華押ヲ画シタルモノ、其一人ニ
向ヒテ尤モ可キ条理ナケレハ調書ニ記シタ
ル事ニ付テ他ノ證據ヲ採受ス可カラズ
第百七十七條 定規ニ依テ認メタル調書ノ口ハ
一人ノ森林上等官吏或ハ一人ノ番人ニテ之
レヲ為シ且ツ華押ヲ画シタル者ナルニ於テ
ハ其罰金及ヒ償金ヲ併セテ百フランク以下
ノ言渡ヲ為ス可キ犯罪及ヒ違規ノ事ニ限リ
別ニ其反對シタル證據ノ生スル間ハ必ス其
證ト為ル可シ

其調書ハ各種ノ犯罪及ヒ違規ノ事ヲ他數
人ニ對シテ同時ニ其証據ヲ立ル者ナル時其
言渡ス可キ金數ヲ合算シテ幾許ナルニ関セ
ズ各百フランク以下ノ言渡ヲ為ス可キ犯罪及
ヒ違規ノ事ニ付テハ亦同様ナル可シ

第百七十八條 其調書ハ別ニ反對ノ証據ノ生
スル間ノ十分ナル證據トナルニ足ラサル所
ハ治罪法ノ第百五十四條ノ定規ニ從ヒテ森

林官吏ハ其調書ノ事ヲ確實ニスルヲ得而テ
被告人ニ於テハ其調書ヲ辨破スルヲ得可
シ

第百七十九条 調書ニ付テ其謬誤アルヲ訴
ハント思フ人ハ呼出狀ニ定マリタル裁判ノ
當日ノ其以前ニ付テ以テ自分又ハ證書記
者「ノルテノ証書ヲ以テ委任シタル名代人ヨリ
裁判所ノ登記局ニ出ス可シ

其訴書ハ裁判所ノ書記官之ヲ受取リ而テ
其本人又名代人ハ其姓名華押ヲ画ス可シ若シ
之ヲ画スル能ハサル者アル時ハ必ス其故ヲ
記載ス可シ

定リタル裁判ノ當日ニ裁判官ハ訴書ヲ受
取リシ其證書ヲ記ス可シ而テ三日以上八日以
下ノ時間ヲ定テ其本人ハ其謬誤アルノ證據
及ヒ出ス可キ証人ノ職業及ヒ住所ヲ登記局
ニ届ク可シ

其時間ノ經過ニタル片ハ再ヒ別段ニ其呼出
ヲ為スニ及ハス調書ノ謬誤ヲ訴フル其證據
ノ果シテ誤調書ヲ打消スニ足ル可キ者ナル

ニ於テハ裁判官ハ乃チ其證據ヲ採受シ而テ
其謬誤アリシ事ハ法律ニ從テ之ヲ處分ス可
シ若シ之ニ反シタル時又ハ其人此条ノ定規ニ
從ハサル時ハ裁判官ハ其謬誤ヲ許フルノ
證據ヲ受テ可カラスシテ而テ再ヒ其原訴
訟ノ裁判ヲ為スノ言渡ヲ為ス可シ

第百八十条 裁判所ハ出席ヲ為サズシテ裁判
ノ言渡ヲ受ケシ者ハ治罪法第百八十七条ニ
記シタル時間ニ其調書ノ謬誤ナルヲ許フ
ルヲ得可シ

第百八十一条 其調書ハ他教人ハ關係シタル
者ニテ其内ノ一二人ヨリ其調書ノ謬誤ナル
ヲノ許ヲ為シ而テ其許フルノ總テノ人員
ニ關係セサル時ハ其調書ハ其許ハサル者ハ
對シテハ十分ナル證據ト為ル可シ

第百八十二条 森林法ニ關係スル犯罪及ヒ違
規ノ訴訟ニ付テ被告人若シ真ニ其所有ノ權
或ハ其他ノ權アルヲ答辨スルニ於テハ裁
判官ハ左ノ定規ニ從テ其裁判ヲ為ス可シ
其被告人ノ申述スル事ノ正シキ証書ヲ持シ

或ハ証書ヲ持セル者ト同様ナル所有ノ権アル
事ヲ主張シ且ツ其權ハ真ニ自己ニ屬シタ
ル者ニテ明細ニ其證據ヲ立テ而テ其出ス所
ノ證書及ヒ其所有ノ權ヲ裁判所ニ於テ真
正ノ者ト確定シテ其犯罪及ヒ違規ノ訴訟ヲ
全ク打消スニ足ル可キ時ノミ裁判官ハ其申
述ヲ許諾ス可シ

右ノ訴訟若シ民法ノ裁判ニ引移サル、時ハ
其言渡書ニ長カラサル時尙ヲ定メ與フ可シ
而テ其時尙ニ控訴者ハ其趣旨ヲ關係ノ裁判

官ハ申述シテ其證據ヲ立ツ可シ如シ其時尙
ニ其事ヲ急ル片ハ再ヒ刑法ノ裁判ニ返ル可シ
而テ其裁判入牢ノ罰ヲ言渡ス可キニ定リ
タル片ハ暫ク其事ヲ停メ置キ其罰金又品
物ノ辨償金及ヒ償金ハ之ヲ預金官署、拂
ハシメ而テ後再ヒ其控訴ノ事ニ付テノ民法
ノ裁判ヲ為ス可シ而テ其入牢ノ事及ヒ預金
官署、拂ヒシ諸金ハ其裁判所ノ差圖ニ從テ
之ヲ處分ス可シ

第百八十三條 森林官吏ハ其官署ノ名ヲ以テ

他ノ裁判所及ヒ上等覆審裁判所へ控訴スルヲ
得可シ而テ其官吏ハ其官署ノ別段ノ允許ヲ
得スニテ其訴訟ヲ止ムルコトヲ得ス

第百八十四条 森林官吏ノ有スル控訴ヲ為ス
ノ權ト檢査ノ權トハ互ニ関涉ヤスニテ各特
立ニシタル者ナリ故ニ森林官署及ヒ官吏ハ
既ニ裁判ノ決定ヲ受ケタリトモ其檢事ハ猶
ホ獨リ其權ヲ行ノ事ヲ得可シ

第百八十五条 森林法ニ関涉スル犯罪及ヒ違
規ノ訴訟ニ付テ被告人ノ名ヲ調査ニ記載シ
アル時其事其調書ヲ認メシ日ヨリ已ニ三ヶ
月ヲ経タル者ナルモ其訴訟ハ消盡ス可シ
ト雖モ被告人ノ名ヲ調査ニ記載セサル時ハ
滿六ヶ月ノ後ニ至リテ消盡ス可シ

然レモ買主及ヒ其伐木ノ事ニ関係シタル請
負人ニ向テハ第四十五条第四十七条第五十
条第五十一条第八十二条ノ定規ヲ適用ス可
シ

第百八十六条 前条ノ定規ハ森林官吏及ヒ番
人ノ其職務ヲ行フ際ニ自ラ為シタル犯罪及

此違規ノ事ニ適用ス可カラス此等ノ官吏及
ヒ其黨類ニ付テノ其時恂ハ治罪法ニ定リシ
時間ニ同キモノトス 治罪法第六百三十八
条第六百四十条見合
第百八十七條 犯罪及ヒ違規ニ付テノ訴訟及
ヒ裁判所一人ヲ呼出ス又裁判所ヨリ言
渡ス各様ノ時恂又裁判所ノ呼出シニ出席
セサル者或ハ各種ノ訴訟ニ付テ控訴ヲ為ス
者或ハ裁判ノ言渡或ハ他ノ裁判所及ヒ上等
覆審裁判所一控訴スル等ノ事ニ付テ治罪法ノ各種
ノ各規ハ此篇ニ記スル所ノ變化ヲ取除ケテ

此法ニ記スル各種ノ犯罪及ヒ違規ノ取捌方
ニ適用ス可シ

第二章 森林法ヲ以テ管理セサル森林
ニ於テノ犯罪及ヒ違規ニ付テ
ノ訴訟

第百八十八條 森林法ヲ以テ管理セサル森林
ニ於テノ犯罪及ヒ違規ノ事ハ人民自ラ置ク
所ノ其森林番人及ヒ田舎邏卒騎馬巡查又
田舎ニ於テノ犯罪者ヲ探索ニ且ツ其證ヲ立ツ
ル為ニ專任セラレタル巡查ヨリ探索ニ且ツ

其証ヲ立ツ可シ

而テ其調昏ハ其反對ノ據證ノ生スル間必ス真正ノ証ト為ル可シ

其調昏ハ總テ官ノ簿冊ニ登記ス可シトモ人民自ラ置ク所ノ其森林番人ノ除キテ其他ハ暫ク其税ヲ出スニ及ハス

第百八十九条 第百六十一条 第百六十二条 第百六十三条 第百六十七条 第百六十八条 第百六十九条 第百七十条 第一項 第百八十二条 第百八十五条 第百八十七条ニ記シタル各種

ノ定規ハ森林法ヲ以テ管理セサル森林ニ於テノ犯罪及ヒ違規ニ付テノ訴訟ニ適用ス可シ

然レ氏第百六十九条ニ記シタル場合ニ於テ取押ヘタル動物ヲ賣却セシキハ其諸雜費ヲ引キタル其殘金ハ預金官署ハ預ク可シ

第百六十五条ノ各種ノ定規ハ人民自ラ置ク所ノ其森林番人ノ作ル可キ調昏ノ事ニ適用ス可シ

第百九十条 人民私有ノ森林ニ於テノ犯罪及

シ
ト違規ノ事ヲ相當ノ裁判所ニ於テ裁判スル
事ニ付テハ乃チ治罪法各種ノ定規ヲ用ユ可
シ

第百九十一条 人民自ラ置ク所ノ其森林番人
ノ調書ハ確保ノ誓ヲ為シタル日ヨリ一ヶ月
間ニ各其関係ニ依テ上等覆審裁判所ノ檢事及
ニ最下等裁判官ヘ遣ス可シ

第十二篇 諸森林ニ付テノ罰規

第百九十二条 ニ「凡我六寸
五合強」テシメトル 周圍ノ
樹木及ヒ其以上ノモノヲ伐リ或ハ之ヲ採取

取セシトニ付テハ其樹木ノ種類及ヒ其大小
ノ差違ニ從テ左ニ定ル所ノ罰金ヲ命ス可シ
樹木ハ其品級ヲ二等ニ分ツ

其第一級ハ 櫟 山毛榉 ンヤアーラム

榆 秦皮トキリ 楓 アラタス楓ノ 松 サアー

ベシ松ノ 一種 落葉松カハラ 栗 胡桃クル リジエ

ソオルヒエ ユオルミエ 山櫻山野ニ自然
生ノ者ヲ云

其他葉實アル樹木類

其第二級ハ 赤楊カハキ 菩提樹 樺 白楊コハキ

ペウプリエ白楊ノ 柳 且ツ第一級ニ入

ラサル總テノ樹木類

第一級ノ樹木ノニテシメートル毎ニ一「フラシク
ノ罰金ハ其二「テシメートル毎ニ一「フラシク
タル可ク而テ其二「テシメートル毎ニ一「フラシク
ル氏ハ其一「テシメートル毎ニ一「フラシク
ニ我宛ヲ加フ可シ

第二級ノ樹木ノニ「テシメートル毎ニ一「フラシク
ノ罰金ハ其二「テシメートル毎ニ一「フラシク
ムナル可ク而テ其二「テシメートル毎ニ一「フラシク
ル氏ハ其一「テシメートル毎ニ一「フラシク

ヲ加フ可シ

總テ上ニ説ク所ノ事ハ此法ニ添ヘタル所ノ表
ニ從フ可シ表ハ畧シテ譯セス而テ樹木ノ周圍ハ其拔
地一「メートルノ所ヲ測ル可シ

其罰金ノ十五「フラシクヨリ以上ニ至ラサル氏
ハ罰金ノ外五日ヨリ長カラサル入牢ノ罰ヲ
命スル「フヲ得可シ若シ其罰金十五「フラシ
クヨリ以上ナル時ハ二ヶ月ヨリ長カラサル入
牢ノ罰ヲ命スル「フヲ得可シ

第百九十三條 第百十三條ニ記スル所ノ定規

ヲ適用ス可キ樹木ニテ既ニ運ヒ出シ或ハ其
樹形ヲ變改シタル片ハ其周圍ハ其切株ヲ以
テ之ヲ測ル可シ若シ其切株ノ有ラサル片ハ
其變改セシ村木ヲ方面ノ尺ニ其五分ノ一ヲ
加ヘテ之ヲ測ル可シ

若シ其切株ト材木ト併テ無キ時ニ於テハ其
罰金ノ高ハ其訴訟ニ関シタル各類ニ依リ裁
判所ニ於テ量定スル所ヲ以テ之ヲ算計ス可
シ

第百九十四条 ニテシメマートル周圍以下ノ樹木

木ヲ伐リ或ハ之ヲ採取セシトニ付テノ罰金
ハ其運送車ニ附属セル動物ノ毎一頭十フラン
ニシテ其直ニ負載スル所ノ動物ニ付テハ每一
頭五フランクタル可シ若シ人ヲ以テ搬運ス
ル時ハ每一人或ハ其樹木ノ一束毎ニニフラン
クテノ罰金ヲ命ス可シ

且ツ罰金ノ外五日ヨリ長カラサル入牢ノ罰
ヲ命スルヲ得可シ

其樹木若シ五ヶ年以内ニ種ヲ播シ或ハ植付
ケシモノナル時ハ其罰金ハ其樹木ノ大小ニ論

ナク每一木ニ三フランクヲ命シ且ツ一ヶ月以下入牢ノ罰ヲ命ス可シ

第百九十五条 森林中ニアル苗床ノ樹木ノ根取ル人ハ十フランク以上三百フランク以下ノ罰金ヲ命シ或ハ且ツ五日ヨリ長カラサル入牢ノ罰ヲ命スルヲ得可シ

若シ其罪ノ別段丁寧ニ作リタル苗床ニ係リタル時ハ罰金ノ外十五日以上一ヶ月以下入牢ノ罰ヲ命ス可シ

第百九十六条 森林ニ於テ樺樹ノ梢ヲ伐リ或ハ樹皮ヲ剥キ及ヒ緊要ノ枝ヲ伐リ其他樹木ノ其用ヲ為サル程ノ折傷ヲ為ス者ハ其樹木ヲ伐リ倒シタルト同様ノ罰ヲ受ク可シ

第百九十七条 森林ノ倒レ木及ヒ法ヲ犯シテ伐リタル樹木ヲ自僣ニ搬ヒ去ル者ハ森林ノ植木ヲ伐リ倒シタルト同様ノ罰金及ヒ其償ヲ命ス可シ

第百九十八条 森林中ヨリ樹木及ヒ産物ノ法ヲ犯シテ採取スル者ハ罰金ノ外其償ヲ命シ且ツ或ハ其カ為ニ生シタル損害ノ償ヲ為サ

シム可シ而テ鋸及ヒ大小斧、鎌且ツ其黨与ノ
者ノ所持セル同種類ノ器具ハ之ヲ取上ル可
シ

第百九十九条 十年以上ノ星霜ヲ歴シ森林ニ
於テ晝間ニ法ニ背キタル事ヲ見頭サレタル
動物ノ其主ハ左ニ記スル所ハ罰金ヲ命ス可
シ
豚毎一頭一コフランク 羊類毎一頭二コフランク
馬類毎一頭コフランク 山羊毎一頭四コフラン
ク 牛犢毎一頭五コフランク

若シ其森林十年ノ星霜ヲ歴サレ者ナルニ於
テハ其倍数ノ罰金ヲ命シ且ツ或ハ其力為ニ
生シタル損害ノ償ヲ為サシム可シ

第二百条 人若シ他森林所有主用ユル所ノ鋸
印ヲ贋造シ及ヒ之ヲ用ユルキハ三ヶ月以上
二ヶ年以下入牢ノ罰ヲ命シ又地所有主ノ真
ノ鋸印ヲ密ニ取用ヒテ其人ノ損害ヲ為シタ
ル時ハ亦同様ノ罰ヲ受ク可シ

第二百一条 再犯ノ罪人ハ必ス其本規ノ倍数
ノ罰ヲ命ス可シ再犯トハ一タヒ森林法ヲ犯

シテヨリ十二ヶ月間ニ再ヒ裁判ノ言渡ヲ受
ケタル者ヲ云フナリ

其罪若シ夜伺ニ之ヲ犯シ或ハ鋸ヲ用ヒテ樹
木ヲ伐採シタルニ於テハ亦同様ノ罰ヲ命ス
可シ

第二百二条 損害ノ償ヲ為ス可キヲ言渡ス
場合ニ於テ其金數ハ該犯者出ス可キ罰金
ヨリ少ナカル可カラス

第二百三条 各裁判所ハ刑法第四百六十三條
ニ記スル所ヲ以テ此森林法ニ定メタル諸件

ニ適用ス可カラス

第二百四條 返却物及ヒ償金ハ其各主一付シ
罰金及ヒ諸取上ケ物ハ必ス官有ト為ル可シ
第二百五條 森林ノ競賣ノ事ニ付キ若シ詐偽
計策等ヲ為シタル故ヲ以テ其事ヲ廢スルハ
ハ其買主ハ其言渡サレタル罰金亦損害ノ償
金ノ外既ニ伐リタル樹木ヲ返却シ或ハ其代
價ヲ出ス可シ其代價ハ其競賣ノ取極ノ價
ニ依テ其負數ヲ定ム可シ

第二百六條 父母及ヒ夫且ツ後見人又諸ノ主

人タル者及ヒ戸主ハ其妻子及ヒ未タ婚姻ヲ
為サスレテ其家ニ在ル如者又人ニ負托シタ
ル幼者諸細工人諸御者又諸附屬者ノ犯罪
及ヒ違規ノ責ニ付テハ民法ニ関涉スル丈ノ引
受ヲ為ス可シト雖モ亦其犯罪違規ノ者ハ對
シテ訴訟ヲ為スノ權アル可シ

此引受ヲ為スルハ民法ノ第一千三百八十四
条ノ第五項ニ從テ而テ其引受ハ返却物及
ヒ損害ノ償ヒ且ツ裁判ノ費用ニ及ク可シ然レモ
第四百十六條ニ記シタル場合ニ非レハ其返却

物等ノ責ニ為メニ入牢ノ責ニ任ス可カラ
ス

第二百七條 森林官署ノ上下ノ官吏ハ向ヒ此
法ニ定メタル各種ノ罰ハ該官吏ノ狡猾詐謀
或ハ權外ノ事ノ為ニ本罪ノ外ニ受ク可キ訴
訟及ヒ其罰トハ別様ナル者ト為ス可シ
刑法第百七十九條及ヒ第百八十條ニ後ヒテ
諸官吏及ヒ諸森林官吏ハ對シ賄賂ヲ為ス事
ノ企ニ付テ生シタル訴訟モ亦別様ノ者ト為ス
可シ

第二百八条 森林法ニ別段定メ無キ諸ノ場合ニ於テハ刑法ノ諸定規ヲ適用ス可シ

第十三篇 裁判ノ執リ行ヒノ事

第一章 森林法ヲ以テ管理スル森林ニ於テノ犯罪及違規ノ事ノ裁判ノ執行ヒ

第二百九条 森林官署ノ訴ニ依テ為シタル裁判言渡書又ハ檢事ノ訴ニ依テ為シタル裁判言渡書ハ其訴訟ニ関係シタル者ノ姓名及ヒ裁判言渡ノ其趣旨ノ抄書ヲ以テ其本人、告知ス可シ

裁判所ハ出席ヲ為サ、ル時ノ裁判ノ言渡ニ付テノ故障ヲ申述シ及ヒ控訴ヲ為ス事ノ定マリニ時間ハ其本人、告知セシ其日ヨリ始マル可シ

第二百十条 森林ニ付テノ種々ノ罰金ヲ取立ル事ハ收税官吏ハ任セラレシ者ナリ

此收税官吏ハ森林法ヲ以テ管理スル森林ニ於テノ犯罪及ヒ違規ノ事ノ為ニ裁判言渡ヲ為シタルヨリシテ生スル返却物及ヒ諸費用且ツ償金ヲ取立ルヲ任セラレシ者ナリ

若シ金力ナキ犯罪者ナル片ハ森林官署
ノ允許ヲ得テ其出ス可キ償金及ヒ諸費用ヲ
森林或ハ村邑ノ道路ニ於テカ役ヲ以テ之ヲ償
フ事ヲ得可シ

州ノ代議員ハ其州内各邑ノ其カ役ヲ受ク可
キト否トニ依テ其カ役ノ賃銀ヲ拂フ可キヲ
定ム可シ
該犯者ノ為ス可キカ役ヲ森林官署ヨリ定メ
タル時間ニ為サ、ル時ハ最初ノ裁判言渡ニ
從ヒテ乃チ之ヲ賣斷ス可シ

此条ニ定リタルカ役ノ事ニ付テ其カ役ヲ受
ク可キノ権ヲ有スル者ハ此カ役人ヲ分配ス
可キ事ハ州府ノ規則昏ヲ以テ之ヲ定ム可シ
第二百十一条 罰金及ヒ返却物償金且ツ諸費
用ヲ生ス可キ裁判言渡ハ入牢ノ責ヲ以テ之ヲ
處置ス可シ然レモ該犯者ハ裁判ノ事ヲ告
知セシ日ヨリ五日ヲ過テ後之ヲ行フ事ヲ得
可シ

上ニ云フ所ノ諸事ノ為ニ收税官吏ノ乞願ス
ルニ於テハ檢事ハ裁判ノ事ニ關係スル巡查

ニ其捕牒ヲ渡ス可シ

第二百十二条 罰金及ヒ其他ノ金ヲ納メサル
故ヲ以テ入牢ノ責ヲ言渡サレタル者ハ其金
ヲ納ムル迄或ハ其收税官吏ノ承諾スル保承
人ヲ立ル迄ノ間入牢ノ責ヲ受ケ又或ハ收税
官吏其保承人ヲ承諾セサル氏下等
其保承人ヲ承諾スル迄ノ間入牢ノ責ヲ受ク
可シ

第二百十三条 然氏該犯者治罪法ノ第四百二
十条ニ定コリタル仕方ヲ以テ其金力ナキ
ヲ證スル片又ハ罰金及ヒ其他ノ金數ノ十五
フランクヨリ以上ニ至ラサル中ハ入牢ノ責
ヲ受ル十五日ニシテ之ヲ放免ス可シ而テ其
金數五十フランク以下十五フランク以上ナ
ル時ハ入牢一ヶ月ニシテ之ヲ放免ス可シ又
其金數五十フランク以上幾許ナリト雖モ次
シテ二ヶ月ヨリ以上ノ入牢ニ處ス可カラズ
又再犯者ヲ入牢セシムル時ハ總テ其一倍
ヲ加フ可シ

第二百十四条 何レノ場合ニ於テモ犯罪ニ係

リタル金ヲ納メサルカ故ノ入牢ハ其他ニ法ニ於テ定コリタル入牢ト殊別ナル者トス

第二章

森林法ヲ以テ管理スル森林ニ於テノ犯罪及違規ノ事裁判ノ執

行ヒ

第二百十五條

人民私有ノ森林ニ於テ為シタル犯罪ニ付キ其人民ノ利益ト為ル可キ裁判ノ言渡ハ人民ノ歎願ニ依リ森林官署ノ訴ヨリシテ為シタル裁判言渡ト同シキ仕方ヲ以テ其本人ハ告知シ及ヒ同シキ責_{入牢ヲ以テ}

執リ行フ可シ且ツ其裁判言渡昏ニ定リタル罰金ハ收税官吏之ヲ取立ツ可シ

若シ金カ無キ該犯者ハ第二百十條ノ第三項ニ定リタル如クスルヲ得可シト虽モ罰金及ヒ官ヨリ出シタル費用ノ事而已ニ用ユ可シ

此場合ニ於テ其力役ハ其罪ノ生シタル村邑ノ道路而已ニ費ス可シ

第二百十六條

該犯者ヲ森林所有主ノ願ニ依テ入牢セシメ又其所有主ノ利益ト為ル可キ

為ニ入牢セシメタル時其所有主ハ訴訟法ノ
第七百八十九条ニ定マリタル養料ヲ具フ可
シ

第二百七十条 談犯者ノ保承人ノ相當ナル
又談犯者ノ金力ナキ事ニ付テ森林所有主ヨ
リ故障ヲ述フル時ハ雙方立合ノ上裁判官之
力裁決ヲ為ス迄ノ間ハ其有主ノ為ニ入牢セラ
レタルモノヲ第二百十二条第二百十三条
ニ從ヒテ放免ス可カラス

第十四篇 總規

第二百八条 森林ニ付テノ国法定規命令布
告定書国議院ノ決議書且ツ其レ等ノ類ノ何レ
ノ年時ノ者ナルヲ論セス此森林法ニ定ムル所
ノ各支ノ旧視ハ以後全ク之ヲ廢止ス可シ
然レ氏此法ヲ設ケタルヨリ以前ニ得タル所ノ
種々ノ権力ノ事ニ付テ若シ訴訟アルキハ
其旧規ニ依テ之ヲ裁判ス可シ

第十五篇 人民其私有ノ森林ヲ開墾スル
事

第二百九条 森林所有主ハ遅クモ四ヶ月前

ニ郡長、陳述ヲ為サスシテ其樹木ヲ伐除シ
及ヒ掘墾ヲ為ス可カラス而テ其四ヶ月ノ時間
ニ森林官署ハ其事ニ付テノ故障ヲ其所有
主ニ告知スルノ權アリ又森林所有主ハ其陳
述層ニ記載シテ森林所在ノ地、其居所ヲ定
ム可シ

森林官署ヨリ故障ノ事ヲ其所有主ニ告知
スル前其所有主ニ下ニ記スル設森林ノ場所
且ツ其形状ヲ檢査為スヘキヲ告知シテ後
速クモ八日以後ニ森林監察官及ヒ下等森

林監察官且ツ森林番長ハ其掘墾ス可キ森林
ノ其在ノ場所且ツ其森林ノ形状ヲ檢査シ而テ委
細ニ其調層ヲ作ル可シ而テ其所有主ノ意見
ヲ記述セシムル為ニ其調層ノ寫ニテ送ル可
シ

森林官署ヨリ故障アル時州長ハ州ノ議員ト
共ニ故障ノ其當否ノ高議ヲ為ス可シ

其高議、寫ハ諸州内ニ在ル森林官署ノ官吏
且ツ其森林所有主ニ送ル可シ而テ又之ヲ大
藏卿ニ呈シ而テ大藏卿ハ國議院ノ設省関係

ノ課ノ尋問セシ上ニテ之ヲ裁決ス可シ
森林官署ノ故障ヲ告知セシ日ヨリ六ヶ月間
大藏卿ノ裁決ノ知セ無キ時ハ森林所有主ハ
其森林ヲ開墾スル事ヲ得可シ

第二百二十条 左ニ記スル各事ノ為ニ其森林
ヲ保守ス可キノ必要ナル時ハ森林官吏ハ
其森林ヲ開墾スルニ付テ故障ヲ陳述スル
ヲ得可シ

其一 山及ヒ山阪ノ土ヲ保固スル事

其二 大小河川ノ浸陥ヲ保固スル事

其三 泉水及溪流ノ為ノ事

其四 海水ノ浸陥及ヒ海岸ノ飛沙ヲ保固
スル事

其五 國境近傍ノ土地ヲ防護スル事

其六 人民ノ健康ヲ保護スル事

第二百二十一条 第二百十九条ニ違背スル森林
所有主ハ其開墾シタル地ノ一ヘクタールニ
付キ五百フラレク以上千五百フラレク以
下ノ罰金ヲ命セラレ且ツ大藏卿ノ命ニ依テ
遅ク氏三年ノ間ニ其開墾シタル土地へ更ニ

樹木ヲ植付ク可シ

第二百二十二條 森林所有主大藏卿ノ裁決ヲ以テ言付ラレシ時間ニ更ニ樹木ヲ植付或ハ種ヲ播スルヲ為サ、ルハ森林官署ハ州長ノ許可ヲ取り其所有主ノ費用ヲ以テ樹木ヲ植付或ハ種ヲ播スルヲ為ス可シ而テ州長ハ其仕事ノ勘定書ヲ了兼シ其所有主ヨリ必ス其費用ヲ取立ツ可シ

第二百二十三條 上四ヶ條ノ各規ハ自儘ニ開墾シタル森林ノ旧ニ復ヤシムル為ニ大藏卿

ノ命ニ依テ播種シ又擇樹ヲ植付タル所ノ地ヲ再度自儘ニ開墾シタル時ニモ亦適用スル可シ

第二百二十四條 第二百十九條ノ各種ノ定メニ取除ク可キ者左ノ如シ

其一 前條ニ記スル如キ大藏卿ノ命令ニ關係ナクシテ其播種又ハ樹苗ヲ植付ケシ日ヨリ未タ二十ヶ年ニ滿タサル森林

其二 繞圍アル遊園及ヒ園庭又ハ人ノ住

居所へ付属スル遊園及ヒ園庭

其三十「ヘクタール以下ノ面積ニシテ繞

圍ヲ為サル森林然レモ其森林他ノ

森林ニ接附シテ合テ十「ヘクタールニ至

リ又ハ其森林ノ山峰及ヒ山脚ニ在ル者

ハ第二百十九条ノ定規ニ從フ可シ

第二百二十五条 第二百十九条ニ違背シテ開

墾シタル「ニ付テノ訴訟ハ其開墾セシ日ヨ

リ二年ヲ過キシ後ハ「アレスタリアシヨシ

ノ時恂ノ經過スルニ因リ物件ノ所有ヲ得

又ハ義務ヲ免ル、推ヲ云フニ因テ自ラ消尽ス可シ

第二百二十六条 山峰山脚及ヒ海邊且ツ「

トノ沙地ニ在ル森林ハ三十年恂全ク無税

タル可シ

佛国森林法 大尾

同表首

同表首

千八百二十七年八月一日布告

森林法ヲ施行スルニ付テノ規則

森林法ヲ施行スルニ付テノ規則千八百二十七年八月一日布告

米人ダヘルベツキ氏講授

河内信朝
光增重健 筆記

第一篇 森林官署ノ事

第一條 法律ニ於テ森林官署ハ與ル所ノ各種ノ権ハ大藏卿ハ付属シテ森林統理員ヨリ行ハル可シ而シテ其統理員ノ組立ハ左ノ如シ

第一章 森林統理員ノ事

第二條 森林統理員ハ司長一人統理官三人

司長

テ成立ツ者トス而テ該官員ハ大藏卿ノ申立
ニ依テ皇帝ノ之ヲ命スル者ナリ

第三條 森林統理司長不在ノキハ大藏卿ニ
人ノ統理官ヨリ其代理ヲ為サシム可キ者一
人ヲ撰定ス可シ

第四條 森林統理司長ハ大藏卿ノ命令ヲ承ケ
テ森林ニ関セル諸事ヲ指揮及ヒ監察ス可シ
司長ハ政府諸局ト信書ノ往復ヲ為スヲ得ヘシ
司長ハ其官署ニ関セル信卷ヲ受ケ且拘封ス
ルノ權アル可シ

司長ハ森林ニ付テノ諸命令卷ヲ出シ且之ニ
畫印ヲ為ス可シ

司長ハ大藏卿ト共ニ諸事ヲ処分ス可シ而テ
其指揮ニ依テ生シタル諸事ヲ大藏卿ニ上申
ス可シ

第五條 大藏卿ハ森林ノ事務ニ付テ三人ノ統
理官ノ各々ニ任ス可キ分部ヲ定ム可シ
三人ノ統理官ハ大藏卿ノ許可ヲ得各洲ニ於
テ暫時ノ間諸官吏ヲ派出セシムルヲ命ス

ルヲ得可シ

第六條 統理官ハ司長ノ上席ヲ以テ評議集會ヲ為スヘシ司長若シ故障アルハ其上席ノ權ヲ三人中ノ其一人ニ借ス可シ

第七條 司長統理官ト事ヲ評議シタル後大藏卿ノ裁決ニ委ヌ可キ事件左ノ如シ

- 其一 森林官署ノ年分ノ費用ノ豫算昏
- 其二 上等ノ森林官吏ヲ命免スル事
- 其三 上等下等ノ森林監察官ヲ免職シ及ヒ他ノ犯罪ヲ検査セシムル事

其四 森林官吏ノ隱居料ヲ定メ及ヒ隱居料ヲ遣ス事

其五 森林各署ノ受持場ノ境界ヲ變更スル事

其六 新ニ森林ヲ作り及ヒ森林ヲ分割シ又森林ヲ他ト交換シ或ハ森林使用ノ權ヲ買取ル等ノ企ノ事

其七 常例外ニ森林ノ樹木ヲ伐ル事

其八 全国内常例ニテ伐ルヘキ樹木ノ年分ノ目錄

其九 常例ニテ伐ル可キ樹木ノ競賣ニ付
テノ其規則昏

其十 賣リタル樹木ノ量數ノ不足アルニ
付キ其金數ヲ割戻ス事

其十一 罰金ヲ免シ或ハ之ヲ減スル事

其十二 森林ニ於テ金屬又ハ其他ノ物質
ヲ採取スル事

其十三 森林ノ近傍ニ建築スル事

其十四 国議院ニ控訴スル事

其十五 五百フラン以上ノ入費ヲ要ス

可キ事ノ預筭昏

其十六 森林ヲ開墾スルニ付テ故障ヲ
述フル事

其十七 諸規則及ヒ森林法ヲ施行スルニ
付テ分明ナラサル事件

第八條 第七條ニ記載セサル諸事ハ司長ニテ
之ヲ載定ス可シ然レ氏其事ニ関係アル人ハ
之ヲ大藏卿ニ控訴スルヲ得可シ而テ司長
ハ下等監察吏ヨリ以下ノ者ノ免職又ハ他ノ
犯罪ヲ検査セシムル事及ヒ總テノ訴訟或ハ

五百ララレク以下ノ費用ヲ起スヘキ一ニ付
テハ総テ評議員ノ意見ヲ尋問ス可シ

第九條 諸測量掛ノ其首吏一人ヲ森林官署ノ
付屬セシム可シ而シテ其者ハ之レヲ大藏卿
ヨリ命ス可シ

第二章 各州ニアル森林官署ノ事

第十條 佛朗西全国ノ領地ヲ森林ノコレセル

ウアリシヨシ森林ヲ保護スル為ニニ分ツ一ハ

此規則ニ添タル所ノ表ニ從ヒテ之ヲ定ム可

シ表ハ畧シ
テ記セス

又コンセルウアリシヨシハ「インスペクシヨシ」

ノ區分及ヒ「ス、ー、イ、レ、ス、ペ、ク、シ、ヨ、シ」區分ニ分
シノ名

テ而テ大藏卿ハ其區數且其境界ヲ定ム可シ

又統理官ハ森林番長測量吏騎馬番人及ヒ

通常番人ノ員數及ヒ其住所又其等ノ管スヘキ

州及ヒ其州内各自ノ請持場ヲ定ム可シ

第十一條 統理員ノ命令ヲ承可キ者ハ乃チ左

ノ如シ

其一 森林保護官 森林監察官 且下等森林

監察官及ヒ森林番長

其二 測量吏

其三 騎馬番人及ヒ通常番人

第十二條 森林保護官ハ大藏卿ノ申立ニ依テ
皇帝ヨリ之ヲ命ス可シ

森林監察官及ヒ下等森林監察官ハ司長ノ申
立ニ依テ大藏卿ヨリ之ヲ命シ而テ諸其他ノ
官吏ハ司長ヨリ之ヲ命ス可シ森林番長以上
ノ官吏ヲ命スルハ必ス順ニ其次ノ者ヲ命ス可
シ而テ順次其等ノ進ムル者ハ少クハ二年間
其職ヲ務メタル者ナル可シ

第十三條 第四十條以下ニ記スル森林学校ノ
規則ヲ踏マサリシ者又少クハ二年間騎馬番
人ノ務ヲ為サ、ル者ハ森林番長トナルヲ
得ス

第一節 上等森林官吏ノ事

第十四條 第十一條ノ第一項ニ記スル各官吏
ハ其官等ニ從ヒテ森林法及ヒ此規則ニ定マ
リタル各種ノ事務且検査巡回ヲ為シ且其付
屬セル諸吏番人等ノ事ヲ視察シ又上官ヨリ
受クル所ノ命令及ヒ規則ヲ其付屬セル諸吏

及ヒ番人等へ告知ス可シ又上等ノ諸官吏ハ
其命令ヲ授ク可キ下吏ノ暫時故障アル片ハ
其代人ヲ命スルヲ得ルト虽氏其時ハ遅延
ナク直ニ上官へ其事ヲ申述ス可シ

第十五條 森林保護官ハ統理員及ヒ州ノ上等
官吏ト直ニ通信往復ヲ為スヲ得可シ

其他ハ其被管ノ長官ト信唇ノ往復及ヒ其自
分ノ職務ニ付テ上申ヲ為ス事ヲ得可シ

第十六條 上等森林官吏ハ計筭簿及ヒ他簿
冊ヲ所持ス可シ而シテ統理員ハ其簿冊ノ數

及ヒ其事類ニ依テノ簿冊ノ區分ヲ定ム可シ
上官ヨリ受ル所ノ命令布告及ヒ其奉務ノ事
柄或ハ其調唇又其受取ル處ノ陳述唇等ハ其
日時ノ順次ヲ逐テ其簿冊へ記載ス可シ
上等森林官吏ハ其住所ノ州長及ヒ郡長へ其
簿冊ノ番号且其華押ヲ畫記セシメ而シテ諸
ノ事柄ヲ簿冊ニ記載スル片ニ亦自分ノ華押ヲ
畫シ而テ其調唇及ヒ他ノ唇付ノ端ニ其簿冊
ノ幾葉ニ記シタルヲ誌シ置ク可シ

其他ニ森林監察官及ヒ下等森林監察官及

此森林番長ハ上官ヨリ受取ル所ノ命令昏且
森林番人ヨリ受取リタル調昏又其調昏ヨリ生
シタル訴訟ノ結局及ヒ訴訟ニ付テノ裁判言
渡ノ月日ヲ簡畧ニ記載ス可キ為メニ別段ニ
簿冊ヲ所持ス可シ

第十七條 上等森林官吏ハ其務務ニ係リテ預リ
タル証書地圖且其他ノ昏類ニ付テ其責ヲ引
受ク可シ若シ官吏ノ代ル^ルアル片ハ其証昏
地圖且其他ノ昏類及ヒ簿冊又計筭簿等ノ
目錄ニ葉ヲ作り而シテ其目錄ヲ以テ是迄ノ
引受ヲ為セ^ルト^テ取消シ而テ其後任者ノ
引受ト為ル可シ

第十八條 上等森林官吏ノ官服ハ左ノ如クナ
ル可シ

各上等森林官吏ノ上衣^ハ及ヒ股引^ハパンタ
綠色ノ羅沙ニシテ上衣ハ胸ヨリ以下総牡丹
直ク襟ニシ中着^ハ黄色牡丹ハ銀ニテ其輪
ニ橙ノ葉ヲ彫シ其真中ニ森林統理員ノ文字
及ヒ百合花ヲ表シ帽子ハ銀ノ緒及ヒ上衣ニ
着ケタルト一樣ノ牡丹ノアル佛朗西帽子ニ

テ而シテ珮劔ヲ為ス可シ

縫飾ハ銀糸ニテ攄ノ葉ヲ摸ス可シ

森林保護官ハ襟及ヒ袖縁且上衣ノ下端ニ縫飾ヲ為シ而シテ上衣及中着ハ襟ニ銀糸ニテ縁ヲトル可シ

上等森林監察官ハ襟及ヒ袖縁ニ銀糸ニテ縫飾ヲ為ス可シ

下等監察官ハ襟ニ縫飾ヲ為シ且銀糸ニテ袖口ヲ縫ヒ廻ス可シ

森林番長ハ十サレチメートル凡我三寸ノ攄三分弱

ノ枝ヲ襟ノ左右ノ縁ニ縫フ可シ

第二節 測量官吏ノ事

第十九條 森林統理司長ヨリ命ヌ可キ測量吏ハ其被管ノ官吏ノ命ヲ承テ常例及ヒ臨時ニ樹木ヲ伐ル_一及ヒ森林ノ境界ヲ定メ森林ヲ培植シ森林ヲ分割シ森林ヲ交換シ又森林使用ノ權ヲ土地ニ代ユル等ノ事ニ付テノ測量ヲ為ス可シ

第二十條 樹木ヲ伐ル可キ森林ノ測量ニ付テノ其謝金ノ數ハ大藏卿ヨリ之ヲ定ム可シ

其他前条ニ記スル所ノ仕事又測量吏ノ頼ム
可キ格別ナル仕事ノ謝金ハ測量ト森林統
理員トノ其約束ヲ以テ之ヲ定ム可シ

第二十一條 測量吏ノ官服ハ上等森林官吏ノ
モノト同形同色ナリト虽氏襟及ヒ袖口ハ黒
ノ剪絨ヲ用ヒ其縫飾ハ森林番長ノ用ユル
所ノ同様ナル可シ

第二十二條 測量吏ハ其仕事ヲ為スノ間ニ見
顕ハレタル他ノ犯罪及ヒ森林ノ境界石ヲ移
易シ又境界標ノ隠滅シ或ハ之ヲ損害シタル
事ヲ証シ而シテ其等ニ付テノ調昏ヲ被管ノ
上等森林官吏ハ渡ス可シ

測量吏ハ他時上等森林官吏ヨリ尋伺セセル
ノ片ニハ其事ニ付テノ手冊及ヒ其調昏ノ寫
又地圖及其他ノ書類ヲ見セ示ス可シ

第二十三條 該官ヲ罷メタル測量吏及ヒ其後
嗣者ハ十五日ノ時拘ニ前条ニ記スル諸書類
ヲ被管ノ官吏ハ渡ス可シ

第三節 騎馬及ヒ通常番人ノ事

第二十四條 騎馬及ヒ歩行ノ森林番人ノ其職

ハ森林法ヲ以テ管理スル森林ヲ日々見廻リ
而テ其森林ニ於テノ犯罪及ヒ違規ノ事ニ付
テノ調査ヲ作ル可シ

第二十五條 各森林番人ハ其視察ヲ命ゼラレ
タル森林或ハ其見廻リヲ為ス可キ森林ノ近
傍、住居ヲ為ス可シ而テ其住居ス可キ場所
ハ森林保護官ヨリ之ヲ差圖ス可シ

第二十六條 各森林番人ハ郡長ヨリ記号及ヒ
其華押ヲ畫記ス可キノ簿冊ヲ所持シ而シテ
其作ル所ノ調査ノ日時ノ次序ニ從テ之ヲ記
載シ置ク可シ

其記載シタル尾端ニ自ラ花押ヲ画シ而シテ
其各調査ノ端ニハ簿冊ノ幾葉ニ記シタル一
ヲ誌シ置ク可シ又其簿冊一日時ノ順序ヲ逐
ラ上官ヨリ受ケタル他ノ報知及ヒ他ノ呼
出シノ一ヲ記載シ置ク可シ

森林番人ハ其見顯ス所ノ倒レ木及ヒ法ヲ犯
シテ伐リタル樹木ノ事ヲ記載シ而シテ直チ
ニ其被管ノ官吏ニ報告ス可シ

其官ヲ代ル時ハ森林番人ハ其簿冊ヲ其後

任者、渡ス可シ

第二十七條 各森林番人ノ其申述昏ハ直ニ其被管ノ上官ニ當テ而テ其法式ニ從ヒテ作りタル調昏モ亦被管ノ上官へ渡ス可シ

第二十八條 各番人ノ一般ノ常務ノ外司長ハ步行番人ノ視察ヲ為ス可キノ權ヲ騎馬番人へ與フル事アル可シ

第二十九條 各番人ノ官服ハ上中下衣共ニ綠色ノ羅紗タル可シ又騎馬番人ノ上衣ノ襟及ヒ袖ニ森林學校ノ諸生ノ着ス可キ為メニ今

後定ム可キ縫飾ト同様ノ者ヲ用ユ可シ

各番人ハ綠色羅紗ヲ以テ縁取りタル黃色ノ珮釵緒ヲ用ユ可シ而テ其緒ノ真中ニ四銀ヲ以テ国王ノ森林ト云フ文字及ヒ百合花ヲ表ス可シ

第三十條 各番人ハ森林ノ見廻リヲ為ス時其護身ノ為メニ通常ノ小銃ヲ持ツヲ得可シ

第四節 各森林官吏ニ付テノ諸規

第三十一條 上等森林官吏及ヒ各番人ハ樹木ヲ賣買シ及ヒ重ニ樹木ヲ用ユルノ製造ヲ

為シ又旅宿及ヒ酒造ヲ為シ且酒ヲ小賣ス
ルヲ禁ス若シ之ヲ犯ス者ハ其官ヲ失フ可シ
第三十二條 鍛冶鑄造師玻璃製造家及ヒ鋸
釜ヲ用エル諸製造所又鋸木所其他樹木ヲ用
エル製造所ノ其持主或ハ其借リ主トシテ談
用ノ為メニ樹木ヲ買フ人ハ其住居セルコソ
セルウア^{注上ニ}出ツ内ニ於テ森林官吏ト
ナル事ヲ得ス

第三十三條 上等森林官吏ハ宗系ノ親及ヒ姻
屬ノ親又兄弟及ヒ姉妹ノ夫又伯姪父姪ヲ其

指揮ヲ受ク可キ下吏ト為シテ之ヲ用ユ可カ
ラス

第三十四條 上等森林官吏及ヒ各番人且測量
吏其職務ヲ務ムルノ間ハ必官服ヲ着ス可シ

第三十五條 上等官吏及ヒ番人等職務ヲ以テ
為ス^{一ニ}付テ決シテ村吏及ヒ公ノ建造物且
人民ノ謝礼物ヲ請求シ及ヒ之ヲ受ク可カラ
ス

第三十六條 植置ク可キ樹木及ヒ伐ル可キ樹
木ヲ識ルヌ為ニ用ユ可キ官ノ錘印ハ全国各

所同一ノ者ニシテ其面ニ百合花及ヒ其コシ
セルウアシヨシノ番号ヲ標ス可シ

此錘印ハ「インスペクシヨシ」ノ森林官署長官
一預ケ而メ二箇ノ鍵ノアル匣へ藏ム可シ

而テ其鍵ノ一箇ハ該長官ノ手ニ在リテ今一箇
ハ其次官ノ手ニ在ル可シ

此錘印ヲ預ル所ノ官吏ハ其匣及ヒ其金物ノ
損傷セサル様ニ保持シ而テ錘印ノ其匣中ニ
藏マリアルヲ又其一箇ノ鍵ハ其次官へ渡ス
可キトニ付テハ必ス其責ニ任ス可シ

統理員ハ大藏卿ノ允許ヲ受ケテ其錘印ヲ
切ニ用ユルヲ防ク為ニ相當ノ規則ヲ定ム可
シ

第三十七條 上等森林官吏及ヒ測量吏且各番
人ハ各其役前ノ錘印ヲ所持ス可シ而テ統理
員ハ大藏卿ノ允許ヲ受テ其錘印ノ形姿及ヒ
文字且其用ヒ方ヲ定ム可シ

其諸官吏ハ森林法ノ第七條ニ從ヒテ各其役
前ノ錘印ノ文字ノ寫シ一枚ヲ裁判所ノ登記
局へ納ム可シ

第三十八條 各森林官吏ハ其官ヲ命ス可キノ
権アル人ニ非ラサレハ之ヲ免官スルヲ得ス
然レ氏至急ノ事アル場合ニ於テハ司長ハ
自ラ命セサル所ノ官吏ヲ假リニ免シ又假リ
ニ其後任者ヲ命スルヲ得可シ而テ其事ハ遲
延ナク大藏卿ハ上申ス可シ
森林保護官ハ此場合ニ於テハ其指令ヲ承ル
所ノ森林番長及ヒ其他ノ下吏ヲ假リニ免ス
ルヲ得可ク而テ其事ハ遲延ナク司長ハ申
述ス可シ

第三十九條 司長ハ統理官ノ論議ヲ尋問シテ
後森林番長及ヒ其他ノ下吏ヲ裁判所ニ訴ヘ
又其等ノ職務ノ事ニ付テ裁判所ニ於テ吟味
ヲ為サシムルノ権アル可シ
大藏卿ハ森林監察官及ヒ下等監察官ノ統
理司長ヨリ裁判所ニ訴ヘ及其等ノ職務ノ事
ニ付テ裁判所ニ於テ吟味ヲ為サシムルノ事ヲ
許可スルノ権アル可シ
国議院ノ許可ヲ得スシテ森林保護官ニ對シ
テ訴訟ヲ為スルヲ得ス

第三章 森林学校ノ事

第四十條 森林統理司長ノ意考ヲ以テ設ク
可キ学校ハ

其一 上等森林官吏タル者ヲ教育ス可
キ為メノ上等ノ官学校

其二 森林番人タル可キ者ヲ教育スル
為メノ下等ノ官学校

第一節 上等学校ノ事

第四十一條 上等学校ノ於テ教ユ可キ学科ハ
其一 森林ニ関係スル博物学

其二 固形体ニ用ユ可キ點竄学

其三 森林ノ事ニ関スル立法及ヒ裁判学

其四 森林ヲ培植スル事及ヒ森林ノ有益

ニ用ユル一又尋常ノ建築及ヒ海軍用ノ

為メニ適當ナル樹木ヲ培植スル等ノ一

ニ関スル森林ノ経済学

其五 畫圖学

其六 獨逸語学

第四十二條 上等学校ノ為メニ大藏卿ハ三人
ノ教師ヲ命ス可シ乃チ

其一 博物学ノ教師

其二 数学ノ教師

其三 森林ノ経済学且森林ニ関スル立法及ヒ裁判学ノ教師

生徒ノ年限ハ二ケ年ヲ以テ期トス而シテ学校ハ毎年十一月ノ一日ニ開校シ九月ノ一日ニ閉校ス可シ

三人ノ教師ノ内一人ハ学長ノ務ヲ為ス可シ且畫圖教師一人及ヒ獨逸語学教師一人ハ必ス此学校ハ附屬ス可シ

第四十三條 上等学校ハ「ナレシ」ニ設立ス可ク而シテ学校ノ為ニ必ス用ユ可キ者ハ

其一 教師ノ講堂書籍館博物館学長ノ住所

其二 生徒ノ為ニ必要ナル培樹園

第四十四條 生徒ノ数ハ二十四人ニ限ル可シ
入学スル者ハ巴黎又ハ各州ニ於テ陸軍学校ノ試験官吏ヨリ陸軍生徒ト同所ニ於テ同時ニ試験セラル可シ

其試験ノ時ニ入学ノ可許ヲ得可キ為メ生徒

ハ統理司長ハ左ノモノヲ出ス可シ

其一 入学ヲ願フ生徒ハ十二月一日迄ニ
満十九歳ニシテ未タ二十二歳以上ニ
至ラサル事ヲ證ス可キ出産ノ證昏

其二 身体健康ニシテ種痘或ハ天然痘
ヲ済シラル事ヲ證スル為ニ定規ノ通りニ
作リテ且其花押アル醫師ノ證昏

其三 中学校ノ学則ヲ歴済シタル事ヲ證
スル證昏

其四 一年間ニ学費千二百ヲラレクノ蓄

ハアル一ヲ證スル證昏而テ若シ其証ナ
キハ其親類タル者ノ二年間右ノ金教
ヲ與一且其出学ノ時ヨリ森林番長トナ
ル迄ノ間毎年四百ヲラレクノ金ヲ與フ
可キト云フ其約束昏

第四十五條 入学ヲ願フ者ハ左ノ学科ニ付テ
其試験ヲ受ク可シ

其一 算教及ヒ新尺度学

其二 測量学及ヒ畫圖学

其三 佛蘭西語学

其四 生徒ハ試檢官吏ノ面前ニ於テ羅匈
語ノ詩及ヒ其他ノ文章ヲ佛語ニ訳シテ
且其大法ヲ講説ス可シ

生徒ハ右ノ学科ニ限リ試験ヤラル可シト虽
氏其他ノ学ヒ知リシ事殊ニ點竄三角法及
ヒ宛理学化学等ヲ為シ得タル者ハ亦其功アル
可シ

第四十六條 其生徒ハ試檢ノ時ノ其学カノ等
級ニ依テ大藏卿ヨリ本森林学校ニ入ル可キ者
ヲ可ム可シ

第四十七條 学校生徒ノ服ハ左ノ如クナル可シ
上衣及ヒ下衣ハ綠色羅紗牡丹ハ銀ニテ森林
官学校ト云フ文字ヲ彫シ上衣ハ胸ヨリ以下
牡丹ヲ以テ包ミ襟ノ左右ニ五サンチノ一ト
ルノ櫛ノ枝及ヒ櫛ノ実ヲ銀糸ニテ綵縫シ中
衣ハ白色ニシテ帽子ハ銀糸ノ線アル佛朗西
帽子タル可シ

第四十八條 生徒ハ毎年一度司長ヨリ定ムル
中ニ其教師ノ案内ニ隨テ森林ヲ巡視ス可シ
其巡視ハ生徒其学ヲ所ノ諸件ヲ現在ニ就テ

研究ニ且明ニ講説スル為ニスル者ナリ

第四十九條 毎年末ニ三人ノ教師ハ試験掛リト為リテ学校ノ規則ヲ二年間歴済シタル生徒ヲ試験シ而テ司長或ハ司長ヨリ命シタル一人ノ統理官ハ其試験掛ノ上席ヲ為スコシ

第五十條 前條ノ試験ヲ十分ニ済シタル生徒ハ森林番長ト同様ノ等位ヲ得而テ相当ノ年歳ニ至リ或ハ国王ヨリ其年歳ニ関セサルノ免許ヲ受テ森林番長ノ欠員アル時該官ヲ命セラル可シ然レモ森林番長ノ欠員アル

ル片其欠員ノ半ハ現ニ勤務セル騎馬番人ノ昇進ノ為ニ殘シ置ク可シ

第五十一條 若シ生徒学校ノ規則ヲ歴及ヒ其試験ヲ済シ而テ其年歳未タ二十五歳ニ至ラス又国王ヨリ年歳ニ関セサルノ免許ヲ得ス或ハ相当ノ年歳ニ至リ又ハ国王ヨリ免許ヲ得タルト虽モ森林番長ノ欠員アラサルニ於テハ其生徒ハ騎馬番人ト同様ノ官俸ヲ得而テ或ハ巴黎ニアル森林統理官ノ局ニ於テ或ハ緊要ナル郡ノ森林保護官又ハ森林監察

官ノ局ニ於テ假リニ勤メテ為サシム可シ
生徒ハ其相当ノ年歳ニ至リ森林番長ノ欠員
アル片ハ其出校ノ先後ノ順次ニ從テ該官ヲ
命セラレ可シ

第五十二條 森林学校ノ二年ノ期限ヲ終ヘ而
テ其試験ニ至テ学力未タ十分ナラサル生徒
ハ再ヒ一年間入学ノ免許ヲ得可シト虽モ其
一年ノ後ニ至リ猶学力十分ナラサル片ハ其
学校及ヒ森林官署ヘノ関係ハ全ク消尽スル
者ナリ

学長ヨリ司長ヘ定期ニ送ル所ノ試験ノ調査
ニ依テ其怠惰且不正ナル者ノ事ハ大藏卿
ヘ季子而テ大藏卿ハ事宜ニ從テ此等ノ層
生ヲ退校セシム可シ

第五十三條 大藏卿ハ森林学校ノ学科ノ分
テ生徒ノ等級且脩学ノ時間及ヒ其順序又学
校ノ取締及ヒ学長ノ権ヲ別段ノ規則層定
ム可シ

第二節 下等学校ノ事

第五十四條 佛朗西全国内第一ニ森林ノ多

キ土地ニ於テ下等ノ森林学校ノ設立ス可シ此
学校ハ森林番人タル可キ者ヲ教育スル為ニ
設ク可キ者ニシテ生徒入校ノ年時ハ二年ヲ
以テ期トス

第五十五條 下等学校ノ学科ハ

其一 習字 佛朗西文典 初等ノ美術

其二 森林ノ諸樹木ヲ識認シ且樹木ノ質
及ヒ其用方殊ニ尋常ノ建築及ヒ海軍
用ニ相当ナル樹木ノ種類ヲ識認スル事

其三 樹木ノ種ヲ播シ及ヒ樹木ヲ植ル事

其四 樹木ヲ培養シ及ヒ樹木ノ價ヲ極メ
且利益ト為ス可キノ規則

其五 森林番人ノ職務及ヒ其調唇ヲ認メ
且其調唇ノ法式ニ付テ守ル可キ法律及
ヒ定則并ニ人ヲ官署ニ呼出スルノ方法
日録ヲ記スル事 森林ヲ使用スル權
ノ事

第五十六條 国王ハ別段ノ布告ヲ以テ下等学
校ヲ設立ス可キ箇所及ヒ入学ス可キ生徒
ノ負數入学ニ付テノ各種ノ定メ且學費及ヒ

修業ノ事ニ付テノ方法ヲ定ム可シ

第二篇 官有森林ノ事

第一章 森林ノ境界ヲ定メ及ヒ其

繞圍ヲ為ス事

第五十七條 官有ノ森林ト其隣森林トノ境界ヲ定メ及ヒ繞圍ヲ為スニ付テノ願昏ハ之ヲ州長ハ出ス可シ

第五十八條 前條ニ記スル願昏ノ趣ノ其森林ノ幾部分ニ関シタルキハ相当ノ法ニ依テ之ヲ為ス可シ而テ其所有主其境界及繞圍ヲ定

ムル事ニ付テ同意ヲ為シテ評價人ヲ用ユヘキ州長ハ森林保護官及ヒ官有地ヲ管理スル官吏ノ高議ヲ承ケタル後ニ官ノ名代人トシテ一人ノ上等森林官吏ヲ評價人ニ任ス可シ森林法第九條見合

第五十九條 森林法第十條ニ從テ森林ノ全境界ヲ定ムルキハ州長ハ前條ニ記スル所ト同シク上等ノ森林官吏及測量吏ヲ命シ而シテ其仕事ヲ始ムヘキ日時且方位ヲ差示スヘシ

森林法第十條見合

第六十條 森林ノ全境界ヲ定ケル事ヲ知ラセ
ル為ニ揭示ヲ為スヘキ各邑長ハ州長ノ定
メ居テ其各邑ニ揭示シタル事ノ証居テ州長
ハ出ス可シ森林法第
十條見合

第六十一條 森林ノ境界ノ事ニ付テノ調昏ハ
其事ノ順吹ニ從ヒテ評價人之ヲ認ムヘク且
其調昏ハ隣森所有主ノ人員ニ從ヒ分條シテ
之ヲ認メ而シ其每一條ニ年月日ヲ書記シ其
關係者之ニ花押ヲ畫ス可シ

若シ隣森所有主ノ自ラ其名ヲ記スル能ハサ

ル歟或ハ之ヲ拒ミ且自分又名代人共ニ来ラ
サル時ハ其事ヲ其分條ノ終リニ記ス可シ
境界ノ事ニ付テ雙方ノ一致セサルコトアル
ハ其事ニ付テ人ヲ呼出シタルコト及ヒ對談シ
タルキノ双方ノ陳述ヲ其調昏ニ記スヘシ
何様ノ時ナルヲ論セテ其森林ニ自然ノ境界
アリ而シテ其一部分ヲ他ニ放シ讓ルヘクシテ
森林ノ此レ迄ノ形ヲ変ヤサルヲ得サル時
ハ其双方ノ評價人ノ間ニ少シノ違議ナキ時
ト虽氏其故由ヲ調書ニ記載ス可シ森林法第
十條見合

第六十二條 森林法ノ第十一條ニ定リシ時間
ニ大藏卿ハ其森林ノ境界ヲ定ムル事ニ付テ
ノ調局ノ可否シタル其意見見届テ国王ニ上陳
シ而テ国王ハ其上陳ニ依テ其事ヲ裁定ス可
シ

故ニ州長ハ其調局ヲ州ノ厝記局ニ出シタル
時直ニ其寫シヲ記セシメ而テ遅延ナク之ヲ
大藏卿ニ送ル可シ

森林法第十
一條見合

第六十三條 隣森所有主ハ其森林ニ関係スル
定界ノ事ニ付テノ調局ノ其抄局ヲ請求スル

ヲ得可シ

其抄書ヲ為スルノ費用ハ其所有主ヨリ之ヲ
辨ヌ可シ而テ千七百九十四年六月廿五日ノ
法ノ第三十七條ニ從ヒテ其寫ノ每一葉ニ七
十五サレキ一イムノ割合ヲ以テ計算ヲ為ス
可シ

第六十四條 隣森所有主ヨリ為ス所ノ歎願届
ハ其定界ノ仕事ヲ為スノ拘又ハ一年內ニ之
ヲ州長ニ出ス可シ而テ州長ハ森林保護官及
ニ官有地ノ管理スル官吏ノ意見ヲ承ル為メ

ニ其歎願昏ノ寫シヲ送ル可シ 森林法第十
二条見合

第六十五條 邑長ハ森林ノ定界ノ事ニ付テ国王
ノ裁定ヲ人一告知スル為ニ州長ヨリ出ス所
ノ書付ヲ布告シタルヲ第六十條ニ從ヒ
テ證ヲ立ツ可シ

森林法第十二條ニ從ヒテ繞圍ヲ為スルノ為
メ隣森ノ所有主ヲ呼出スルニ州長ヨリ出ス
所ノ書付ニ付テモ亦同様ナル可シ 森林法第
十二條見
合

第六十六條 境界ヲ定メ及ヒ繞圍ヲ設クルヲ

ノ入費ハ森林官署ト隣森所有主トノ契約ヲ
以テ之ヲ定メ而シテ双方ヨリ之ヲ辨スヘシ
其入費ノ調昏ハ森林保護官之ヲ認メ該州ノ
州長之ニ畫印シ而テ之ヲ收税官吏ニ渡ス可
シ又其官吏ハ隣森所有主如シ其納金ヲ怠
ル事アル片ハ之ヲ納メシムヘキ方法ヲ以テ其
訴ヲ為ス可シ然レ其所有主其調昏ノ一ニ
付キ故障ヲ申述スル時ハ裁判所ニ於テハ乃
チ其故障ノ事ヲ審判スヘシ 森林法第十
四條見合

第二章 森林ヲ養殖スル事

司法省

第六十七條 樹木ヲ伐採スル事ノ規則ノ未ク定メナク又其土質及ヒ樹木ノ種類等ニ關ヤス無規則ニ取扱フタル森林ハ以後森林養殖ノ規則ニ從フヘシ

大藏卿ハ毎年一月ニ其前年中ニ養殖ノ仕事ヲ施シタル所ノ調厝

全国中ニ為シタル坪數又ハ木ノ種類等ヲ云フ

ヲ国王ニ納ム可シ

森林法第十
五條見合

第六十八條 養殖ノ仕事ハ重モニ物産及ヒ大木ヲ繁殖セシムル為メニ之ヲ為スコシ故ニ森林官署ハ大木ヲ育スル為メニ保存シタル

森林及其部分ヲ調査シテ其内幾部分ヲ伐除シテ最モ有益ナリト思量スル時ハ其森林所在ノ地ヲ詳記シテ養殖ノ仕事ヲ為スコキヲ政府ニ申立ツ可シ

第六十九條 此布告以後其養殖ノ仕事ヲ施シタル森林ノ樹木ヲ伐ルノ年限ハ速ニ二十年以外タル可シ然レモ栗其他脆キ樹木ヲル森林及ヒ最下等ノ森林ハ此規則ノ限ニ非ス

第七十條 前條ニ記スル年限ノ已ニ滿チタル

樹木ヲ伐ル時ハ一「ヘクタール」毎ニ五十本ノ
木ヲ保存ス可シ若シ保存シ難キ場合ニ於テ
ハ其鋸印ヲナシタル片ノ調看ハ其由ヲ記載
ス可シ

回來又ハ近ク保存シタル樹木ノ其枯凋シタ
ル歟又ハ定リタル年限迄成育ス一キ目的ナ
キニ非サレハ之ヲ伐ル事ヲ得ス第四百三十
四條見合

第七十一條 非常ノ採用ト看做ス可キ者ハ左
ノ如シ

其一 此ノ規則ニ定マリタル順序ニ反シ

タル採用

其二 此ノ規則ニ依リテノ採用年限ノ未タ
定ラスト雖氏從來ノ慣習ニテ定リタ
ル順序ニ反シタル採用

其三 此ノ規則ニ定リタル年限ヲ待タサ
ル採用

其四 大木ヲ育スル為メニ保存シタルト
虽氏此規則ニ依テノ採用年限ノ未タ定
ラサル森林ニ付テノ採用

此等ノ採用ハ森林法第十六條ニ記スル国王

特別ノ布告アルニ非レハ之ヲ為ス可ク得ス
森林法第十
六条見合

第七十二條 粘膠質ノ樹木アル森林ヲ稀疎ナ
ラシムル為メノ伐採ハ其樹木ノ此布告ニウ之メ
タル年歴及ヒ其大サニ至ラサルモノヲ允許
ス可ラス

第三章 伐採ス可キ森林ヲ定ムルノ森
林ヲ測量スルノ保存ス可キ樹木ヲ撰
ムノ樹木ニ錘印ヲ為スノ競賣スル事
第七十三條 森林保護官ハ毎年此布告ノ養殖

ノ規則ニ從ヒテ伐採ス可キモノト又未タ養
殖ノ仕事ヲ受ケサル森林アル中ハ其地從
來ノ慣習ニ從ヒテ之ヲ伐採ス可キモノト其
調度ヲ作りテ之ヲ統理司長ハ出ス可シ
司長ハ其調度ヲ大藏卿ハ出シテ其許可ヲ
受ク可シ
又保護官ハ国王特命ノ允許ヲ受ク可キ臨時
ノ伐採アル時ニハ左ノ諸件ヲ調度ニ記シテ
之ヲ司長ハ出ス可シ
伐採ヲ企ルノ原由伐採ス可キ森林ノ形状及

ニ樹木ノ歷年森林ノ包藏物樹木ノ種類保存
ス一キ樹木ノ數又其森林ノ土地ノ事ニ関シ
テ為ス一キ仕事第七十一
条見合

第七十四條 若シ常例或ハ臨時ノ伐採ニ付テ
其許可ヲ得タルキハ森林保護官ハ自己或
ハ他ノ森林上等官吏ヲ名代トシテ其伐ル可キ
樹木ヲ指示シ且ツ別ニ測量ノ仕事ヲ為サシ
ム可シ

第七十五條 測量吏ノ其仕事ヲ為スカ為メニ
開ク可キ道路及ヒ溝渠ハ一メートルヨリ大

ナル可カラス若シ之ニ背クキハ免職セシメ
且損害アルキハ之ヲ償ハシム可シ

其道路及ヒ溝渠ヲ削クニ付テ伐リタル樹木
ハ其買主ノ買取リタル部分ニ加フ可シ否ハ
零賣ノ式ニ從ヒテ別ニ之ヲ賣却ス可シ第七百
条見合

第七十六條 伐採ス可キ森林ノ其境界ヲ定ル
ニハ隅角ニアル大木及ヒ境界線ニ在ル樹木
ニ付テ之ヲ定ム可シ然レ氏其ノ隅角ニ證標
トナル可キ大木ナキキハ測量吏ハ其代リニ

杭ヲ立テ而シテ其境界ノ内外ヲ伺ハス其立
タル杭ヨリ最近ノ著シキ證標トナルヘキ木
ヲ借り用ユ可シ

測量吏ハ隅角ニ於テ以前證標ト為シタル樹
木アル時ハ少ク氏其一本ヲ取用ユ可シ

總テ境界線ニアル樹木ニ為ス可キ測量吏ノ
錘印ハ左件ノ如クニシテ可成丈ケ其樹ノ根
近カニ之ヲ為ス可シ

隅角ニアル所ノ大木ニハ其樹ノ左右兩面ニ
於テシ其境界線ニ在ル樹木ニハ乃チ其伐ル

ヘキ方ニ向ヒタル所ノ一面ニ其錘印ヲ為ス
ヘシ

測量吏ハ其各方面ニ於テ自己ノ錘印ヨリ高
サ一メートルノ所ニ国王ノ錘印ヲ付スヘキ
為メ其樹皮ヲ削リテ白クシ置ク可シ

第七十七條 測量吏ハ其仕事ヲ為シ終ルキ其
森林ノ地圖及ヒ調厝ヲ作り而テ之レニ實地
檢査ノ時ニ至リ其境界ヲ知ルニ必要ナル總
テノ形狀ヲ詳記ス可シ

測量吏ハ直ニ其圖面及ヒ調厝ノ寫二本ヲ森

林監察官或ハ其被管ノ上等官吏ニ送ル可シ

森林法第五
十條見合

第七十八條 保存ス可キ樹木ヲ定メ及ヒ鉅印
ヲ為ス時ハ少ク氏二人ノ森林上等官吏必ス
立合ヲ為ス可シ

森林番人ハ之カ午傳ヲ為シ而シテ其番人
出テ勤メシ事ハ其調卷ニ記載ス可シ 森林法
第三十

三條
見合

第七十九條 森林内ニ於テ隅角及ヒ境界線ニ
在ル樹木及ヒ保存ス可キ樹木ニハ左ノ如ク

ニ国王ノ鉅印ヲ為ス可シ

境界線ノ樹木ハ稜地一メートルノ高ニ於テ
シ又小キ森林ニシテ從前保存シタル樹木且
現今伐ル可キ中ニ於テ保存ス可キ樹木等ハ
森林官署ノ指令ヲ以テ定ムル所ノ高サ及其
方法ニ依テ其鉅印ヲ為ス可シ

現今伐ル可キ中ニ於テ保存ス可キ樹木ハ因
王ノ鉅印ヲ為スニ其未タ弱木ナル時ハ其樹
皮上ニ彫付ケ或ハ森林官署ヨリ指令スル所
ノ其印シテ為ス可シ

鉅印ノ為方或ハ保存ス可キ樹木ノ弱木ナル
ニ付テノ其指令ハ競賣ノ布告昏及ヒ其調昏
ハ記載ス可シ 森林法第百三
十三條見合

第八十條 事ニ依テ森林ヲ稀疎ナラシムル為
メ又樹木ハ數ヲ定メテ伐ル事アルキハ国王
ノ鉅印ハ其伐ルヘキモノニ付シ而テ其樹身
及ヒ其根ニ於テスヘシ

第八十一條 樹木ヲ保存シ及ヒ鉅印ヲ付スル
事ニ付テノ調昏ニハ其保存スル為メニ印シ
ヲ為シタル樹木ノ數及ヒ其種類又現今伐ル
可キ中ニ於テ保存スヘキモノ近年ニ保存シ
タルモノ及ヒ旧來保存シタルモノ隅角ノ大木
及ヒ境界線ニ在ル樹木等ノ區別ヲ詳記ス
可シ

右ニ付キ諸官吏ノ畫印シタル調昏ハ八日ノ
期限内ニ森林保護官へ出ス可シ
伐ル可キ樹木ノ評價昏ハ別段ノ調昏ハ記載
シテ前同期内ニ保護官へ出ス可シ

第八十二條 競賣ニ付テノ一般ノ取極ハ毎年
統理司長ノ局ニ於テ評議ヲ為シテ而テ大藏

卿ノ允許ヲ得タル其規則層ヲ以テ之ヲ定ム
可シ

森林保護官ノ其所轄内ノミニ係リタル條件
ハ乃チ保護官ニ於テ之ヲ決定ス可シ

右一般ノ取極メ及ヒ保護官ニ於テ決定シタ
ル條件ハ慎重嚴確ナルモノニシテ必ス之ヲ
虚威ノ為メニ設ケタルモノト看做ス可カラ

ス森林法第三
十七條見合

第八十三條 竟賣ノ当日ヨリ十五日前ニ其管
轄セル森林上等官吏ハ其場へ上席ス可キ行

政官ノ書記局へ送ル可キモノ左ノ如シ

第一 伐ル可キ森林ノ測量ノ調層及ヒ保存

スル為メニナシタル錘印アル樹木ノ調層

第二 竟賣ニ付テノ一般ノ取極メ及ヒ保護

官ヲ其所轄内ノミニ係リタル條件ノ其寫

竟賣ニ上席ス可キ行政官吏ハ其層類ヲ受取

リタル事ノ誌スル為メニ其層類ニ畫印ヲ為

ス可シ森林法第十七條以下及此
規則ノ第八十六條見合

第八十四條 竟賣ノ揭示ニ記載ス可キモノハ
左ノ如シ

竟賣ノ場所及ヒ日時上席ス可キ行政官吏ノ
名伐ル可キ森林ノ場所其樹木ノ数及種類
且坪数又保存ス可キ樹木ノ数及ヒ其品級
且其種類

揭示ハ其郡ノ森林上等官吏之ヲ作り保護官
之ニ畫印シ州長ノ可許ヲ取り而テ森林上等
官吏ノ差圖ヲ以テ森林番人ヨリ之ヲ貼付セ
シム可シ又其番人ハ邑長ヨリ貼付シタル事
ノ證書ヲ取リテ之ヲ被管ノ上等官吏出
ス可シ

右揭示メ外ニ各州長及ヒ各郡長ハ通常布告
スル所ノ法方ヲ以テ之ヲ其管下ニ布告スヘ
シ

又竟賣ノ事ハ成ル可キ丈ケ廣ク布告シテ其
事ノ調看ニ記載ス可シ

森林法第十七
条以下見合

第八十五條 樹木ノ採用ヲ許シタル国王特別
ノ命令看ハ之ヲ臨時伐採ノ竟賣定看及其
揭示ニ記載ス可シ

森林法第十六条第
十七條以下見合

第八十六條 常例及ヒ臨時伐採ノ竟賣ニ郡廳
ニ於テ州長及ヒ郡長ノ面前ニテ之ヲ為スヘシ

然レ氏州長ハ森林保護官ノ申立ニ依リ五百
フランクニ越ヘサル價ノ森林ハ其森林近傍
ノ邑廳且邑長ノ面前ニ於テ竟賣ヲ為サシ
ムルヲ得可シ

竟賣ハ何レノ場合ニ於テモ森林上等官吏及
ヒ竟賣ノ價金受取人ノ面前ニ於テ之ヲ為ス
可シ

第八十七條 竟賣ハ買主ヲシテ投言セシメ而
メ点燈セル恂ニハ 戴本ノ小隙燭ノ之ヲ決定
ス可シ 消唇スル迄

其投言ヲ決定スル前ニ森林保護官或ハ其
名伐タル他ノ官吏ハ其預定シタル價ヲ其場ニ
上席セル行政官吏へ告ケ知ラセ而テ点燈ハ
其投言ノ其預定シタル價ニ均シキニ至ラ
サル恂ハ之ヲ為ス可カラス

投言ヲ其預定シタル價ニ至ラスト虽氏殆シ
ト拘一ナル場合ニ於テ森林官吏ノ申立ニ
ヨリ点燈セシムルヲ可シ

第八十八條 事ニ依テ森林ヲ稀疎ナラシムル
為メノ伐採ニ付テハ統理司長ノ命ニ依リ官

ノ入費ヲ以テ其樹木ヲ伐採及ヒ削剝スル
ヲ得可シ而シテ其仕事ヲ為サシムル者
ハ投票ヲ以テ之ヲ撰定ス可シ
其削剝ヲ為シタル材木ヲ競賣ニ為サントセ
ハ之ヲ幾分ニ分テ而テ通常ノ方法ヲ以テ之
ヲ賣捌ク可シ而シテ伐採及ヒ削剝ヲ為シ
タル其費用ハ之ヲ買主ニ拂ハシム可シ

第八十九條 總テ若シ十分ナル買主ナクシテ
競賣ノ決定セサルハ森林官吏ノ申立ニ
依リ上席スル行政官吏ノ指示スル日限迄之ヲ

延ス可シ

其他統理司長ハ其競賣ヲ明年迄延期スル
ヲ得可シ加之事宜ニ依リ大藏卿ノ允許ヲ得
テ其競買ヲ止メ且其伐採等ニ付テノ費用
ハ官ヨリ之ヲ辦シ而テ尔後再ヒ競賣ヲ為ス
時ハ乃チ前八十八條ノ規則ニ從フ可キ
命スルヲ得可シ

第九十條 買主ノ別段拂フ可キ費用ハ森林保
護官ノ申立ニ依テ州長ヨリ之ヲ定メ而シテ
其定メ居ハ競賣ノ場所ニ於テ其競賣ヲ為

スノ時洵之ヲ揭示ス可シ

第九十一條 竟賣ノ調書ニハ出席ノ諸官吏及
ヒ買主且其名代人其場ニ於テ之ニ畫印ス
可シ

買主或ハ其名代人出席セサルキ又ハ出席ス
ト虽氏畫印スルヲ拒ミ或ハ之ヲ為シ得
サルキハ其故ヲ調書ニ記載ス可シ

第四章 買取りタル森林ノ捌方ノ事

第九十二條 若シ買主竟賣定書ニ從ヒテ拂ヒ
タル價金ノ受取證書ヲ其地ノ森林上等官吏

ハ差出シタルキハ官吏ハ直ニ其森林ノ樹木
ヲ伐採スヘキ事ノ許可ヲ與フ可シ 森林法第
三十條見
合

第九十三條 遅クモ竟賣ノ翌月内又ハ樹木伐
採ノ許可ヲ受ル以前ニ買主又其名代人ハ官
吏ノ立合ニテ其森林中又ハ斧郷音ノ聞ユル距
離内ニ於テ 買取りタル森林ノ境界ヨリ
二百五十メートルノ地ヲ云 從前
伐採シタル樹木ノ切株及ヒ其他我カ責ト
ナルヘキ犯罪ノ事ノアラサルヤ否ヲ検査ス
ルヲ請求スルヲ得可シ

右ノ事ニ付テハ本人ヨリ其費用ノ出スニ及
ハス到底政府ノ為メニ其地ノ森林番人及ヒ
森林上等官吏ニテ其事ヲ執リ行フ可シ
又右ノ事ニ付キ作ルヘキ調厝ニハ切株ノ数
及其樹木ノ種類且其大サヲ證シ而シテ買
主又其名代人并ニ森林上等官吏及ヒ其場
ニ出勤セシ森林番人各々之ニ画印ス可シ
其切株ニハ森林上等官吏ノ錐印ヲ付ス可シ

森林法第四十五條
第四十六條見合

第九十四條 鋸木師ノ長又買主ヨリ置ク所ノ

番人ハ印紙ヲ以テ簿冊ヲ作り之ニ記号及ヒ
花押ヲ記畫シ而テ空所ナキ様其小賣及ヒ
大賣シタル樹木ノ大サ及ヒ其坪数并ニ其樹
木ヲ受取タル人名ヲ毎日之ニ記載ス可

シ森林法第三
十一條見合

第九十五條 買主ハ森林官署ヨリ其形ヲ定メ

タル所ノ錐印ヲ所持シ而シテ其買取リタル
森林ヨリ搬運スル樹木及ヒ材木ニ之ヲ印ス
ハシ

樹木伐採ノ許可ヲ得タル日ヨリ十日内ニ其

司法省

鑑印ノ寫シ一枚ヲ其地ノ裁判所ノ書記局ハ
又其一枚ヲ被管ノ森林上等官吏ニ納ム可シ
若シ之ニ違フハ森林法第三十二條ニ記載
シタル罰ヲ受クヘシ而テ森林上等官吏ハ其
鑑印ノ寫シノ受取書ヲ其買主ニ共フ可シ
森林

法第三十
二條見合

第九十六條 樹木ヲ伐採シ及ヒ之ヲ搬運スル
ノ其延期ノ許可ハ森林統理司長ヨリ之ヲ
為スヲ得可シ

買主ハ其延期ヲ為シタルニ付テノ償金ヲ其

伐採ニ付テノ目錄各ニ記スル所ノ元價ニ準
シテ之ヲ拂ヒ及ヒ其力為ニ生スル損害アル
時ハ之ヲ償フヘキノ契約ヲ前以テ為スニ非
サレハ其延期ヲ許ス可カラズ
森林法第四
十條見合

第五章 樹木ヲ搬運シ終リタル後ノ測
量及ヒ検査
森林法第五
章ノ註見合

第九十七條 樹木ヲ搬運シ終リタル後ノ實地
ノ測量ハ其森林ヲ最初測量シタル者ノ外
之ヲ他ノ者ニ為サシム可シ然レモ其測量最
初為シタル者ノ面前ニ於テハ或ハ其者ヲ呼

出ス可キ法式ヲ用ヒタル後ニ之ヲ為サシム
可シ森林法第四十
七条以下見合

第九十八條 樹木ヲ搬運ニ終リタル後ノ実地
ノ検査ハ少ク氏森林官吏二人及ヒ其地ノ森
林番人一人立合ヒテ之ヲ為ス可シ

其官吏ハ調昏ヲ作テ買主又其名代人ヲシテ
畫印セシメ而テ之レニ連印ス可シ

第九十九條 州長ハ森林保護官ノ申述アルニ
非レハ買主ハ解任状ヲ渡ス可カラス森林法
四十五

条以下及五
十一條見合

第六章

櫟実ヲ拾取ルル豚ヲ森林入
レテ櫟実ヲ食シムルル牧畜スルル等
ニ付テノ斃賣又倒レ木及ヒ犯罪ニ関
シタル木ノ零賣

第百條

森林保護官ハ毎年該地ノ森林官吏
ヲシテ櫟実ヲ拾フル豚ヲ森林ニ入レテ櫟実ヲ食
シムルル牧畜スルル等ノ斃賣ヲナシテ其養
殖ノ為メニナルヘキ森林ヲ調査セシメ而テ
後其斃賣ヲ允許ス可シ森林法第五十
三条以下見合

第百一條

森林番人ハ暴風其他不意ノ事ニ依

リ倒レタル樹木アルハ其樹木ノ数及ヒ種
類且其大サヲ調査シテ其調厝ヲ作り而テ十
日内ニ被管ノ上等官吏ハ出ス可シ

其官吏ハ猶豫ナク實地ノ調査ヲ為シ而テ其
樹木ノ自己ノ錐印ヲ為ス可シ 第二十六
條見合

第百二條 前條ニ記スル倒レ木又ハ犯罪ニ関
シタル木又芽ヲ吹出サシムル為メ或ハ枝ヲ
透ス為メ或ハ他樹ノ害トナルヘキモノ又立
木ニテ賣ル能ハサル穉樹等ハ保護官之ヲ斃
賣ニ為サシメ又ハ之ヲ為スルヲ許ス可シ而

テ總テ零賣ノ式ヲ以テ之ヲ賣却ス可シ 森林
法第
十七條以
下見合

第百三條 假令ヒ災害ニ係リタルハ枝ア
ルハ又枯倒レタルハ又衰弱シタルハ總テ植
立シタル樹木ハ大藏卿格別ノ允許アルニ非
サレハ之ヲ伐リ又ハ之ヲ賣ルルヲ得ス且零々
賣ト雖ハ之ヲ為ス事ヲ得ス

第百四條 第百條第百二條及ヒ第百三條ニ記
シタル斃賣ハ森林ノ通常ノ斃賣ト同式ヲ以
テ之ヲ為ス可シ 森林法第十七
條以下見合

第七章 年限ヲ定メ土地ヲ貸與シテ樹木ヲ植付シムルノ允許

第百五條 請負ヲ為シメ又ハ官ノ手ヲ以テ樹木ノ植付或ハ播種ヲ為サンヨリハ年限ヲ定メ其地ヲ貸シテ樹木ヲ植付セシムルヲ便益ト思量スルキハ先ツ森林官吏ハ其土地ヲ調査ヲ為シ而テ調査ヲ作テ之ニ現ニ植在スル樹木ノ數及種類且其大サヲ記載ス可シ
森林保護官ハ自分ノ意見畧ヲ添ハタル其調査ト植付ヲ為サンハルニ付テノ各地ノ規則

畧ノ稿ヲ統理司長ハ出ス可シ而シテ其植付ヲ為スヘキ事ノ允許ヲ得タル者ハ森林法第三十四條第四十一條第四十二條第四十四條第四十六條ノ定規ヲ格段遵守ス可シ

第百六條 森林統理司長ハ前條ノ一ニ關係シタル諸畧付類ヲ添ヘテ其企ノ説明畧ヲ大藏卿ハ出シ而テ其允許ヲ受ク可シ

第百七條 其土地ヲ貸與スルノ免許ハ森林ノ競賣ト同シ式ヲ用テ公然ト其人物ヲ撰定ス

可シ
森林法第十
七條見合

第百八條 前条ニ記スル免許ヲ與ヘタル後其
仕事ノ承諾及ヒ現地ノ調査且仕事ヲ爲シ了リ
タル後ノ調査ハ樹木ヲ搬運シ終リタル後ノ
検査ノ事ニ付テ第九十八條第九十九條ニ記載
スル所ノ規則ニ從フヘシ

第八章 官有ノ森林ニ於テ格別ナル名
義ヲ以テ與ヘタル准許

第百九條 格別ノ名義ニテ土地ノ坪数或ハ樹
木ノ数ヲ以テ與ヘ依テ其權利ヲ得タル者ハ
森林上等官吏ヨリ昏付ヲ以テ其場所或ハ

樹木ヲ指示シ又之ヲ引渡シタル後ニ非サレハ
其樹木ヲ伐ルヲ得ス

森林ヲ測量シ樹木ヲ保存シ及樹木ニ錐印ヲ
爲ス事并終後ノ測量及ヒ調査ノ事ハ官有森
林ノ樹木ノ採用并其制禁ト同一ノ法方ニ從ヒ
テ森林上等官吏之ヲ爲ス可シ

引渡サレタル其森林ノ樹木ヲ採用スルキ其
伐採及ヒ搬運後ノ掃除ノ事ニ付テハ官有森林
林ノ斃賣ノ事ニ付キ定メタル諸規則ニ從フ

可シ
森林法第五十
八條以下見合

第百十條 若シ「メートル」凡我三尺三寸強立方ヲ以テ
樹木ノ引渡ヲ為スヘキ時ニハ其森林ノ買主
之ヲ渡ス「ト」ヲ擔當シ而シテ森林官吏ノ面前
ニ於テ其買主ノ立合イテ引渡ヲ為シタル
後ニ非レハ其者ハ其樹木ヲ引取ル「ト」ヲ得ス
第百十一條 若シ其ノ引渡ヲ為スヘキ樹木ノ
價ヲ評定スルハ州長ヨリ命ヲ受ケタル森
林官吏ト其者ノ命シタル評價人トニ其價ヲ
吟味セシム可シ而テ若シ其評價ノ兩端ニ
分カル、ハ裁判所ヨリ命スル所ノ評價

人ヲ以テ之ヲ評定セシム可シ

第九章 官有ノ森林ヲ使用スル權利

ニ付テノ事

第百十二條 政府ハ其人ト契約シテ森林ヲ使
用スル其權ノ代リニ土地ヲ與ヘテ其森林ヲ
隨意ニスル「ト」アル時ハ森林保護官ヨリ其事
實ヲ統理司長ヘ申立テ而テ司長ハ大藏卿ノ
許可ヲ得テ後其事ヲ差圖ス可シ森林法第六
十三條見合
第百十三條 前條ノ場合ニ於テ大藏卿ハ之ヲ
可ト思慮スル時ハ其森林ニ替ユルヘキ土地

司法省

ノ用意ヲ為ス可キヲ州長ニ命ス可シ
其用意ヲ為スニ付テハ保護官ノ命ヲ受ケ
タル森林官吏一人又官有地ヲ管理スル官署
ヨリ撰ミタル評價人一人及州長ノ命ニタル
評價人一人ハ左ノ事件ニ付キテ其評價ヲ為
ス可シ

其一 使用ノ権ヲ有スル者ノ証昏ニ記載
シアル各種ノ権ハ金額ニ直シテ之ヲ評
定ス可シ

其二 使用ノ権ノ替リトシテ其者ハ渡ス
可キ森林ノ部分ノ場所且其境界及ヒ
樹木ノ数樹木ノ重ナル種類又其坪数且
價ヒ又樹木大小ノ區別或ハ其森林中ニ
空地アル時ハ亦其形狀

其三 其他右ノ調昏ニハ左ノ諸件ヲモ記
載ス可シ乃チ渡ス可キ森林ノ出口トナ
ル可キ道路又河堀且森林ノ樹木ヲ使用
ス可キ市街或ハ製造所

右ノ如ク假ニ定メタル替地ノ事ノ人止テハ州
長ヨリ之ヲ其使用ノ権アル者ニ報知ス可

シ 森林法第六
十三條見合

第百十四條 使用ノ権アル者右ノ企テ了羨ス
ル時ハ州長ト其者ノ間ニ於テ公然ノ法式ニ
從ヒテ其証昏ヲ作り而テ其者ノ其替地ノ一
ニ付キテ政府ヨリ企望スル一ニ故障ナキ旨
ヲ記載ス可シ
其證昏ハ他ノ昏付類ト共ニ州長ヨリ大藏卿
ハ之ヲ渡ス可シ而テ大藏卿ハ官有地ヲ管理
スル官吏及ヒ統理司長ノ申述ヲ得テ然ル後
国王ノ允許ヲ取ル可シ

第百十五條 使用ノ権アル者政府ヨリ企タル
替地ノ事ヲ拒ミ又其使用権ノ價直且替地ノ
場所及ヒ其地價等ニ付テ故障ヲ申立ツル片
ハ州長ハ其事ヲ大藏卿ニ任ヤ大藏卿ハ便宜
ニ依リ森林法ノ第六十三條ニ從ヒ下等裁判
所ノ訴ヲ為スヘキ一ヲ州長ニ命ス可シ 森林法
第六十
五條
見合

第百十六條 森林法第六十四條ニ記シタル政
府ノ権ヲ以テ牧畜等ノ使用権ヲ買戻ス片ハ
第百十二條第百十三條第百十四條第百十五

条ニ定メタル所ノ方法ニ從フ可シ
然レ氏右ノ使用ノ權若シ村邑ニ屬スル片ハ
大藏卿ハ森林官署ノ企テテ決定スル以前
ニ其事ヲ州長ニ告知ス可シ而シテ州長ハ人民
ノ為メ使用ノ權ノ必用ナルトノ細密ナル条
件及ヒ自分ノ説明昏ヲ出ス可シ

大藏卿ハ其買戻シノ事ヲ可ナリト意決シタ
ル片ハ州長ハ其用意ノ積リヲ為ス以前ニ其
事ヲ森林所在ノ邑長ニ知セ且邑ノ議會ニ評
議セシムヘキトテ邑長ニ命ス可シ而テ邑長

ハ森林法第六十四条ノ第二節ニ記シタル所
ノ訴ヲ為ストテ適當ト思量スル片ハ乃チ之
ヲ為ス可シ

評價人ノ調昏ハ使用ノ權アル者ノ所持セル
所ノ證書ニ依リテ其權ヲ金價ニ直ストノミテ
記載ス可シ

森林法第六
十四条見合

第百十七條 森林ノ景狀又ハ森林ニ動物ヲ入
ル、ヲ許ストニ付キ或ハ古キ森林ト定メタ
ル所ニ於テ牧畜ヲ為シ又ハ豚ヲ入ル、トテ
許スト等ニ付テ爭論アル片ハ森林法第六

十五條第六十七條ニ從ヒテ州ノ參事院ノ判
決ヲ受ク可シ而テ又控訴ヲ為ス片ハ國議院
ノ評議ニ依リテ國王其裁決ヲ為ス迄ノ間其吏
ヲ停止ス可シ
森林法第六十五條
第六十七條見合

第百十八條 官有森林ニ於テ牧畜ヲ為シ及ヒ
豚ヲ入ル、トノ權ヲ有スル村邑ノ邑長及ヒ
人民ハ毎年其牧畜ノ事ニ付テハ十二月三十
一日以前又豚ヲ入ル、トニ付テハ六月三十一
日以前ニ商業ノ為メニスル者ト又自用ノ
為メ而已ニスル者トノ區別ヲ為シテ其獸類

ノ目錄唇ヲ其地ノ森林官吏ニ送致ス可シ
森林法第七十條
見合

第百十九條 該地ノ森林官吏ハ毎年ニ森林ノ
場所樹木ノ種類且其歷年及ヒ牧畜スルト標
實ヲ拾フ、ト及ヒ豚ヲ入ル、トヲ為サレムヘキ
諸森林ノ景狀ヲ其調唇ニ記シ且牧畜ヲ為サ
レムヘキ獸類ノ數及ヒ其仕事ヲ為スヘキ始終
ノ期限ヲモ記載ス可シ
而テ其調唇ハ牧畜ノ事ニ付テハ二月一日以
前又豚ヲ森林ニ入レ及ヒ標實ヲ拾フ、トニ付

司法省

テハ八月一日以前ニ森林保護官へ出スヘシ
森林法第六十六條以下見合

第一百二十條 使用ノ権アル村邑ノ牧畜者ハ邑
長之ヲ撰挙シ而テ邑ノ議會ニ於テ許諾ヲ為
ス可シ
森林法第七十二條見合

第一百二十一條 森林法第七十四條ニ記載スル
動物ヲ証スル為メノ焼印及ヒ其文字ノ寫ハ
牧畜ヲ為シ及ヒ豚ヲ入ル、トヲ始ムル為メ
ニ定マリタル期限ノ前ニ其使用ノ権アル者
ヨリ之ヲ納ム可シ若シ否レハ森林法第七十

四條ニ記スル所ノ罰ヲ受ク可シ

森林官吏ハ使用ノ権アル者へ其受取証昏ヲ
與フ可シ
森林法第七十四條見合

第一百二十二條 メートル 凡我三尺三寸三厘三毛 立方ヲ以
テ渡ス可キ薪木ハ斃賣ノ買主へ委任シ而テ
斃賣定昏ニ依リ其定マリタル期限ニ其買
主ヨリ使用ノ権アル者へ供給ス可シ
使用ノ権アル村邑ニ付テノ薪木ノ引渡ハ邑
長其吏ヲ擔當シテ之ヲ其邑ノ住民へ分與
ス可シ若シ其薪木ヲ森林ニテ引渡シタル時

其伐採ノ受買人ハ使用ノ権アル者之ヲ撰ニ
而テ其地ノ森林官吏之ヲ許諾ス可シ森林法
第八十

一条第八十
二条見合

第百二十三條 家屋ノ建築及ヒ修復ニ付テノ
樹木ノ引渡ハ其職工ノ積リ昏ヲ出シタル
上ニ非レハ之ヲ為ス可カラス

其積リ書ハ毎年二月一日以前ニ其地ノ森林
官吏ハ出シ官吏ハ其受取昏ヲ與フ可シ而シ
テ森林保護官ハ要用ト思量スル所ノ其昏
類ヲ検査シタル後統理司長ノ許可ヲ受ル為メ

ニ第七十三條ニ記スル所ノ毎年ニ出ス可キ
森林ヲ伐採スヘキ事ニ付テハ一般ノ呈狀ト同
時ニ此等ノ事件ニ付テノ諸昏付類ヲ統理
司長ハ出スヘシ

其樹木ノ引渡ハ斃賣ノ買主ニ委任シ而シテ
其斃賣ノ定書ニ定マリタル期限ニ買主ヨリ其
使用ノ権アル者ニ供給ス可シ

邑長ニテ確證ヲ為シタル急速ノ場合ニ於テ
ノ右ノ引渡ハ保護官ノ意見ニ依リ州長ノ決
断ヲ以テ之ヲ渡ス可シ又樹木ノ伐採

及ヒ其削剝ハ使用ノ權アル者ノ費用ヲ以テ
之ヲ為シ而テ其伐リ掃ヒタル枝及ヒ柝屑ノ
類ハ零賣ノ式ニ依リテ之ヲ賣却ス可シ森林
法第

八十三條第
八
十四條見合

第三篇 国王所有ノ森林

第百二十四條 此布告ノ官有ノ森林ニ関シタル
諸規則ハ森林法第四篇ニ記スル定規ノ外亦
国王所有ノ森林ニ適用ス可シ森林法第八十
六條以下見合

第四篇 官ヨリ王族及ヒ貴人ニ與ヘタル

所ノ森林

第百二十五條 第六十八條ヲ除クノ外官有森
林ノ境界ヲ定ムルノ繞圍ヲ設クルノ及ヒ養
植スルノニ関シタル此布告ノ第二篇ノ第一
章第二章ノ諸規則ハ亦此森林ニ適用ス可シ

森林法第
八
十九條見合

第百二十六條 王族及ヒ貴人ノ所有スル所ノ森
林ニ付テ其權ニ関係シタル議論及ヒ訴訟
ノ片ハ王族及貴人其吏ニ立入ルノ權アル
可シ

第百二十七條 森林法第八十九條ニ記載スル

同法第

森林官吏ノ此王族貴人ノ森林ニ付テ調査ヲ
為サシム可キ事ハ森林法ノ定規ニ從ヒテ諸
事ヲ執リ行フ歟將夕初メ森林ヲ与フル時ノ
其證昏ニ依リテ吏ヲ執リ行フ歟或ハ又其證
昏ニ依リ吏ノ執リ行ヒテ為スヨリシテ作り
タル所ノ調昏ニ從ヒテ事ヲ執リ行フヤ否ヲ
調査スルヲ以テ其目的ト為ス可シ

此ノ調査ハ統理司長又ハ保護官ヨリ命ヲ受
タル官吏少クモ一年一度必ス之ヲ為ス可シ
而テ該官吏ハ其調昏ヲ作り之ヲ保護官ニ致

シ保護官ハ其調昏ニ自己ノ意見昏ヲ添ヘテ
猶豫ナク之ヲ統理司長ニ出ス可シ
森林法第
八十九條

見合

第五篇 村邑及ヒ公ノ建造物ニ附属ス
ル森林

第百二十八條 森林官署ハ此布告ヲ受クルヤ
直ニ村邑及ヒ公ノ建造物ニ屬シタル森林及
ヒ森林法第一條第九十條ノ定規ニ依リテ全
國森林ノ目錄昏ヲ作ルヘシ
此場合ニ於テ村邑或ハ建造物ヨリ爭論ノ起

司法省

リタルハ邑長或ハ建造物ノ管理者ノ立
合ニテ森林官吏其森林ノ検査ヲ為ス可シ

其検査ノ調啓ハ保護官ヨリ之レヲ州長ハ送
ル可シ又州長ハ邑ノ議會將タ其建造物ノ

管理者ハ評議ヲ為サシメ而テ自己ノ意見啓

ヲ添ヘテ其ノ諸書類ヲ大藏卿ハ出シ而テ国王

王ノ裁決ニ從ノ可シ

森林法第一条
第九十條見合

第百二十九條 若シ村邑ノ森林ト建造物ノ森林

林トノ間ニ繞圍ヲ設クル事ニ付テハ以下數

條ノ變化ヲ除キ官有森林ノ境界ヲ定メ及

ニ繞圍ヲ設クルトニ付キ此布告ノ第二章

ノ第一章ニ記載シタル仕方ヲ以テ之ヲ為ス

可シ

森林法第八
條以下見合

第百三十條 第五十八條第五十九條ニ記載シ

タル場合ニ於テ建造物或ハ村邑ノ為メニ評

價人トシテ委任ス可キ森林官吏ヲ命スル前

ニ州長ハ森林保護官及ヒ邑長又ハ建造物ノ

管理者ノ意見ヲ伺フ可シ

森林法第五十八條
第五十九條見合

第百三十一條 邑長或ハ建造物ノ管理者一人

ハ州長ヨリ任セラレタル森林官吏ノ其仕事

司法省

ニ立合ヲ為スノ權アリ而テ其邑長及管理者ノ申述意見故障等ノ事アレハ詳細ニ之ヲ調
査ノ記載ス可シ

邑ノ議會或ハ建造物ノ管理者ハ國王ノ未タ
裁決ナキ以前ニ其調査ニ記スル所ノ事件ニ
付キ評議ヲナス為メニ呼出サル、事アル可
シ

第百三十二條 若シ故障或ハ議論ノ起ル時ハ村
邑或ハ建造物ハ事宜ニ依リ原告又ハ被告
人ト為ルヲ得可シ而テ其訴訟ハ通常ノ式

ニ從ヒテ邑長或ハ管理者ヨリ之ヲ為ス可シ

第百三十三條 森林保護官ノ認メテ州長ノ画
印シタル境界ヲ定メ繞圍ヲ設クルノ其費
用ノ目錄各ハ村邑或ハ建造物ノ出納官吏ハ
出ス可シ而テ出納官吏ハ其森林ノ各隣森林所
有主ヨリ辨ス可キ金額ノ總計ヲ取り集ム可
シ若シ其所有主拂ヲ為スヘキ事ヲ承諾セサ
ル片ハ其費用ヲ受取ル可キ者ノ為メニ訴訟
ノ方式ニ依テ其拂ヲ為サシム可シ
合

森林法第
十四條見

第百三十四條 第六十八條 第八十八條 及ヒ森林
法第六篇ニ記載スル所ノ變化及ヒ此篇ノ
諸条規ノ他又此規則ノ第二篇ノ第二章第三
章第四章第五章及ヒ第六章ノ諸条規ハ村邑
或ハ建造物ノ森林ニ適用ス可シ

第百三十五條 森林ヲ栽植スルノ企ニ付テ邑ノ
議會又ハ建造物ノ管理者其吏ノ高議ヲ為
シ及ヒ州長ノ意見ヲ取りタル後ニ非レハ其養
植ノ事ヲ布告ス可カラズ

第百三十六條 芽ヲ生セシムル為メニ樹梢ヲ伐
リ及ヒ樹木ノ植付ヲ為シ又森林ノ繞圍ヲ
為シ道路ヲ作り或ハ番人ノ小屋ヲ建築シ其
他土地ヲ善良ニスル等ノ如キ臨時ノ仕事ヲ
為サシムルヲ有ルルハ亦前条ノ手續ヲ用ユ
可シ

若シ其企ヲ為シタル事ニ付テ村邑或ハ建造
物ヨリ議論ヲ生セサルハ其事ハ森林保護
官ノ申述ニ依リ州長之ヲ允許スルヲ得可
シ若シ之ニ反シタル場合ニ於テハ大藏卿ノ
申述ニ依リ国王ヨリ之ヲ裁決ス可シ

第百三十七條 村邑及ヒ建造物ニ属スル森林ノ樹木ヲ伐採スル時此布告ノ第七十條ニ記載シタル樹木ヲ保存スル莫ハ一ヘクタルニ付キ少クモ四十本多クモ五十本タル可シ旧来四分ノ一ノ樹木ヲ保存シアル森林ヲ伐採スルモ保存ス可キ樹木ノ數ハ一ヘクタルニ付キ少クモ六十本多クモ百本タル可シ森林

法第九十三條 見合

第百三十八條 村邑及ヒ建造物ニ属スル森林ノ買主其樹木ヲ伐採シ及ヒ搬運スルニ付

キテ其延期ノ允許ヲ得タル時ハ第九十六條ニ記載スル所ノ償金ヲ村邑或ハ建造物ニ出納局ニ納ム可シ

第百三十九條 村邑及ヒ建造物ニ属スル森林ニ於テ樵實ヲ拾フニ及ビ及ヒ牧畜スルノノ斃賣ハ州長ノ允許ヲ得スレテ之ヲ為スニ付得ス又州長ハ其事ニ付キ村邑或ハ建造物ノ商議ヲ懈キ而テ其地ノ森林官吏ノ意見ヲ尋子タル上ニ誅サレハ之ヲ允許ス可カラズ

司法省

第百四十條 舊來四分の一ノ樹木ヲ保存シタル森林ノ其自然ニ凋枯シタルノ外ハ必ス確證アリテ要用ノ道理アル歟或ハ否スト虽氏他ニ亦不得已ノ故アルニ非サレハ之ヲ伐ル事ヲ允許ス可カラズ

右ニ付テノ願書ハ州長ノ意見昏ヲ添ヘテ大藏卿ヨリ之ヲ内務卿へ送致シ而テ後国王ノ裁決ヲ受ク可シ

第百四十一條 村邑ニ於テ其森林ノ全分ヲ採用スルニ非サル片ハ其建築及ヒ修復ノ為メ

又ハ薪木ニ用ユヘキノ量數ヲ其地ノ森林官吏、報知ス可シ而シテ其樹木ハ其斃賣ノ買主ヨリ或ハ其斃賣ノ時其量數丈ノ部分ノミ残シ置キテ之ヲ引渡ス可シ而テ其事ハ孰レニモ其村邑ノ願望スル所及ヒ斃賣定ノ昏ノ條規ニ從フ可シ

森林法第百
五条見合

第百四十二條 建造物ノ管理者ハ毎年其建造物ニ必用ナル材木又ハ薪木ノ其量數ノ目錄昏ヲ郡長へ出ス可シ而テ郡長ハ之ニ畫印シテ其地ノ森林官吏へ送ル可シ

而テ其樹木ハ其斃賣ノ買主ニ委任シ而テ其
斃賣定メテ之ヲ定リタル時恂ニ買主ヨリ之ヲ
渡ス可シ
森林法第百
二条見合

第百四十三條 森林法第百五条ニ記載シタル
評價ノ事ハ邑長或ハ其名代人森林官吏及ヒ
樹木ノ引渡ヲ受クル者ノ撰ミタル評價人ニ
依リテ之ヲ定メ而テ其引渡ヲ為スニ付テノ
調厝ハ記載ス可シ

其調厝ハ森林官吏ヨリ之ヲ邑ノ出納官吏ニ
送ル可シ
森林法第百
五条見合

第百四十四條 森林法第百九條ノ第二項ニ記
載シタル場合ニ於テハ邑長及ヒ其地ノ森林
官吏ノ申立ニ依リテ州長ハ其番人ノ給料其
森林ノ地稅及ヒ森林法第百六條ニ從ヒテ大
藏省ニ納ム可キ金額等ヲ辨スル為メニ斃賣
ヲ以テ賣却ス可キ樹木ノ量數ヲ定ム可シ
其賣捌ヨリ生シタル金ハ前件ノ支ニ用ユル為
メ該邑ノ出納局ニ納ム可シ
森林法第百
六条見合

第百四十五條 森林法ニ從ヒテ村邑及ヒ建造
物ノ其森林使用ノ權ヲ政府ニ取戻スル

中ハ邑ノ議會及ヒ建造物ノ管理者ハ土地ヲ
以テ其代リヲ取ルカ將タ全ク買上ヲ為サシ
ムル歟ノ評議ヲ為ス可シ而シテ州長ハ此評
議ニ森林官吏及ヒ自己ノ意見昏ヲ添ヘテ大
藏卿へ出シ又大藏卿ハ内務卿ト協議ノ上因
王ノ裁決ヲ受ク可シ

然ル後第百十三條第百十四條第百十六條ニ
記載シタル方法ヲ以テ其取戻ノ手續ヲ為
ス可シ然レ氏第百十三條ノ第二節ニ記スル所
ノ評價人ハ其地方ノ官吏ヨリ之ヲ撰マズシ

テ邑長之ヲ撰ミ而テ邑ノ議會ハ承諾ヲ取リ
又或ハ建造物ノ管理者之ヲ撰ム可シ

若シ或ハ議論ノ生スルアル中ハ第百十五條
ニ從ヒテ其處置ヲ為ス可シ然レ氏其訴訟ハ
通常ノ式ニ從ヒ又或ハ裁判所へ出ツ可キトア
ル中ハ邑長又ハ建造物ノ管理者之レカ出席
ヲ為ス可シ

第百四十六條 官有森林ニ於テノ使用權ノ執
リ行ヒニ付テノ第二篇第九章ノ諸規則ハ此
篇ニ記スル所ノ變化及ヒ第百二十一條第百

二十三條ヲ除クノ外村邑及ヒ建造物ノ使用
權アル森林ニ適用ス可シ

第六篇 森林法ヲ以テ管理スル彼此其

有ノ森林

森林法第一条ノ第六
項及第百十三條見合

第百四十七條 森林法第一条及第百十三條ノ
執リ行ヒニ関シタル此布告ノ諸規則ハ政府
ト村邑又ハ公ノ建造物且人民ト共有スル所
ノ森林ニ適用ス可シ

其諸規則ハ森林法ノ第四篇及此布告ノ第三
篇ヨリ生スル所ノ変化ヲ除キテ亦国王人民

共有スル所ノ森林ニ適用ス可シ

村邑及ヒ公ノ建造物ノ人民ト共有スル森林

ニ於テハ森林法第六篇及此布告ノ第五篇ノ

諸規則ニ從テ其管理ヲ受ク可シ

森林法第一
條第八十六

條以下第九十條以下
及ヒ第百十三條見合

第百四十八條 共有ノ森林ヲ善良ニスル為メ臨
時ノ仕事ヲ為スルハ森林保護官ハ
其吏ノ企テ書キ及ヒ勸告各ヲ共有ノ其主ニ
送致ス可シ

第百四十九條 森林官署ハ政府ト他ノ共有主

トノ恂ニ不都合ノ事ナクシテ分割ヲ為シ得
可キ森林アル時ハ猶豫ナク其森林ノ目錄各
ヲ大藏卿へ出ス可シ

大藏卿ハ果シテ其分割ヲ為シ得可キヤ否ヲ
考定シ而シテ其事ヲ可ト思量スル時ハ乃チ
通常ノ法式ヲ以テ之レヲ為シ行フヘシ
而テ分割ノ事ニ関係アル者ハ左ノ如ク其評
價人ヲ命ス可シ

其一 政府ヨリ出スヘキ者ハ森林保護官

ト該地方官吏トノ申立タル其森林官吏

ヲ該州長ヨリ任ス可シ

其二 村邑ヨリ出スヘキ者ハ邑會ノ許諾
ヲ取リテ邑長ヨリ之ヲ命ス可シ

其三 公ノ建造物ヨリ出スヘキ者ハ其管
理者ヨリ之ヲ撰任スヘシ

第七篇 人民私有ノ森林

第百五十條 人民私有ノ其森林番人ノ委任狀
ハ郡長ノ画印シタル後ニ非レハ其勤ヲ為ス
ニ付テノ盟ヲ為スヲ許ス可カラズ

若シ郡長其画印ヲ為サ、ルヲ以テ必要ナリ

ト思量スルモハ明ニ其由ヲ州長ニ陳述ス可シ
其委任状ニハ森林所有主及ヒ番人ノ姓名住
所并ニ森林ノ名及其場所ヲ記載シテ之レヲ
郡廳ノ簿冊ニ登記スヘシ

森林法第百
十七條見合

第百五十一條 森林ノ景状及ヒ物産ノ包藏ヲ
証スル為メ又ハ其森林ノ豚害ニ抵抗スルニ
足ルヤヲ定ムル為メニ人民其所有ノ森林ヲ
調査スルニ付テ森林官吏ノ世詔ヲ願フコト
ルモ其所有主或ハ使用ノ権アル者其願
ヲ森林保護官ニ出ス可ク而シテ保護官ハ調

査ヲ為スヘキ其官吏ヲ命ス可シ

其命ヲ受ケタル森林官吏ハ其調査ヲ作り而
テ之ニ其前件ノ事ヲ定ムル原因トナルヘキ
其森林ノ景状ヲ記載スヘシ

其官吏ハ調査ヲ郡廳ニ預リ置キ而シテ其
ニ關係アル者ハ其調査ノ寫ヲ求ムルコトヲ得
可シ

森林法第百
十九條見合

第八篇 公用ニ付テノ森林ノ使用

第一章 海軍ノ使用

第百五十二條

森林法ヲ以テ管理スル森林ニ

於テ常例或ハ臨時ニ論ナク其樹木ヲ採用ス
ル時ハ直ニ其森林ノ名及ヒ其場所ノ目錄
ヲ森林保護官ヨリ海軍省ノ長官或ハ次官
致ス可シ
樹木ヲ採用スルニ付テ保存ニ置ヘキ樹木
撰ミテ鑑印ヲ為シタル後各地ノ森林官吏
其目錄各ヲ海軍ノ製造師及ヒ將官等ニ致ス
可シ而テ其製造師將官等ハ亦直ニ海軍ノ
用ニ適ス可キ樹木ヲ撰ミテ之ニ鑑印ヲ為ス
ヘシ

海軍官吏ハ森林法第百二十六条ニ從ヒ其調
査ヲ作リテ邑長ニ画印ヲ為サシメ而テ其寫
シ一枚ヲ其森林所在ノ邑廳ニ預ケ置クノ外
ニ亦其寫シ一枚ヲ其地ノ森林官吏ニ送ルヘ
シ
海軍官吏ノ為シタル諸件ハ必ス森林競賣
ノ揭示ニ記載ス可シ而シテ其既ニ揭示シタル
後ニ海軍官吏ノ鑑印ヲ為シタル其知ラセハ
其効ナキ者トス

第百五十三條 森林法ヲ以テ管理セサルモノ

ニテ村邑又ハ公ノ建造物ハ所有ニ屬シ而テ
其散植セル樹木ニ付テハ邑長及ヒ建造物ノ
管理者ヨリ森林法第百二十四條及ヒ第百二
十五條ニ從ヒテ其届ケヲ為ス可シ

第百五十四條 森林法第百二十五條ニ記スル
所ノ届書ニハ森林所在ノ州郡邑其所有主ノ
姓名住所森林ノ名及ヒ場所其森林ノ包藏
物及ヒ坪数又伐ル可キ樹木ノ数且其種類
及ヒ其大サノ大概ヲ記載ス可シ
其届書ハ二本ニシテ之ヲ郡長ハ出シ其一ハ

郡長ノ畫印シタル上其所有主之ヲ受ケ取リ
其一ハ郡長ハ届メ置ク可シ

郡長ハ其届書ヲ受取リテ之ヲ簿冊ニ登記シ
而シテ直ニ海軍省ニ於テ森林ノ支ヲ官スル
該官吏及ヒ其地ノ森林官吏ハ送致ス可シ

第百五十五條 前條ニ記スル所ノ届書ノ送致
スルヤ海軍官吏ハ直ニ造船ニ適用スルキ樹
木ヲ調査シテ之ニ錐印ヲ為ス可シ而シテ其
官吏ノ此ノ仕事ニ付テ作ル可キ調書ハ森林
法第百二十六條ニ從フ可シ

第百五十六條 海軍用ニ付テ鑑印ヲ為シタル
其樹木ハ十月一日ヨリ翌年四月一日迄ノ間
ニ伐採ス可シ

其伐採ヲ為スニ付テノ届書ハ第百五十四條
ニ記シタル方法ヲ以テ郡長ヨリ之ヲ海軍官
吏ニ送ル可シ

第百五十七條 其届書ノ送達スルヤ海軍官吏
ハ直ニ其伐採シタル樹木ヲ調査シテ其調査
ヲ作り而テ其寫ヲ該邑ノ邑長ニ遣ス可シ

第百五十八條 森林法ヲ以テ管理スル所ノ森
林及ヒ人民私有ノ森林ニ於テ海軍官吏ノ鑑
印ヲ為シタル其樹木ハ其森林ニ於テ樹皮ノ
存シタル俟ニテ之ヲ渡ス可シ然レモ其引渡
ヲ為シ或ハ剝リタル材木ニ直ニ又河港及ヒ
貯藏スヘキ場所ニ運送スル等ノ一ハ海軍官
吏ト其森林ノ買主或ハ其所有主ト隨意ニ
契約スル一ヲ得可シ

第百五十九條 森林法第百三十一条ニ記シタ
ル場合ニ於テ邑長ハ海軍ノ使用ノ為メニ付
テ郡長ニ告知ス可キ森林ノ其所有主ノ願ニ

依リ其自家ノ建築及ヒ修復ノ為メニ必用ナ
ル樹木ノ数及樹木ノ歴年且其大サヲ検査シ
テ其調書ヲ作ルヘシ
其調書ハ第百五十四条ニ記スル所ノ方法ニ
從ヒテ郡廳へ出シ而シテ郡廳ヨリ之ヲ海軍
官吏へ送ル可シ

第百六十條 森林法第百三十四条ニ從ヒテ海
軍用ノ事ニ関シタル犯罪及ヒ違規ノ支ヲ證
スル為メニ海軍官吏ノ作ルヘキ調書ハ治罪
法ノ第十五條及第十八條ニ定メタル時間ニ

森林官吏へ送ル可シ

第百六十一條 此布告アルヤ直ニ海軍卿ハ国王
ノ許諾ヲ受クル為メニ造船ノ為メニ森林ノ
樹木ニ錐印ヲ為スニ關係ナキ州郡及ヒ
邑名ノ目錄書ヲ差出ス可シ而テ国王ノ允許
ヲ得タル中ハ其目錄書ハ法律日誌ニ記載
ス可シ

其ノ州郡邑尔後若シ錐印ヲ為スニ關係スハ
キ事ニナリ行ク時ハ亦右ノ方法ニ從フ可シ
此事件ニ付テノ国王ノ命令ハ以後ハ三月一日

以前ニ公布ス可シ

第二章

「ライン」河ノ為ニ道路橋梁等ノ事ヲ管スル官署ヘ用ユヘキ森林

第百六十二條 毎年八月一日以前ニ森林保護

官ハ「ホーレイン」及ヒ「ハーレイン」ノ二州「ライ

ン」辺ニ在ル所ノ州名ノ「ライン」河ノ岸ニアル地且「ライン

河」ヨリ五「キロメートル」ノ距離内ニ於テ官有

及ヒ村邑且公ノ建造物等ニ属スル森林ノ樹

木ヲ採用スヘキ其目錄各ヲ該二州ノ州長ヘ

出ス可シ

官有森林ト村邑及ヒ公ノ建造物ニ属スル森

林トヲ分疏シタル其ノ目錄各ニハ採用スヘ

キ森林ノ場所及ヒ堤塙ヲ築キ又ハ束柴ヲ作

ル仕支ノ為ニ其森林ヨリ生スル所ノ物産ヲ

記載ス可シ

森林法第百三十六條以下見合

第百六十三條

森林法第百三十七條ニ記スル

森林所有主ノ届唇ハ第百五十四條ニ於テ海

軍ノ為メニ定メタル所ノ方法ニ従フヘシ

其届唇ハ直ニ郡長ヨリ之ヲ州長ヘ渡ス可シ

第百六十四條

道路橋梁等ノ事ヲ関シタル官

築師長ヨリ事ノ急速ナルヲ證シタル申述アルニ於テハ州長ハ現ニ危難ノアル所ノ其近傍ニ於テ其仕事ノ為メニ必用ナル樹木ヲ伐採スヘキ森林ヲ指示シテ其命令昏ヲ作ル可シ

州長ハ該郡ノ森林上等官吏及ヒ道路橋梁等ノ事ヲ関シタル管築師長ヘ其命令昏ヲ送ル可シ

第百六十五條 道路橋梁等ノ支ヲ管スル官署ヨリ森林法ヲ以テ管理スル森林ノ其樹木ヲ

採用スルノ求メアル片ハ該地ノ森林官吏ハ直ニ通常ノ法式ヲ以テ其採用ヲ為ス可キ森林ノ取極メ及ヒ樹木ヲ撰定シテ鉅印ヲ為スノ仕事ヲ為ス可シ

若シ人民私有ハ森林ニ向ヒテ其求メヲ為ス片ハ森林官吏ハ森林番人ヲシテ其所有主ヘ報知ヲ為シム可シ

第百六十六條 森林法第百四十條ニ記スル道路橋梁等ノ支ヲ管スル官署ヨリ人民私有ノ森林ニ向ヒテ其樹木ノ求ヲ為シ而テ其所有

主自己ニテ之ヲ伐ル_ルヲ好ム_ル其届_ル各_ノ第
百四十五條恐クハ百五十四
條ノ誤ナラシニ記スル所ノ方法
ニ從ヒテ之ヲ郡長_ハ出ス_{ヘシ}

郡長ハ直ニ其支ヲ州長及ヒ其委任ヲ受ケ
タル道路橋梁ノ營築師_ハ報知ス可シ

第百六十七條 森林法第百三十八條ニ記スル急
用ノ場合ニ於テ森林所有主自己ノ必要ノ
事ノ為メニ其届ヲ為サスシテ森林ノ樹木ヲ
伐採スルニ於テハ第百五十九條ノ方法ヲ以
テ邑長ニ其急用ノ事ヲ證セシム可シ

而テ其調_ル各_ノ郡長ヨリ之ヲ州長_ハ出ス可シ

第百六十八條 森林法第百四十一條ニ記スル所
ノ其樹木ヲ伐リ終リタル事ハ森林法ヲ以
テ管理スル森林ニ於テハ其官吏ノ作リタル
調_ル各_ノ其他ノ森林ニ於テハ邑長ノ作リタル調
各_ノニ依テ之ヲ證ス可シ
償金ヲ定ムル為メニ評價人ヲ任スル_ルヲ
片ハ道路橋梁等ノ事ヲ管スル官署ノ為メ
ニハ州長之ヲ任ス可シ
樹木ヲ伐採スル請負人ノ引受ケタル其償金

ヲ森林ノ所有主ハ拂フタレ事ヲ証スルニ非
サレハ營築師ハ其給金拂済之ノ証昏ヲ其請
負人ハ渡ス可カラス

第九篇 森林法ヲ以テ管理スル森林ノ
取締及ヒ保護

第百六十八條 森林法ヲ以テ管理スル所ノ森
林内ヨリ諸物産ヲ掘り出スルハ官有森林ニ
於テハ森林保護官ヨリ渡シタル免許狀村邑
及ヒ公ノ建造物ニ屬スル森林ニ於テハ其物
産ヲ掘出スルニ付テノ契約及ヒ其方法ヲ常

ニ定ム可キノ權ヲ有スル保護官ノ承諾ヲ取
リテ邑長或ハ管理者ヨリ渡シタル免許狀ア
ルニ非サレハ之ヲ為スルヲ得ス而テ其價額
ハ官有森林ニ於テハ保護官之ヲ定メ邑長及ヒ
公ケノ建造物ニ屬スル森林ニ於テハ邑長又
ハ管理者ノ申述ニ依リテ州長之ヲ定ム可シ
森林法第百四
十四條見合

第百七十條 官用ノ為メニ物産ノ掘出ヲ為ス
ルハ其仕支ノ規則昏ヲ作ル以前ニ營築師ハ
其郡ノ森林上等官吏ハ其掘出ヲ為スルキ場

所ヲ指示ス可シ

森林官吏ハ營築師或ハ其仕吏ヲ為スヘキ吏長ト協議シテ其掘出シヲ為ス可キ場所ヲ檢査シ及ヒ其境界ヲ定メ且伐除ス可キ樹木ノ數及ヒ種類又其大サヲ定メ而シテ其物産ヲ搬運スルニ付テハ道路ヲ指示ス可シ右等ノ事件ニ付テ若シ議論ノ生スルハ州長之ヲ審判ス可シ

森林法第百四十五條見合

第百七十一條 物産掘出シノ方法及ヒ吏後其地ヲ修繕スル事ニ付キ請負人、命ス可キ各

種ノ条件及ヒ契約各ハ森林官吏之ヲ作り之レヲ州長ハ出シ而テ州長ハ又之ヲ其仕事ノ規則各ニ記載セシム可シ

第百七十二條 物産ヲ掘出スニ付テ若シ森林ヲ損害シタル時ノ其償金ヲ價直ノ吏ハ千八百七十九年九月十六日ノ法ノ第五十三條及ヒ才五十六條ニ從フヘシ

若シ其吏官有ノ森林ニ樹スル時ハ其郡ノ森林上等官吏自ラ評價人ノ職ヲ行ヒ村邑及ヒ公ノ建造物ノ所屬ニ樹スル時ハ邑長又ハ官

理者ヨリ其評價人ヲ命ス可シ森林法第百四十四條及

第百四十
五條見合

第百七十三條 森林官吏又宮築師及ヒ宮築

吏長ハ請負人等ノ其定リタル事業ヨリ他ノ

事ニ其物産ヲ用ヒサル様ノ監視ヲ為ス可シ

若シ犯罪者アル片ハ森林官吏ハ其者ハ向

ヒテ諸ノ訴訟ヲ為ス可シ森林法第百四十五
四條第百四十五

條見
合

第百七十四條 物産ノ掘出ヲ為スニ付テ伐除

ス可キ森林ノ樹木ハ森林保護官ノ許諾ヲ

得タル上 零賣ノ方法ヲ以テ之ヲ賣却ス可シ

第百七十五條 物産掘出ノ仕度及ヒ森林ヲ損

害シタル其償金ノ價直ノ事ニ付テ為ス所ノ

歎願ハ千八百年二月十七日ノ法ノ第百四條

ニ從ヒテ州ノ參事院ニ於テ之ヲ審判ス可シ

第百七十六條 若シ三十年ヲ經タル森林ノ其

境界ニアル樹木ヲ伐リ而シテ其代リニ植付

タル樹木ハ隣森所有主ヨリ其枝ヲ伐リ掃フ

ヘキヲ求ムル片ハ民法ノ六百七十二條ニ

從ヒテ之ヲ為ス可シ

其境界ニ於テ伐リタル其代リニ樹木ヲ植付
或ハ其所ニアル樹木ヲ保存シ置ク事ハ民法
ノ六百七十一条ニ記スル所ノ距離ニ從ヒテ其
境界線ヨリ退キ引キラ之ヲ為ス可シ森林
法中

百五十
条見合

第百七十七條 森林法第百五十一条第百五
十二条第百五十三条第百五十四条第百
五十五条ニ記載スル諸建築物ハ国王ノ特別
ナル命令ヲ以テニ漲レハ其允許ヲ得ヘカラス
森林法第百五十一条ニ記スル石灰ヲ燒ク電

及ヒ煉化石且屋瓦製造ノ建築所ハ先其願
昏ヲ出シ而テ其事他人ノ故障ヲ為サレニ於
テハ亦国王ノ允許ヲ得ヘシ然ル後千八百十年
十月十五日ノ布告及ヒ千八百十五年一月十
四日及ヒ千八百十八年七月廿九日ノ布告
ニ定メタル方法ニ從ヒテ其変ヲ取扱フ可シ
第百七十八條 森林法百五十三条ノ第一節第
二節ニ記スル所ノ家屋又ハ農舎ヲ建築スル
ニ付キ其允許ヲ請フノ願昏ハ之ヲ二本ニシ
テ該郡ノ森林上等官吏ハ出シ其一本ハ其官

吏ノ檢印ヲ得テ本人之ヲ受取ル可シ

第百七十九條 此布告ノ日ヨリ六ヶ月間ニ森林法第百五十六條ヲ除キテ第百五十一條第百五十二條第百五十五條ノ各建築物ノ所有主ハ其各建築物ノ證昏類ヲホシ保護官ハ出ス可シ

保護官ハ自己ノ意見書ヲ添ヘテ其證昏類ヲ統理司長ハ出シ而シテ司長ハ又之ヲ大藏卿ハ出シテ其許可ヲ取ル可シ

若シ其所有主定期内ニ證昏類ヲ出サス或ハ

出シタル證昏類ニテ其所有ノ權ノ十分ナラザルハ森林法第百二十八條ニ記スル森林法布告以前ノ法式及ヒ規則ニ依テ其建築物ヲ廢毀セシムヘキノ訃ヲ為ス可シ

第百八十條 森林法第百五十五條ニ記スル鋸木所ノ其主ハ其鋸木所及ヒ其遠圈内ニ材木ヲ運送セントスル度毎ニ某人ヨリ其樹木ヲ買得タル事ヲ詳細ニ記シテ該地ノ森林官吏ハ出ス可シ

其届書ニハ諸材木ノ數及ヒ其所在ヲ記シテ

二本ヲ出ス可シ而テ其一ハ森林官吏之ニ檢
印シ別段ノ簿冊ニ登記シテ後之ヲ本人、
渡スヘシ

該地ノ森林官吏或ハ森林番人ハ其届唇ヲ
出シタル後五日尙ニ其材木ニ其印シテ為
ス可シ森林法第百五
十八條見合

第十廿篇 森林官署ノ名ヲ以テ為スヘキ
訴訟

第百八十一條 森林官吏及ヒ番人ノ作ルヘキ
犯罪及違規ノ事ニ付テノ調唇ハ則チ其日

毎ニ之ヲ作ル可シ

其調唇ヲ作り及ヒ之レヲ裁判所へ出ス莫ノ
法方ハ治罪法第百六條及ヒ第百八條ニ
從フ可シ森林法第百六十條第百六
十五條第百六十六條見合

第百八十二條 森林法第百六十一條ニ記スル
所ノ裁判官若シ法式適シタル依頼ヲ受
ケ而テ調査及ヒ搜索ノ為ニ森林番人ト同行
スルトテ止月ヤサル片ハ番人ハ其ニ承諾ヤサル
トテ調唇ノ記載シテ直ニ其調唇ヲ森林上等
官吏へ出ス可シ而テ其官吏ハ其事ヲ下等裁

判所ノ檢事、詳細ニ報告ス可シ

森林法第百六十五條ニ記スル官吏ノ該條

ニ定メタル期限ニ森林番人ノ其調昏ニ付テ

誓言ヲ為スラ承ルヘキトニ付テ遲延ヲ為シ

或ハ承ル莫ラ承諾セサル場合ニ於テモ亦

同様ナルヘシ森林法第百六十一條第百六十二條第百六十五條見合

第百八十三條 森林法第百六十七條ニ記スル

森林番人ノ其取押ヘシ品物ヲ記載シタル

調昏ニ付テ誓言ヲ為シタル後二十四時尙最

下等裁判所ノ登記局、納ム可キ其調昏ノ寫

シハ其之ヲ作りタル森林官吏或ハ番人其花

押ヲ画スヘシ森林法第百六十七條見合

第百八十四條 裁判官若シ番人ノ取押ヘシ品

物ヲ假リニ其主ニ返典シタル片ハ其事ヲ諛

地ノ森林官吏、報告ス可シ森林法第百六十八條見合

第百八十五條 森林統理員ノ名ヲ以テ訴ヘタ

ル犯罪及ヒ違規ノ支ノ裁決ニ付テ裁判所

ノ集會ニ臨ム森林官吏ノ其席ハ檢事及其

名代人ノ次ニ之ヲ設ケ且其官吏ハ正服ヲ着シ

而テ集會ノ尙ハ其帽ヲ脱ス可シ森林法第百七十四條見

令

第百八十六條 森林官吏ハ每三ヶ月ノ初メニ
前三ヶ月中ニ森林番人ノ作りタル諸報告
及ヒ呼出狀ノ其目錄各三本ヲ各警視廳ニ送
ル可シ而テ此目錄各ハ千八百十一年六月十
八日ノ規則ニ從テ警視官吏ノ檢印ヲ受ケ然
ル後其事ヲ執リ行フ可キ者トナルヘシ

第百八十七條 每三ヶ月ノ終ニ於テ森林保護
官ハ統理員ノ名ヲ以テ為シタル訴訟ノ其裁
判言渡シ及ヒ州長ノ決定各且未決ノ訴訟ノ

其狀ヲ簡畧ニ記シテ之ヲ統理司長ニ出ス可
シ

第十一篇 森林官署及ヒ檢査ノ訴訟ニ依
テノ裁判ノ執リ行ヒ

第百八十八條 其人出席ヲ為サスシテ裁判ノ
言渡ヲ為シタル片ハ三日内ニ裁判所ノ書記
局ヨリ其言渡各ノ抄各ヲ森林官吏ニ送ル
可シ

該郡ノ森林官吏ハ直ニ其抄各ヲ該犯者ニ送
達シ而テ又同時ニ其地ノ收税官吏、該犯者

ノ姓名及ヒ裁判言渡抄卷ノ送達セシ日且罰
金償金及ヒ償ノヘキ費用等ノ總高ヲ記シタ
ル目錄卷ヲ送ル可シ

裁判言渡抄卷ノ送達セシ後十五日内ニ森林
官吏ハ森林法二百十一條ニ從ヒテ其支ヲ
取扱フヘキ該地ノ收稅官吏ハ其送達セシ原
抄卷ヲ送ル可シ

若シ其期限内ニ裁判言渡ヲ受ケタル者控
訴ヲ為シ或ハ故障ヲ申述スル片ハ森林官吏
ハ又其事ヲ收稅官吏ハ報告ス可シ

森林法第二
百九條見合

第百八十九條 其人出席シテ裁判言渡ヲ受
ケ而テ控訴ヲ為サル片ハ裁判所ノ卷記
官ハ其裁判言渡ノ日ヨリ十日内ニ該地ノ
收稅官吏ハ其抄卷ヲ送ル可シ而シテ收稅
官吏ハ森林法第二百十一條ニ從ヒテ其支
ヲ取扱フ可シ

控訴ニ付テ裁判言渡ヲ受ケタル者覆審裁
判所ハ控訴ヲ為サル時ハ控訴裁判所ノ
卷記官ハ其裁判言渡ノ日ヨリ四日内ニ其
抄書ヲ該地ノ收稅官吏ハ送ル可シ

第百九十條 毎三ヶ月ノ終リニ於テ該地ノ收
税官吏長ハ森林ニ関シタル犯罪及ヒ違規
ノ更ヨリシテ納マル所ノ金貨ノ統計及ヒ
無力ニシテ金ヲ出サ、ル者ノ其目錄及ヒ
租税頭ハ出ス可シ

第百九十一條 該犯者無力ニシテ森林法第二
百十三條ノ定規ニ処セラレシ事ヲ願フ其ニ
ハ治罪法四百二十條ニ記シタル其證據トナ
ルヘキ昏類ヲ添ヘテ願書ヲ檢事ハ出スヘシ
又更宜ニ依リ檢事ハ森林法第二百十三條

ニ定ムル所ノ期限ニ從ヒテ犯者ヲ放免スヘ
キヲ命シ而シテ該地ノ收税官吏ハ其事
ヲ報告ス可シ

森林法第二百
十三條見合

第十二篇 人民其私有ノ森林ヲ開墾スル
ニ付テノ事

第百九十二條 森林法第二百十九條ニ記スル
森林所有主ノ陳述昏ニハ其森林ノ名及ヒ
場所且坪数又森林所在ノ地ニ於テ定ムル所
ノ居所ヲ記載シ之ヲ二本ニシテ郡長ハ出シ而
テ郡長ハ之ヲ其簿冊ニ登記ス可シ

又郡長ハ之ニ画印シテ其一本ヲ本人ニ返シ
他ノ一本ハ直ニ該郡ノ森林官吏ニ渡ス可シ
第百九十三條 森林ノ形状及ヒ其場所ノ檢
査ヲ為スヘキ片ヨリ遅クモ八日以前ニ森林
法第二百十九條ニ記スル森林官吏ノ其一人
ハ其檢査ヲ為スノ日時及ヒ其所有主或ハ名
代人其当日ニ出頭ヲ為スヘキ事ノ告知書ヲ
送ルヘシ

第百九十四條 森林官吏ノ作ルヘキ調書ニハ
其開墾ノ事ノ森林法第二百二十條ニ記スル

所ノ各事ニ故障アルヤ否ヲ知ルニ必用ナル
條件ヲ記載ス可シ其他若シ或ハ特別ノ允許
ヲ得サレハ開墾スルヲ得ヘカラサル圍境近
地ノ部分ニ墾スル森林ナル片ハ其事ヲ其調
書ニ別段ニ記載ス可シ

第百九十五條 其調書ニ他ノ畧類ヲ添ヘテ森
林保護官ニ送り保護官ハ其故障ヲ申立ツ
ル以前ニ所有主ニ其寫シヲ送りテ其意見ヲ
尋ヌ可シ

第百九十六條 森林保護官ハ其森林ヲ開墾

セサル事ヲ要用ト思量スルキハ森林所有主
ハ其故障昏ヲ送達シ而テ其所有主ノ陳述昏
類ニ巴レノ意見昏ヲ添ヘテ之ヲ州長ハ送ル
可シ

若シ右ニ反シタル場合ニ於テハ保護官ハ猶
豫ナク森林統理司長ハ所有主ノ陳述昏ヲ
出シ而テ司長ハ之ヲ大藏卿ハ出ス可シ

第百九十七條 一ヶ月ノ時間ニ州長ハ州ノ參
事院ノ高議ヲ聞キ而テ森林保護官ノ
故障昏ニ付テノ自己ノ意見昏ヲ認ムヘシ

州長ハ參事院ノ其高議ヲ為シタル日ヨリ八
日内ニ其意見昏ヲ森林所有主及ヒ保護官
ハ送ル可シ若シ保護官ノ該州ニ在ラサルキハ
其森林所在ノ森林官吏ハ送ル可シ

右八日ノ時間ニ州長ハ自己ノ意見昏及ヒ
他ノ其證ト為ルヘキ昏類ヲ添ヘテ大藏卿
ハ出シ大藏卿ハ國議院ノ財務課ノ意見ヲ
聞キタル後其可否ヲ決ス可シ

大藏卿ノ決定昏ハ保護官ノ其故障書ヲ所
有主ハ送達セシ日ヨリ六ヶ月ノ時間又其

所有主、送達ス可シ

第百九十八條 邑長及ヒ郡長ハ森林法第十
五篇ノ定規ニ違ヒテ為ニタル開墾ノ契ヲ証
スル為メニ調昏ヲ作りタル片ハ其寫シニ花
押ヲ画シテ檢事及ヒ該地ノ森林官吏、送
ル可シ

第百九十九條 森林保護官ハ森林法ノ第二
百二十一条ノ初メニ記スル所ノ事件ヲ統理
司長、申達シ而テ其森林ヲ旧ニ復セシ
ムルニ就テ自己ノ意見ヲ申述ス可シ

大藏卿ノ命令ヲ以テ其森林ヲ旧ニ復セシム
ル事ノ言渡書ハ行政上ノ方法ニ從テ之ヲ其
本人、送達ス可シ

司
表
首

司
表
首

司考
刑考
課

司考

